

介護保険サービス未利用者調査 編

3 介護保険サービス未利用者調査結果

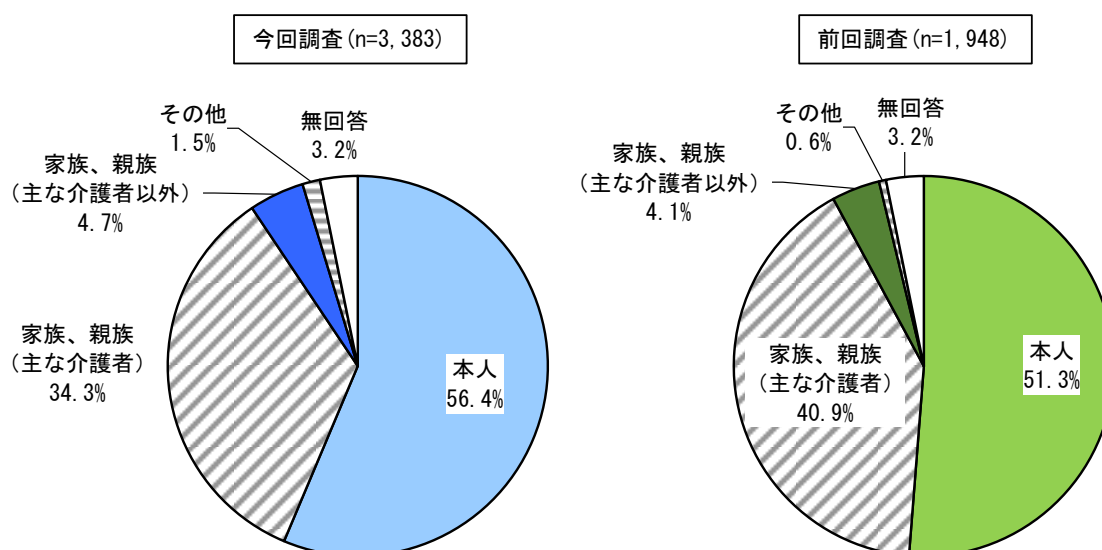
(1) 調査回答者の基本属性

問1 記入者

この調査票をご記入されるのは誰ですか。(〇はひとつ)

記入者は、「本人」が56.4%、「家族、親族（主な介護者）」が34.3%となっている。
前回調査と比較すると、「本人」の割合が5.1ポイント高くなっている。(図1)

【図1 記入者（経年比較）】

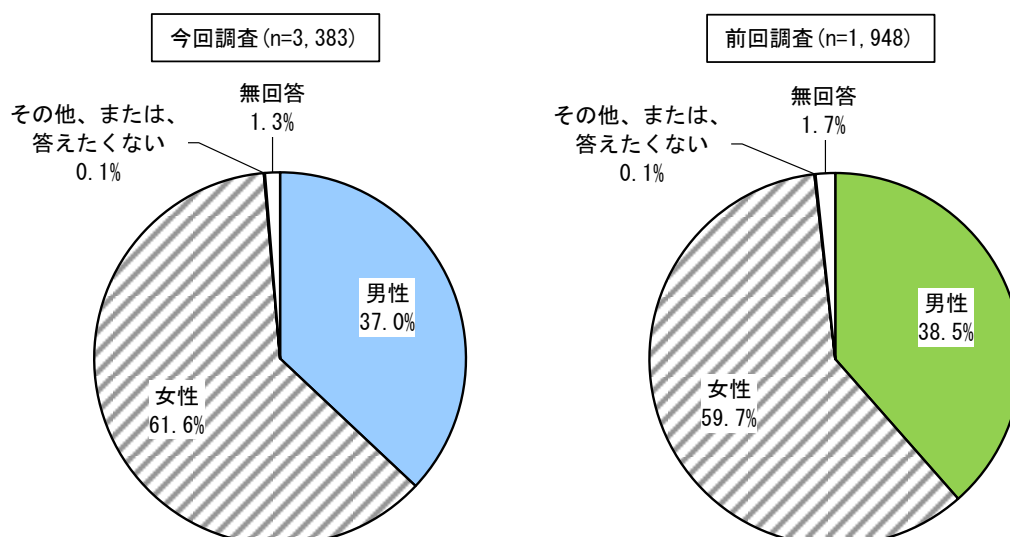


問2 (1) 本人の性別

あなたの性別、年齢、居住区についておうかがいします。(それぞれ〇はひとつ)

本人の性別では、「男性」が37.0%、「女性」が61.6%となっている。
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図2(1))

【図2(1) 本人の性別（経年比較）】

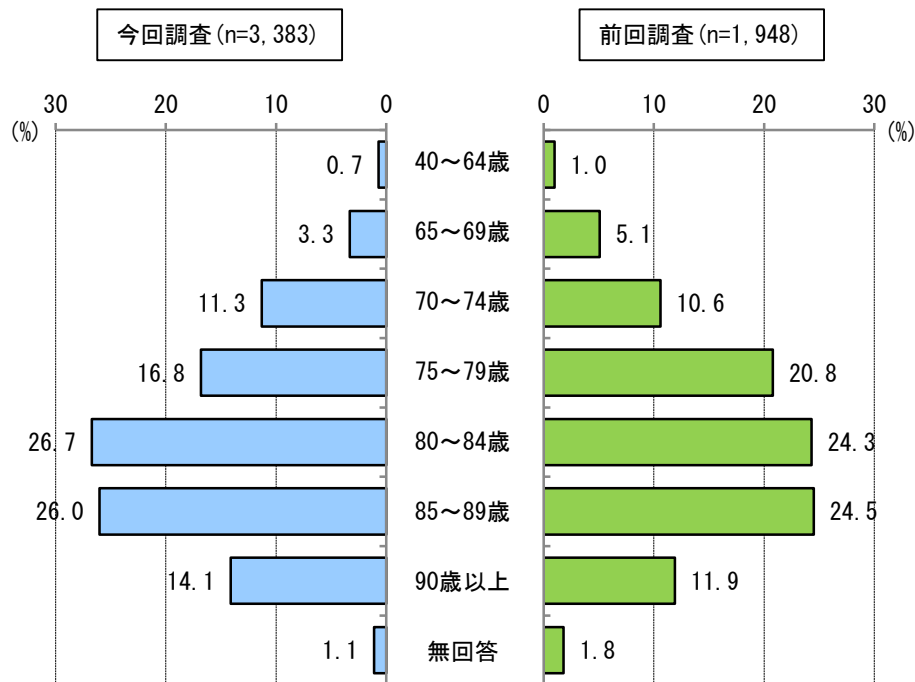


問2(2) 本人の年齢

本人の年齢では、「80～84歳」が26.7%で最も多く、次いで「85～89歳」が26.0%、「75～79歳」が16.8%となっている。

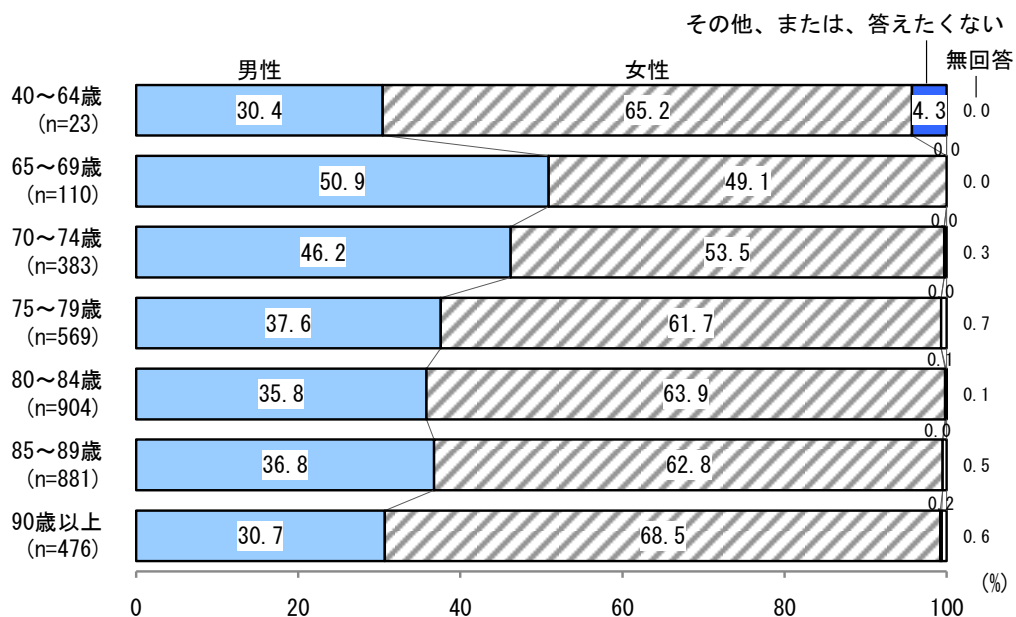
前回調査と比較すると、「75～79歳」の割合が4.0ポイント低くなっている。(図2(2))

【図2(2) 本人の年齢（経年比較）】



本人の性別を本人の年齢別でみると、65～69歳の回答者は「男性」(50.9%)のほうが多く、それ以外の各年代の回答者は「女性」のほうが多くなっている。(図2(2)-a)

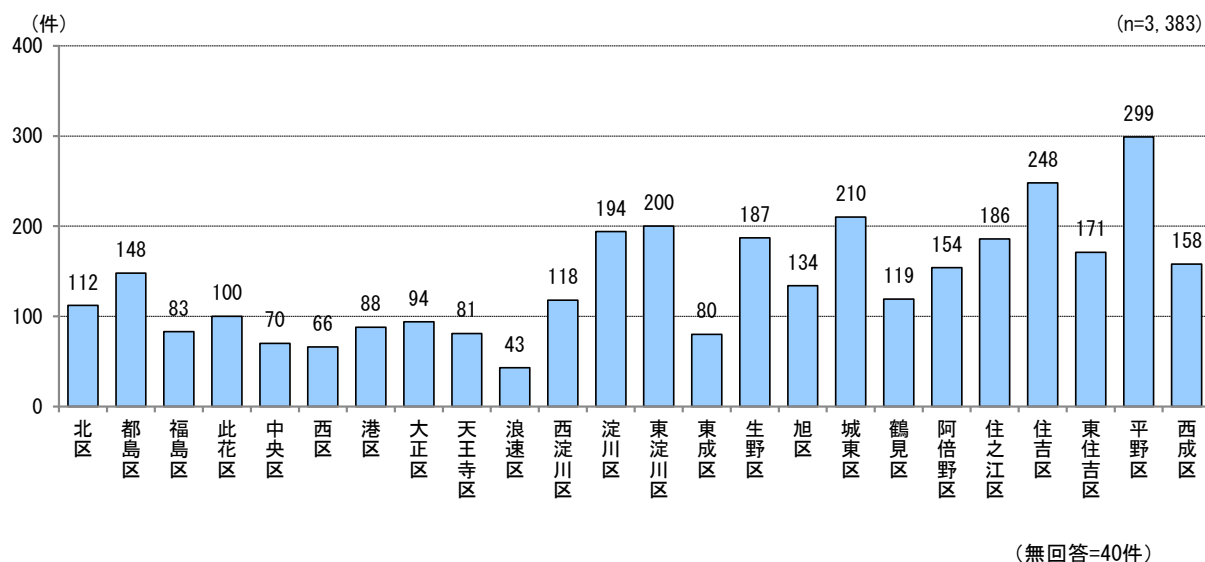
【図2(2)-a 本人の性別（本人の年齢別）】



問2（3） 本人の居住区

本人の居住区では、「平野区」が299件で最も多く、次いで「住吉区」が248件、「城東区」が210件となっている。（図2(3)）

【図2(3) 本人の居住区】

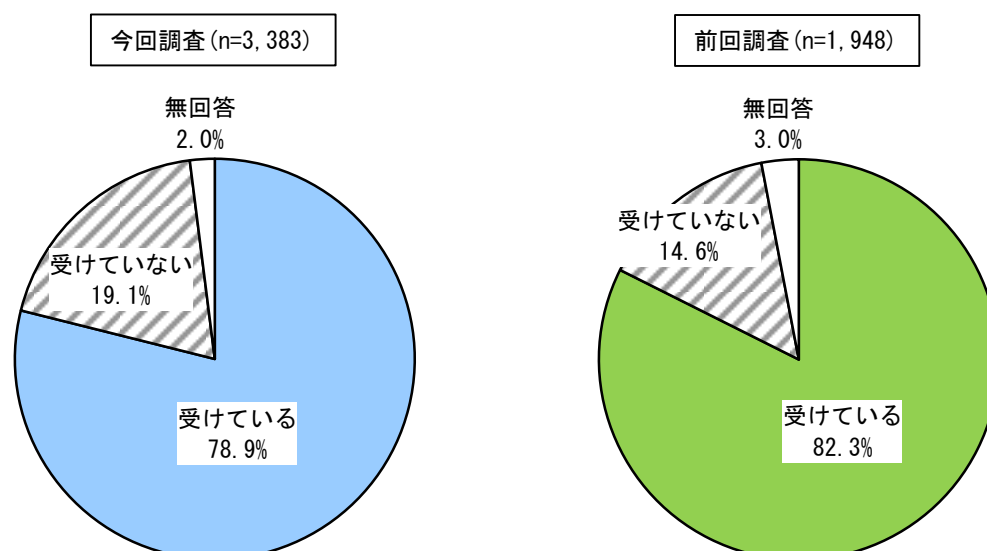


問3 要介護認定の有無

あなたは要介護（要支援）認定を受けていますか。（○はひとつ）

要介護認定の有無では、「受けている」が78.9%、「受けていない」が19.1%となっている。前回調査と比較すると、「受けていない」の割合が4.5ポイント高くなっている。（図3）

【図3 要介護認定の有無（経年比較）】



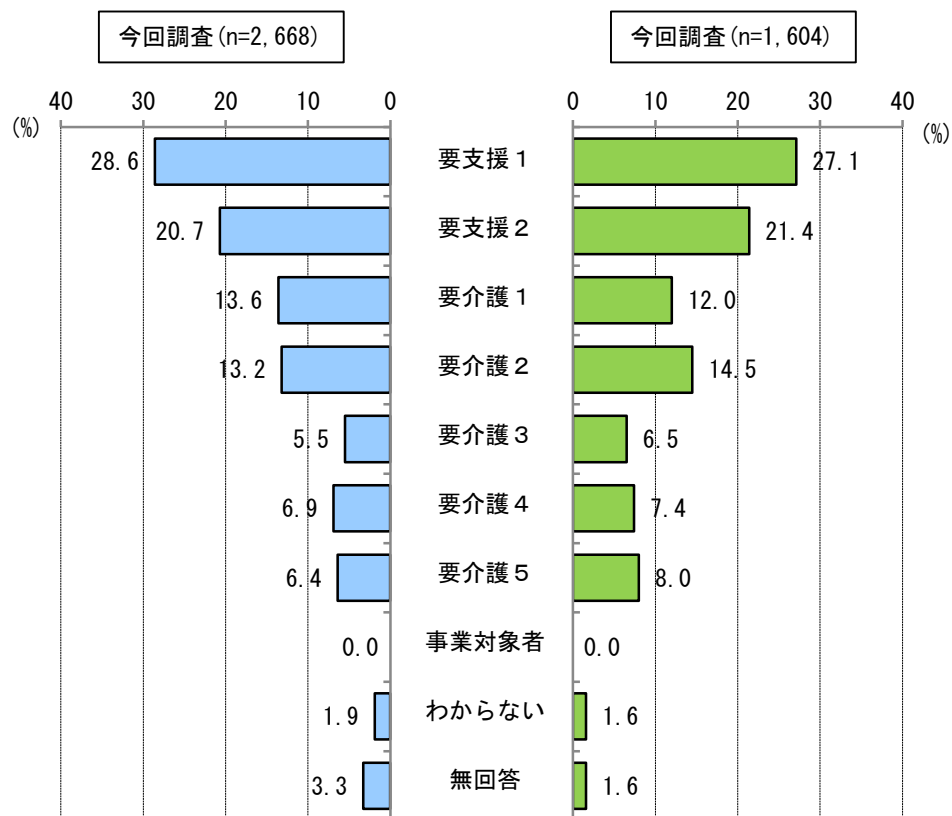
問3-1 要介護度

問3で「受けている」と回答された方におうかがいします。
要介護度に○をつけてください。(○はひとつ)

要介護認定を受けていると回答した人に、要介護度をたずねると、「要支援1」が28.6%で最も多く、次いで「要支援2」が20.7%、「要介護1」が13.6%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図3-1)

【図3-1 要介護度（経年比較）】

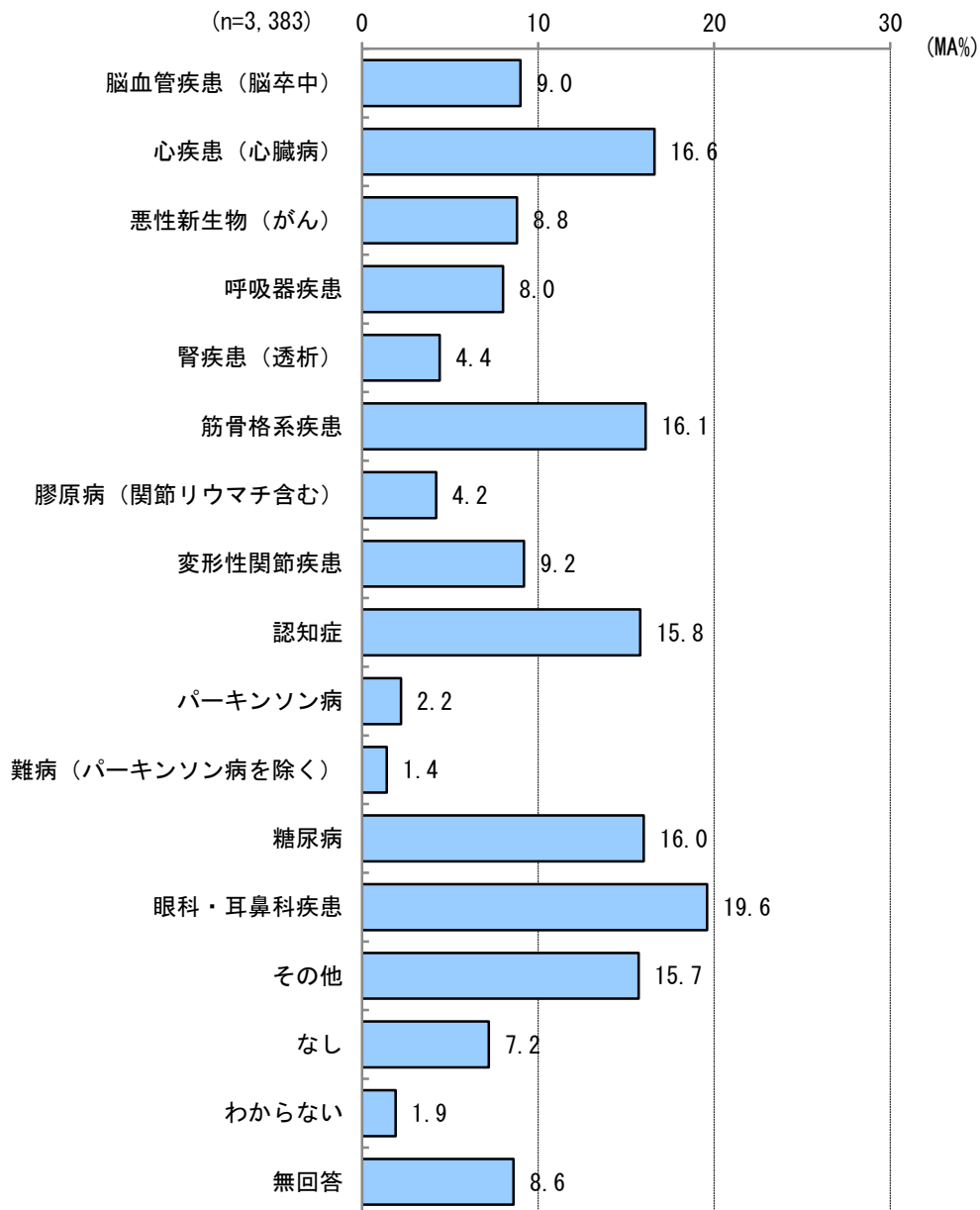


問4 傷病状況

あなたが現在抱えている傷病等（完治したものは除き、経過観察中のものを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

現在抱えている傷病等については、「眼科・耳鼻科疾患」が19.6%で最も多く、次いで「心疾患（心臓病）」が16.6%、「筋骨格系疾患」が16.1%となっている。（図4）

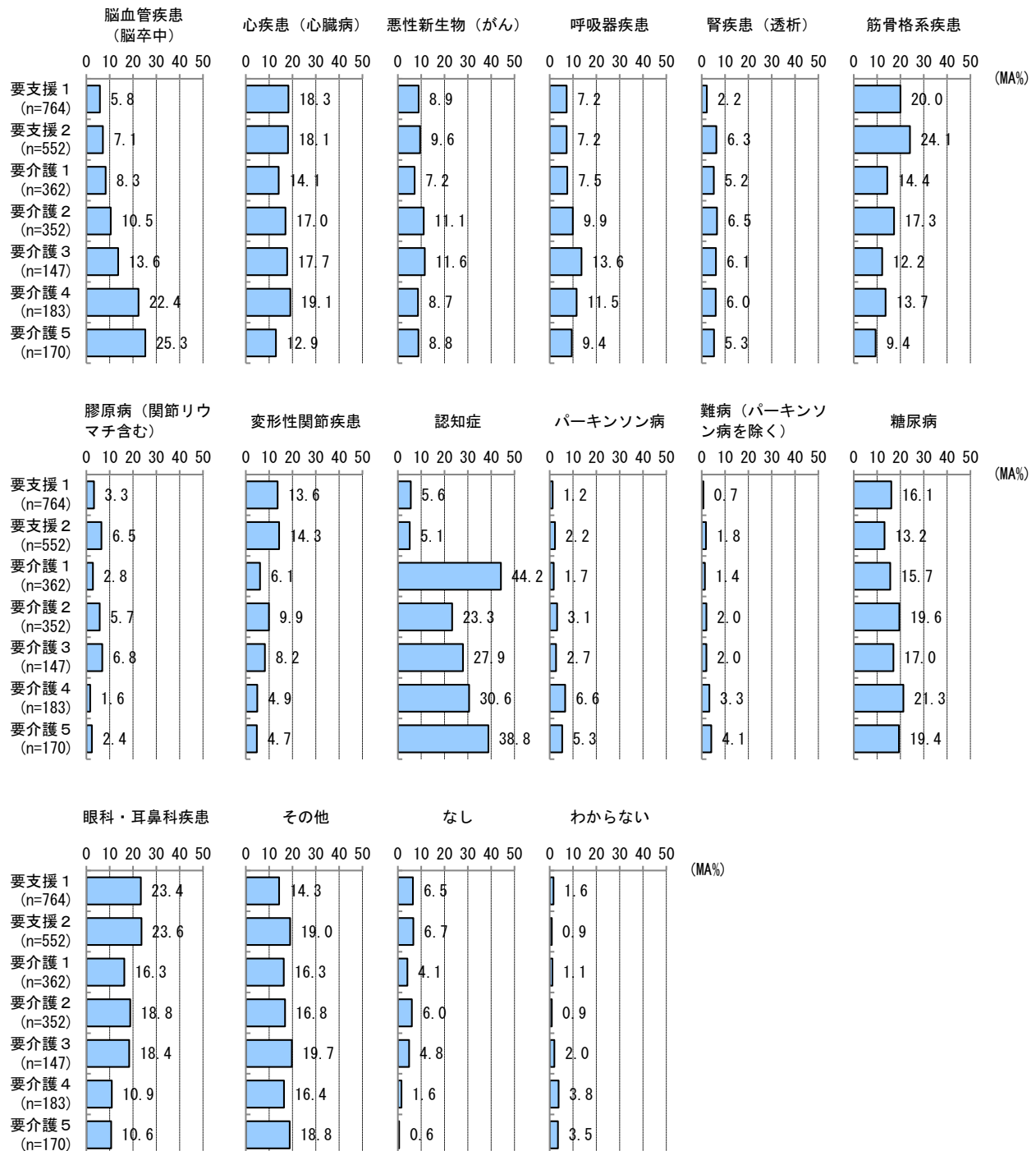
【図4 傷病状況】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、「認知症」は要介護１で44.2%と最も高く、要介護３以上では３割前後を占めている。「眼科・耳鼻科疾患」は要支援１・２が要介護１以上に比べて高くなっている。（図4-a）

【図4-a 傷病状況（要介護度別）】



(2) 世帯の状況、介護の状況

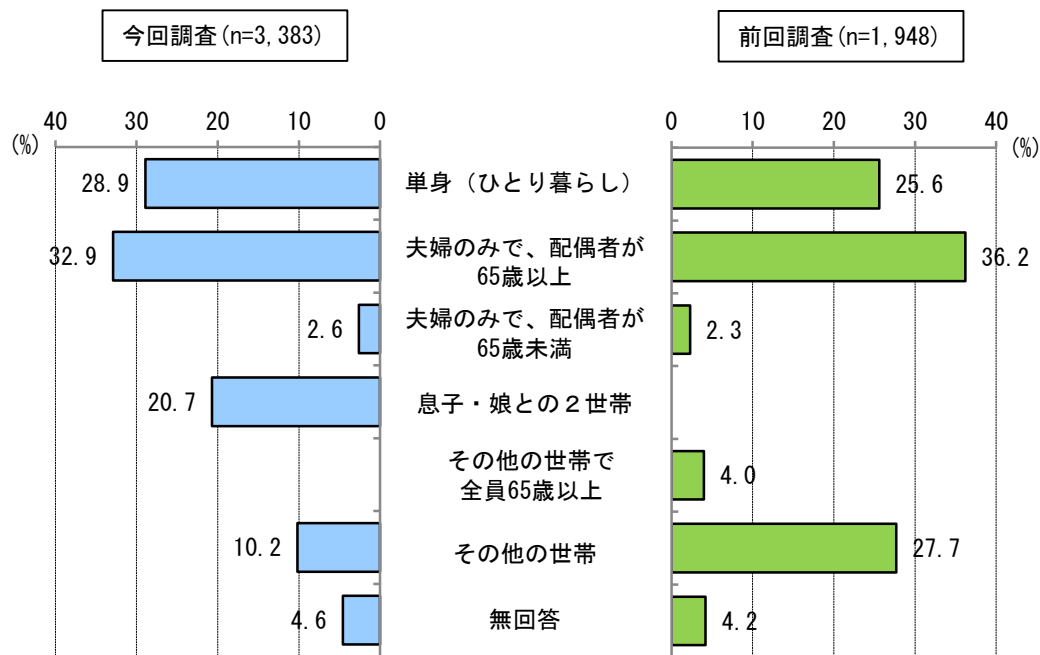
問5 世帯状況

あなたと同居されているご家族の状況についておうかがいします。(〇はひとつ)

世帯状況については、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が32.9%で最も多く、次いで「単身（ひとり暮らし）」が28.9%、「息子・娘との2世帯」が20.7%となっている。

前回調査と比較すると、「単身（ひとり暮らし）」の割合が3.3ポイント高く、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合が3.3ポイント低くなっている。(図5)

【図5 世帯状況（経年比較）】



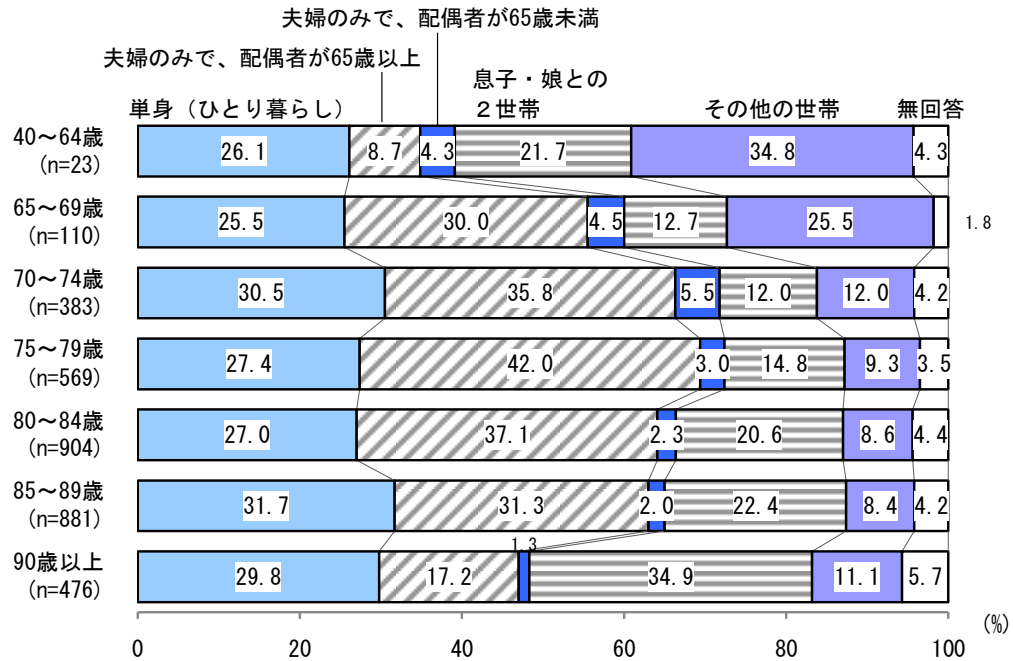
※「息子・娘との2世帯」は、今回調査の新規項目である。

※前回調査の「その他の世帯で全員65歳以上」は、今回調査では設けていない。

【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別でみると、40～64歳は「その他の世帯」が34.8%で最も多く、次いで「単身（ひとり暮らし）」の26.1%となっている。65～84歳の各年代は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も多い。85～89歳では「単身（ひとり暮らし）」が最も多く、90歳以上では「息子・娘との2世帯」が34.9%と他の年代に比べ高くなっている。（図5-a）

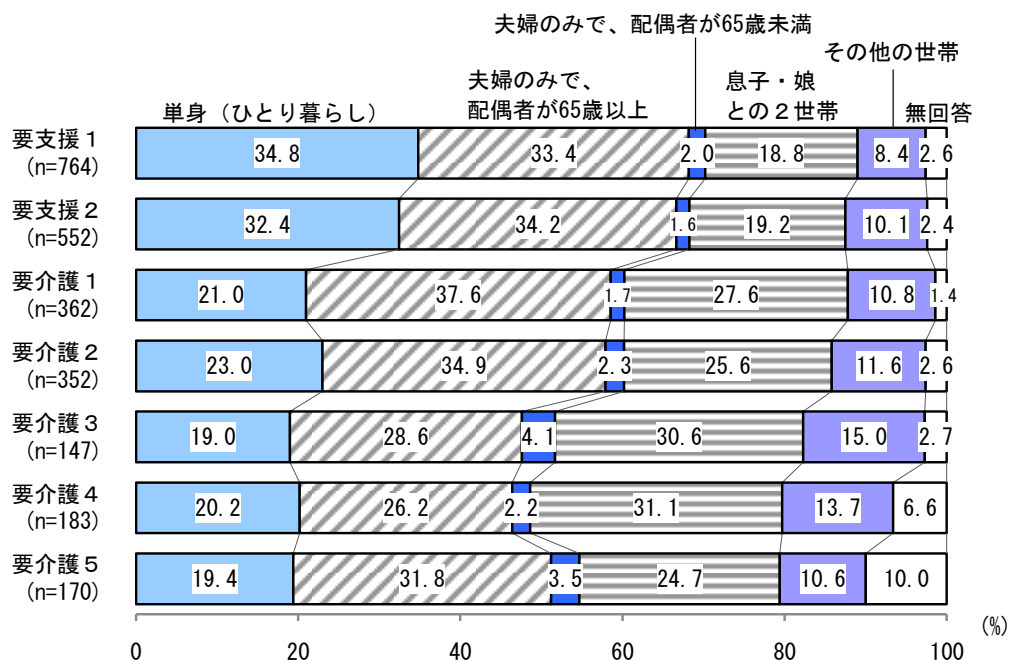
【図5-a 世帯状況（本人の年齢別）】



要介護度別でみると、要支援1は「単身（ひとり暮らし）」が34.8%で最も多い。要支援2と要介護1・2・5は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も多く、「単身（ひとり暮らし）」の割合は重度になるほど低くなる傾向にある。

要介護3・4は「息子・娘との2世帯」が約3割でそれぞれ最も多くなっている。（図5-b）

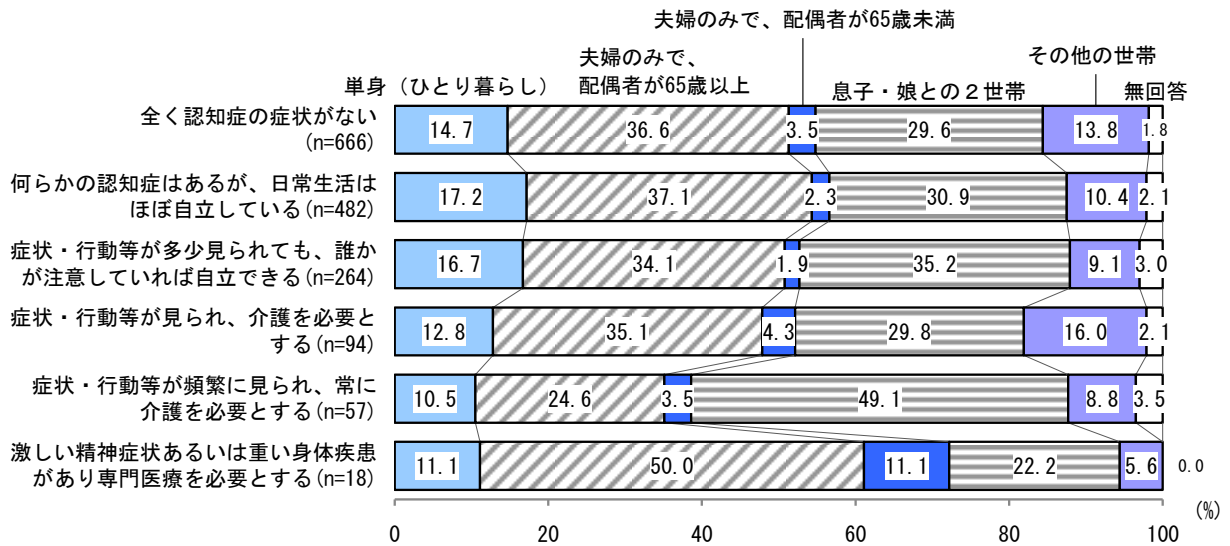
【図5-b 世帯状況（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

本人の認知症の程度別でみると、“症状・行動等が多少見られても、誰かが注意していれば自立できる”と“症状・行動等が頻繁に見られ、常に介護を必要とする”は「息子・娘との2世帯」が最も多いが、それ以外は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も多くなっている。
(図5-c)

【図5-c 世帯状況（本人の認知症の程度別）】



問6 介護者の有無

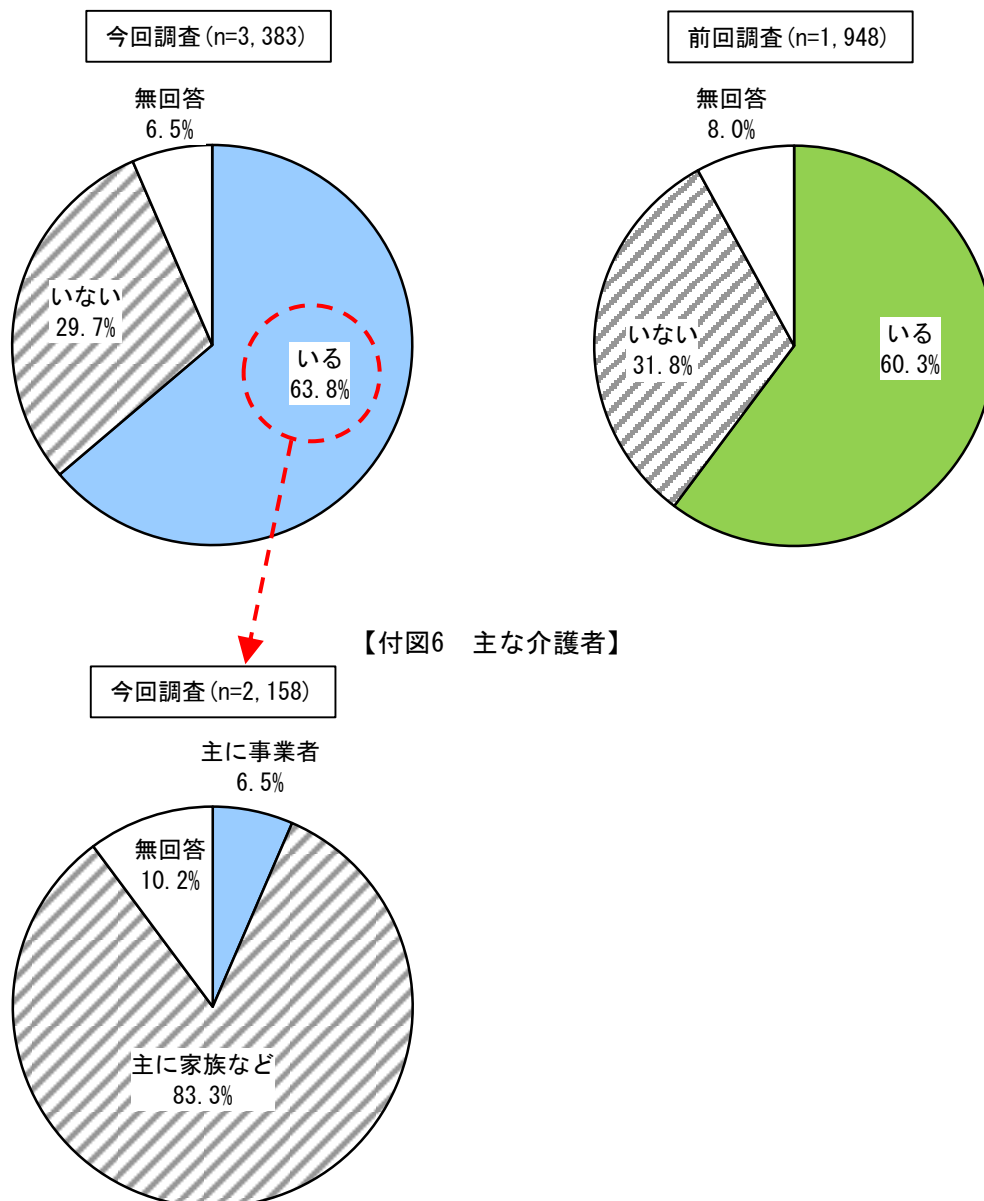
あなたの介護をする方はいますか。(〇はひとつ)

介護者が「いる」は63.8%、「いない」は29.7%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図6)

介護者がいると回答した人に、主な介護者をたずねると、「主に事業者」が6.5%、「主に家族など」が83.3%となっている。(付図6)

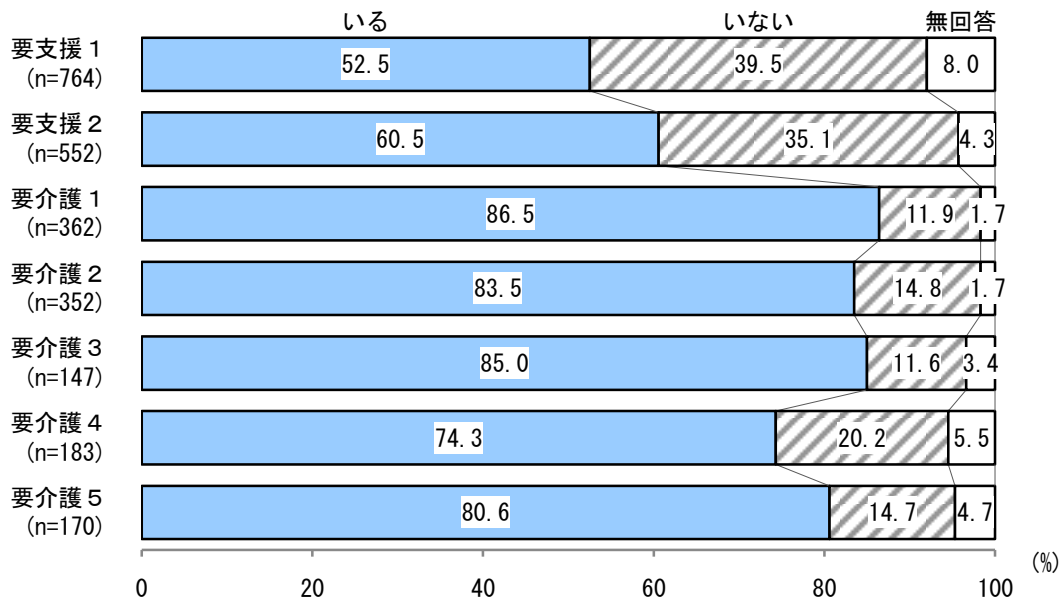
【図6 介護者の有無（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

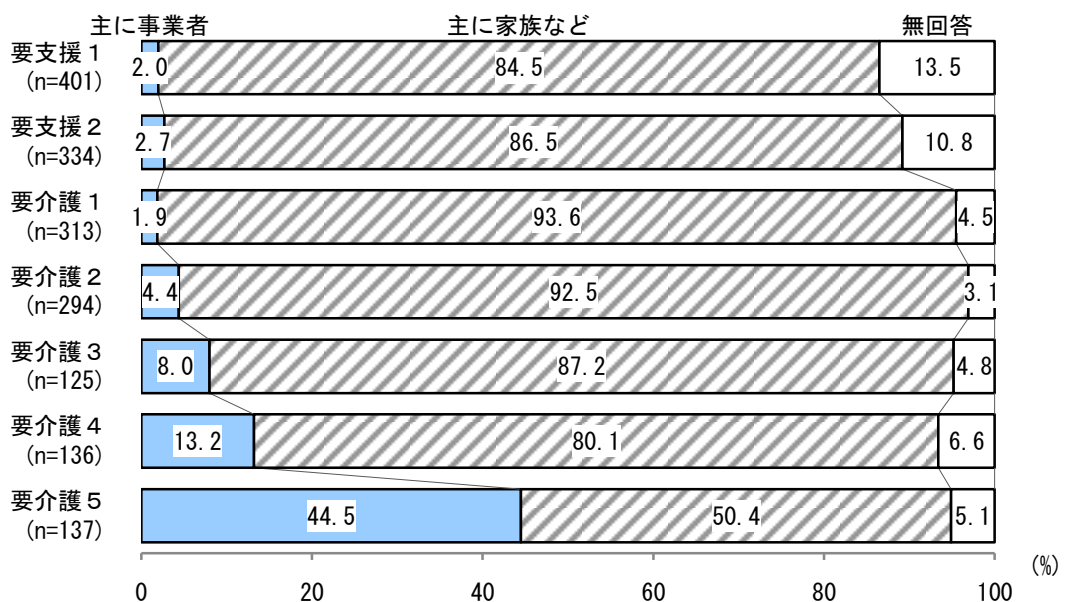
介護者の有無を要介護度別でみると、「いる」は要介護Ⅰが86.5%で最も高く、要介護Ⅰ～Ⅴで7～8割台と高くなっている。（図6-a）

【図6-a 介護者の有無（要介護度別）】



主な介護者を要介護度別でみると、要介護Ⅴは「主に事業者」が44.5%を占めている。要支援Ⅰ・Ⅱ、要介護Ⅰ～Ⅳでは「主に家族など」が8～9割台と高い。（付図6-a）

【付図6-a 主な介護者（要介護度別）】



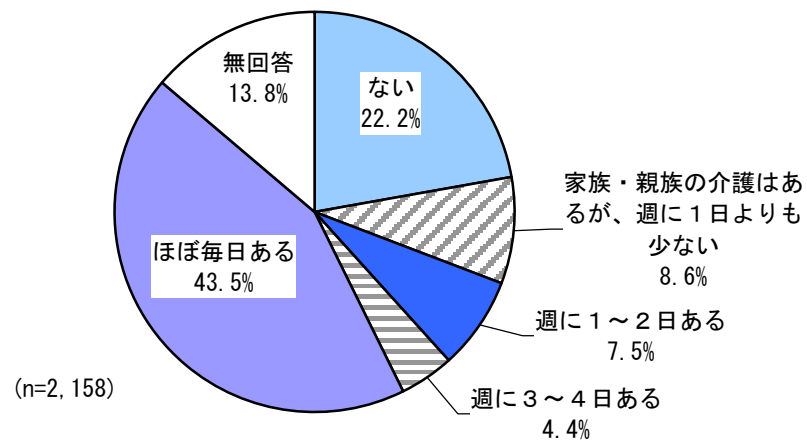
問6-1 家族や親族からの介護日数

問6で「1 いる」と回答された方におうかがいします。

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子供や親族等からの介護を含む）（○はひとつ）

介護者がいると回答した人に、家族や親族からの介護の日数をたずねると、「ほぼ毎日ある」が43.5%で最も多く、次いで「ない」が22.2%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が8.6%となっている。（図6-1）

【図6-1 家族や親族からの介護日数（経年比較）】



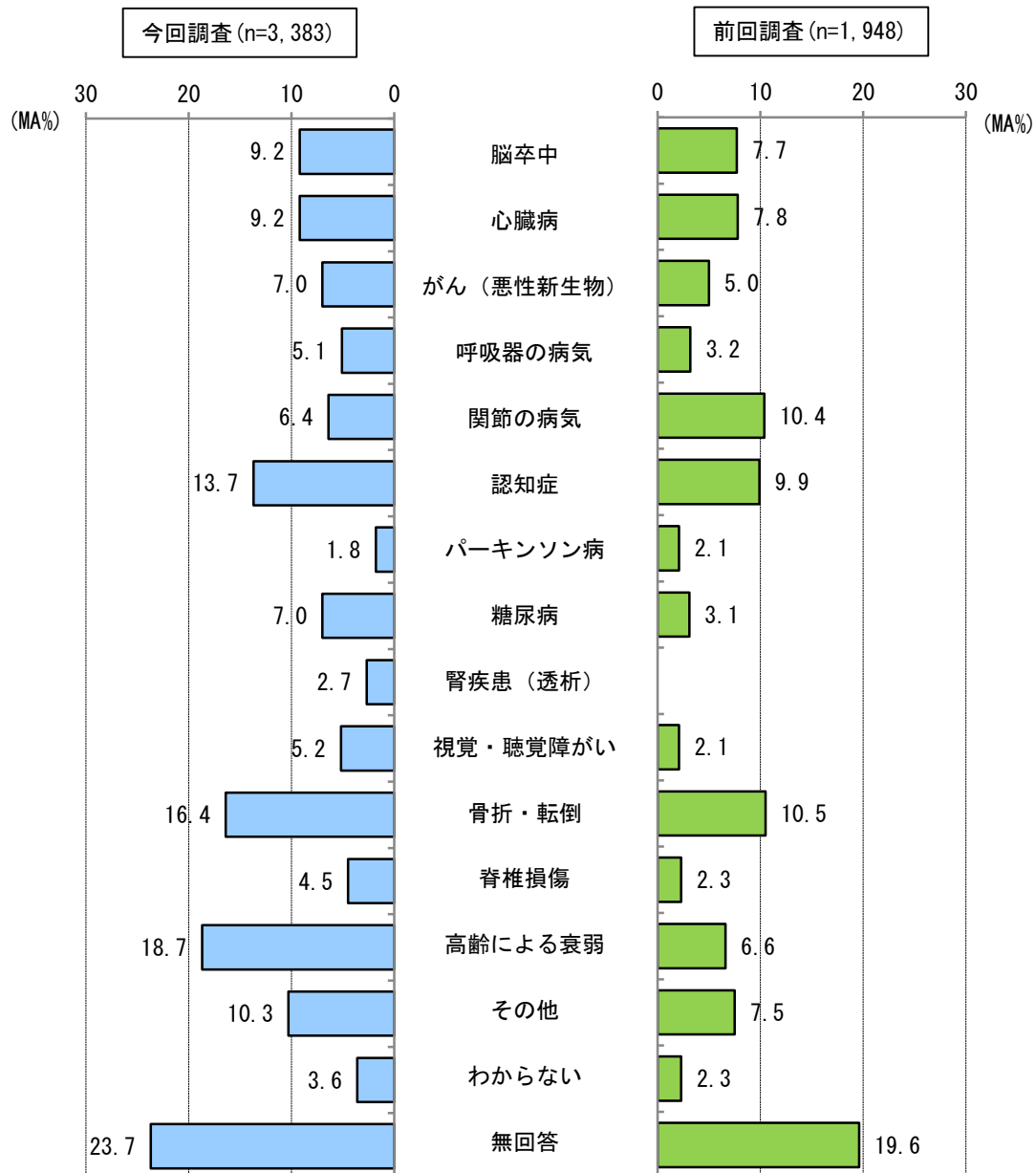
問7 介護・介助が必要になった原因

あなたが介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が18.7%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が16.4%、「認知症」が13.7%となっている。

前回調査と比較すると、「高齢による衰弱」の割合が12.1ポイント高くなっている。(図7)

【図7 介護・介助が必要になった原因（経年比較）】



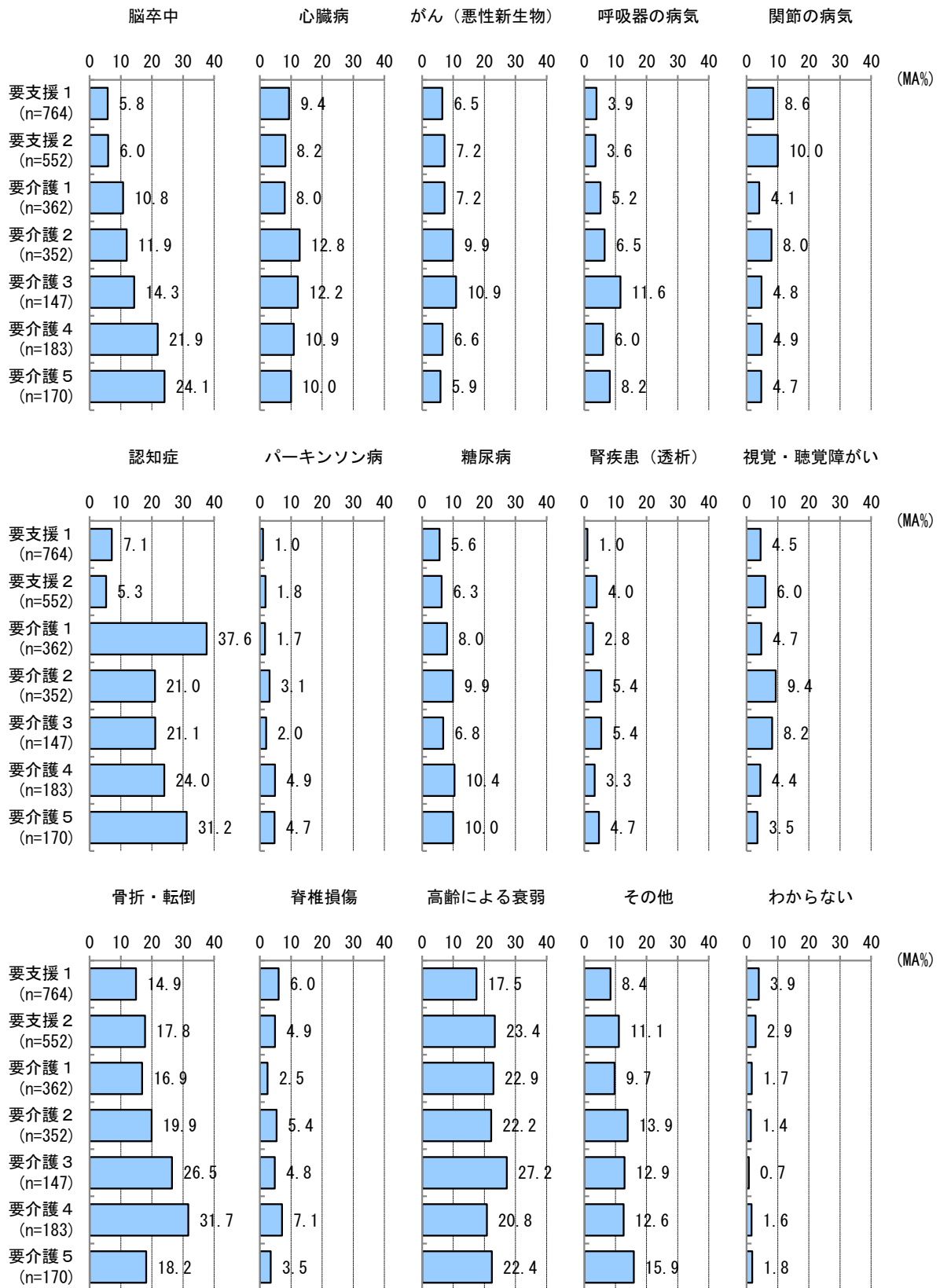
※前回調査では「介護認定を受けた主な原因や病気」を問う質問であった。

※「腎疾患（透析）」は、今回調査の新規項目である。

【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、要介護１・５は「認知症」、要介護４は「骨折・転倒」、要支援１・２、要介護２・３では「高齢による衰弱」が最も多くなっている。（図7-a）

【図7-a 介護・介助が必要になった原因（要介護度別）】



(3) 要介護認定

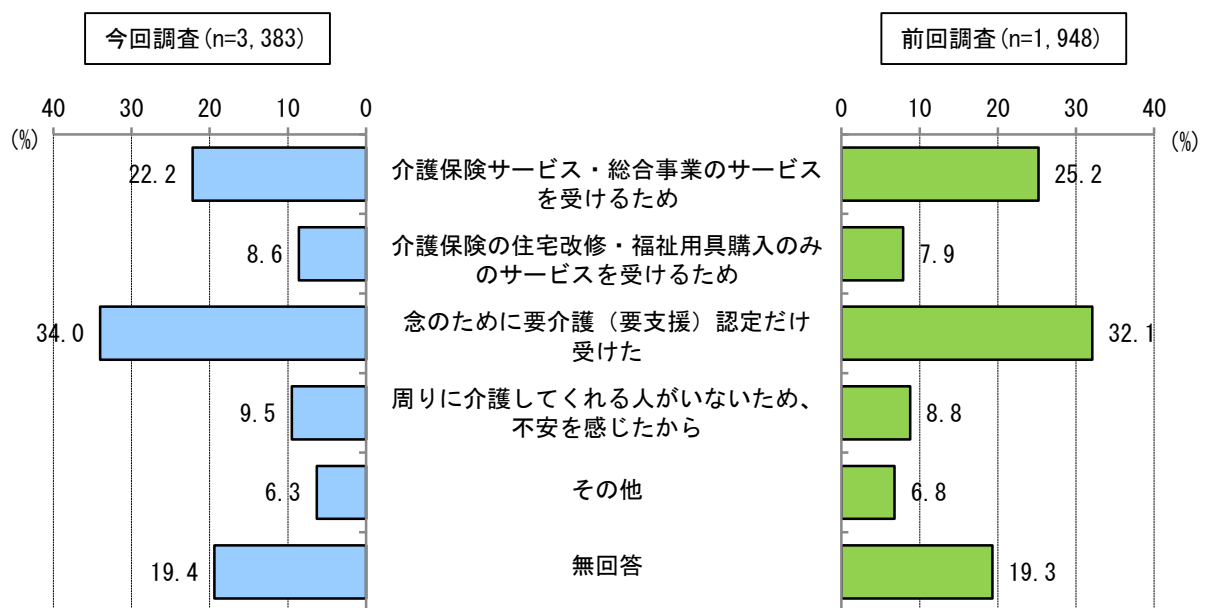
問8 初めて要介護認定を受けた時の目的

あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(〇はひとつ)

初めて要介護認定を受けた時の目的については、「念のために要介護（要支援）認定だけ受けた」が34.0%で最も多く、次いで「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため」が22.2%、「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」が9.5%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図8)

【図8 初めて要介護認定を受けた時の目的（経年比較）】



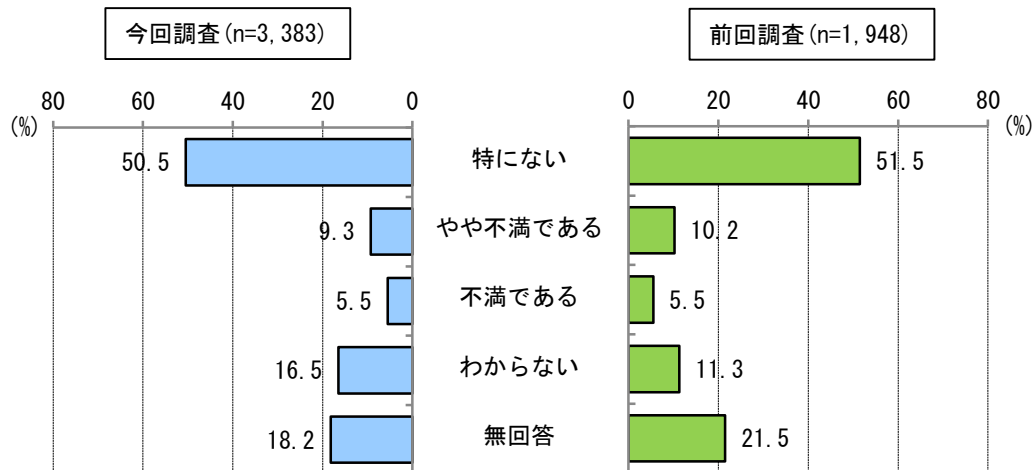
問9 直近の要介護認定で不満の有無

直近の要介護認定において、何かご不満な点がありましたか。(〇はひとつ)

直近の要介護認定で不満があったかについては、「特にない」が50.5%で最も多く、次いで「やや不満である」が9.3%、「不満である」が5.5%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図9)

【図9 直近の要介護認定で不満の有無（経年比較）】



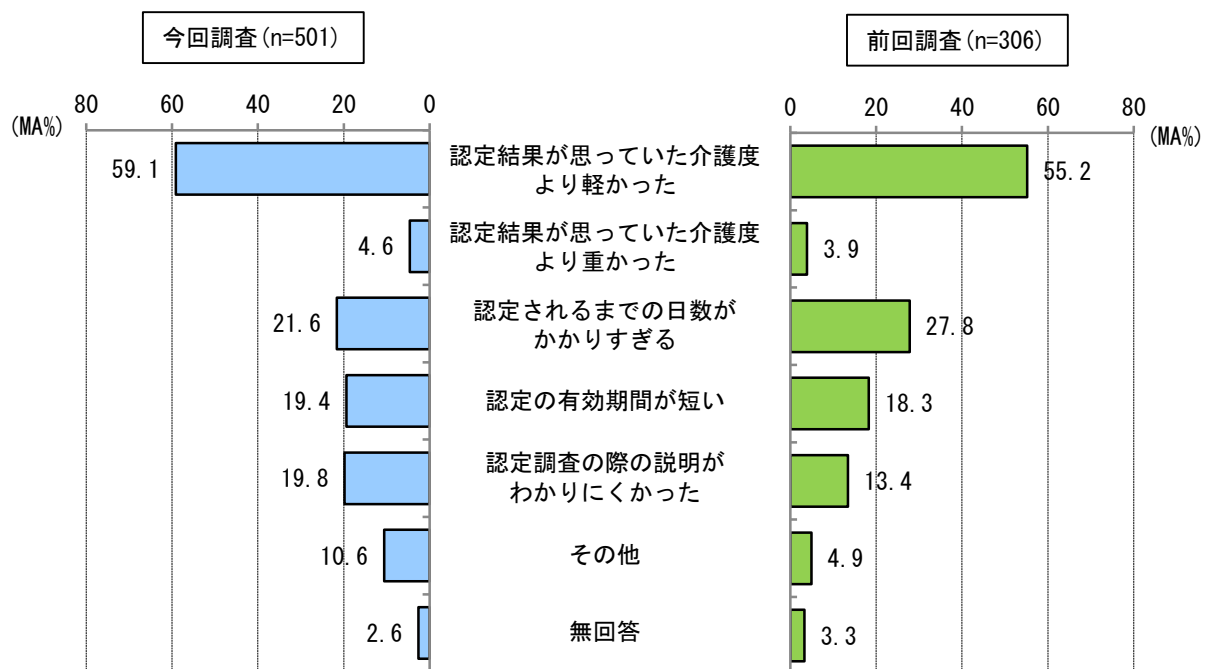
問9-1 要介護認定に不満がある理由

問9で「2 やや不満である」「3 不満である」と回答された方におうかがいします。
その理由についてお答えください。（〇はいくつでも）

要介護認定に不満があると回答した人に、その理由をたずねると、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」が59.1%で最も多く、次いで「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が21.6%、「認定調査の際の説明がわかりにくかった」が19.8%となっている。

前回調査と比較すると、「認定調査の際の説明がわかりにくかった」の割合が6.4ポイント高く、「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が6.2ポイント低くなっている。（図9-1）

【図9-1 要介護認定に不満がある理由（経年比較）】



（４）介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

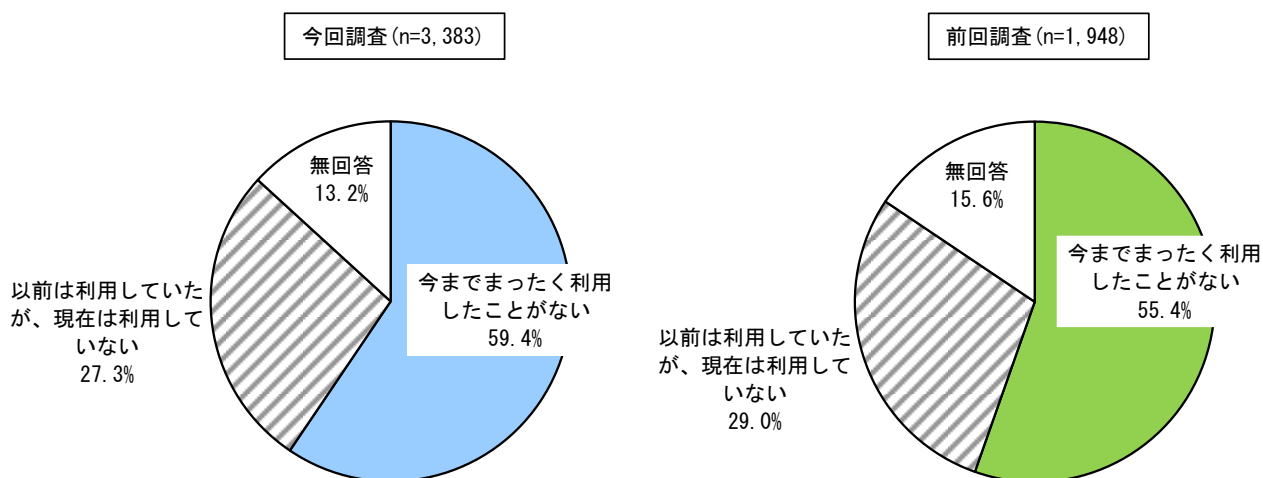
問10 介護保険サービスの利用状況

あなたの介護保険サービスの利用状況について、おうかがいします。（○はひとつ）

介護サービスの利用状況については、「今までまったく利用したことがない」が59.4%、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が27.3%となっている。

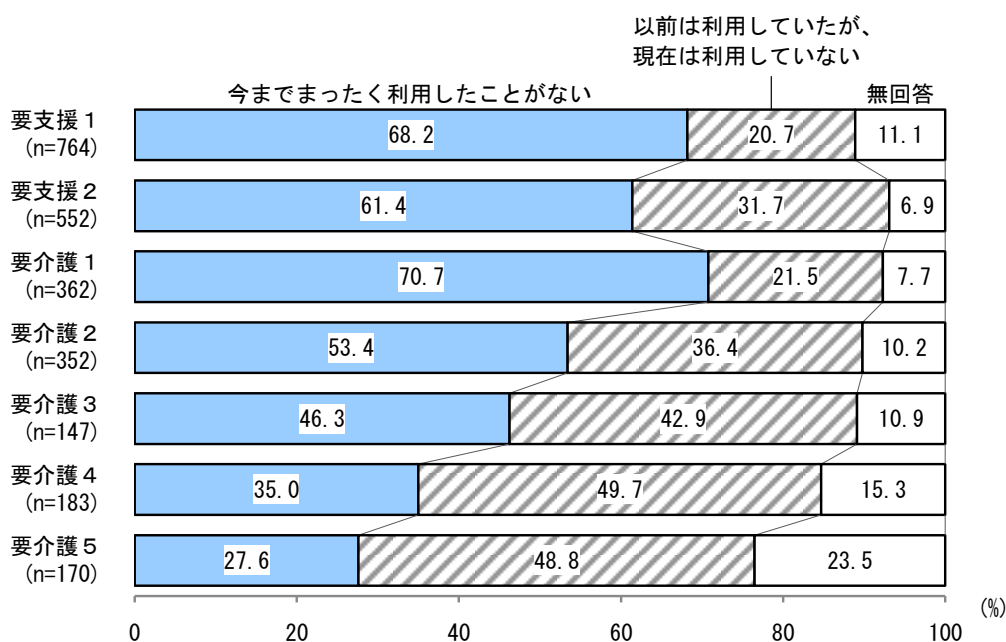
前回調査と比較すると、「今までまったく利用したことがない」の割合が4.0ポイント高くなっている。（図10）

【図10 介護保険サービスの利用状況（経年比較）】



要介護度別でみると、要支援１・２と要介護１～３は「今までまったく利用したことがない」が４～７割台を占めている。要介護４・５では「以前は利用していたが、現在は利用していない」のほうが多くなっている。（図10-a）

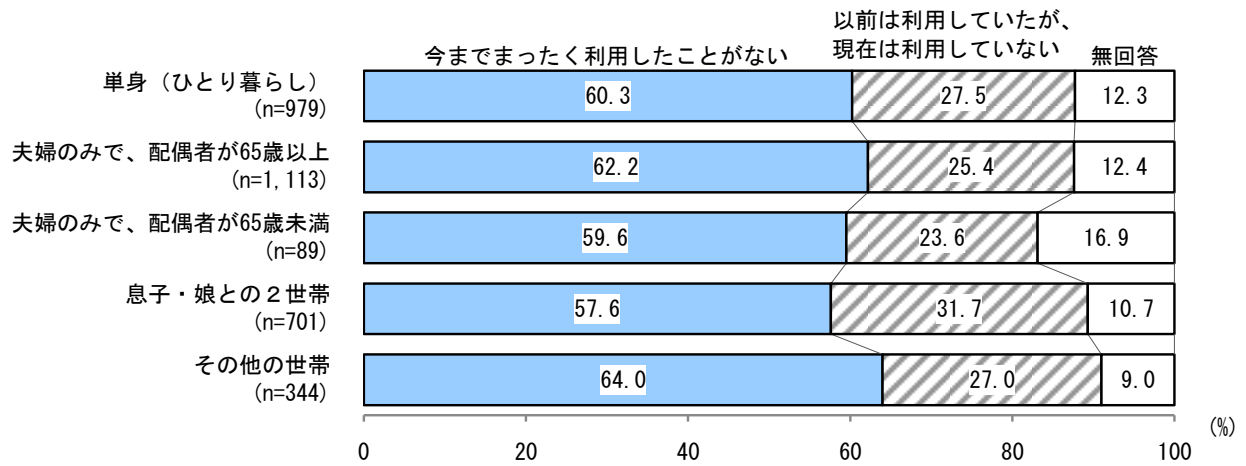
【図10-a 介護保険サービスの利用状況（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

世帯状況別でみると、いずれの世帯も「今までまったく利用したことがない」が過半数を占めている。一方、「以前は利用していたが、現在は利用していない」の割合では、息子・娘との2世帯が31.7%で最も高くなっている。（図10-b）

【図10-b 介護保険サービスの利用状況（世帯状況別）】



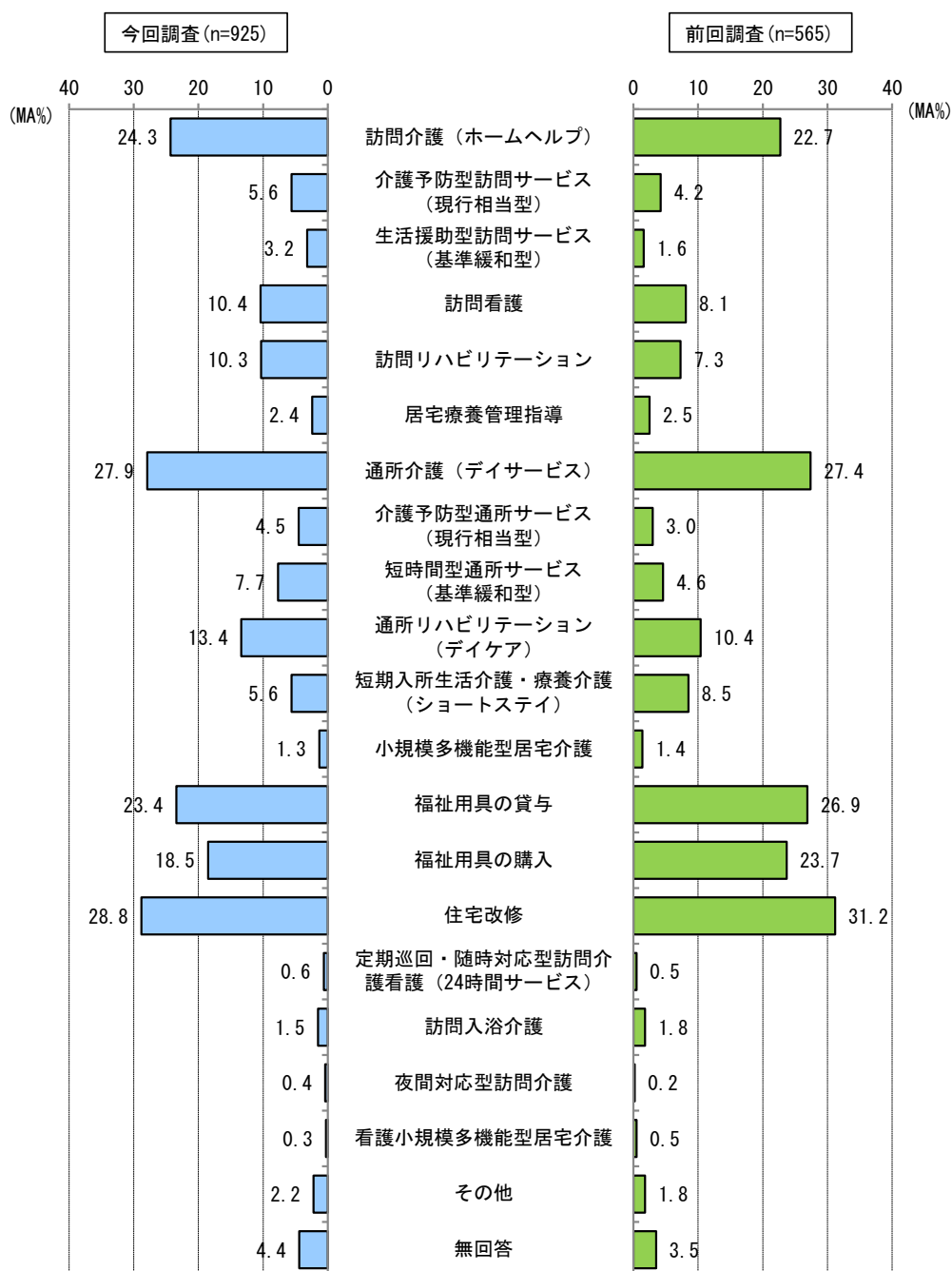
問10-1 以前利用していた介護保険サービス

問10で「2 以前は利用していたが、現在は利用していない」と回答された方におうかがいします。
以前はどのようなサービスを利用していましたか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを以前利用していたが、現在は利用していないと回答した人に、以前利用していた介護サービスについてたずねると、「住宅改修」が28.8%で最も多く、次いで「通所介護（デイサービス）」が27.9%、「訪問介護（ホームヘルプ）」が24.3%となっている。

前回調査と比較すると、「短時間型通所サービス（基準緩和型）」の割合が3.1ポイント、「訪問リハビリテーション」と「通所リハビリテーション（デイケア）」の割合がともに3.0ポイント高くなっている。(図10-1)

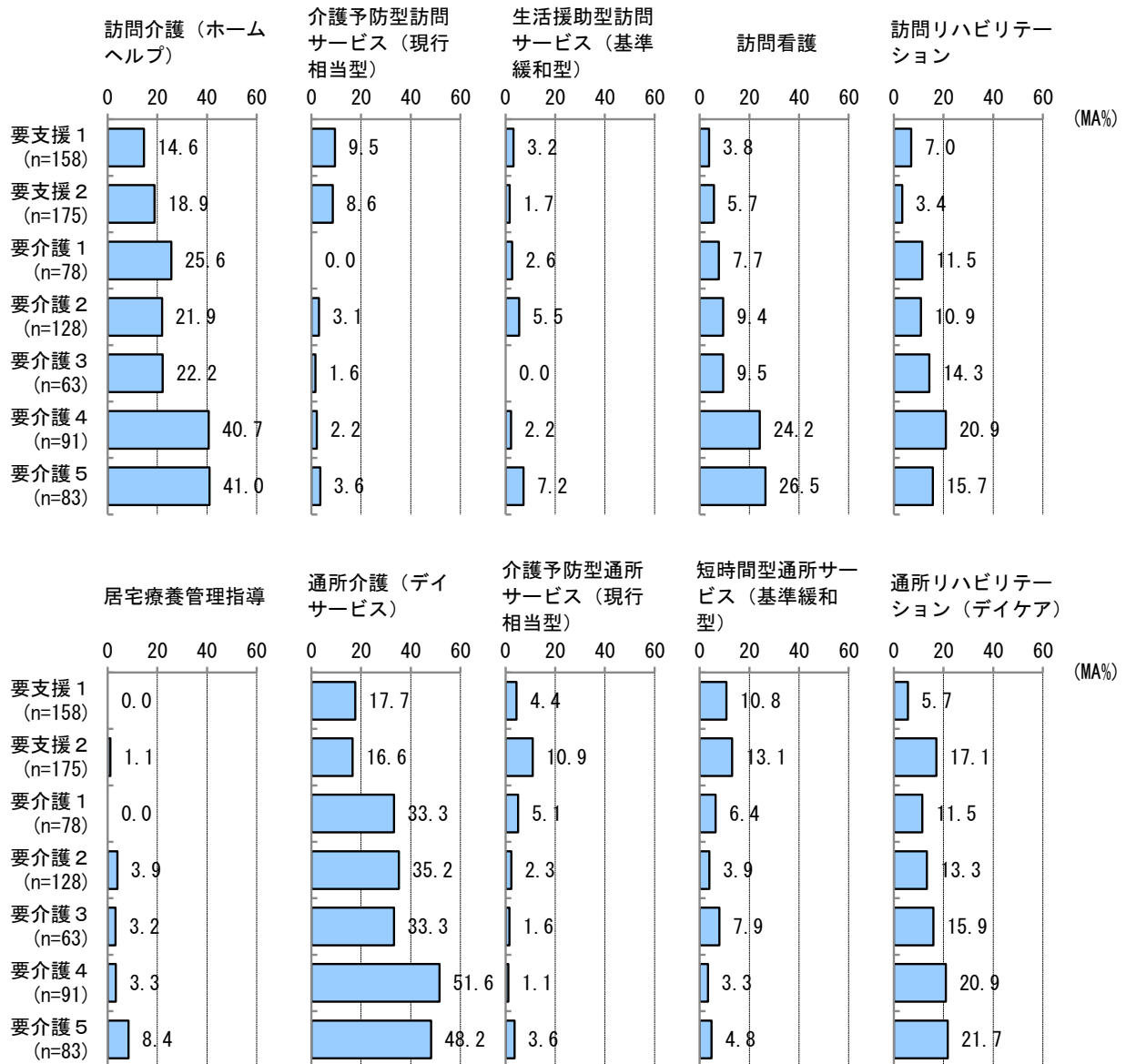
【図10-1 以前利用していた介護保険サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

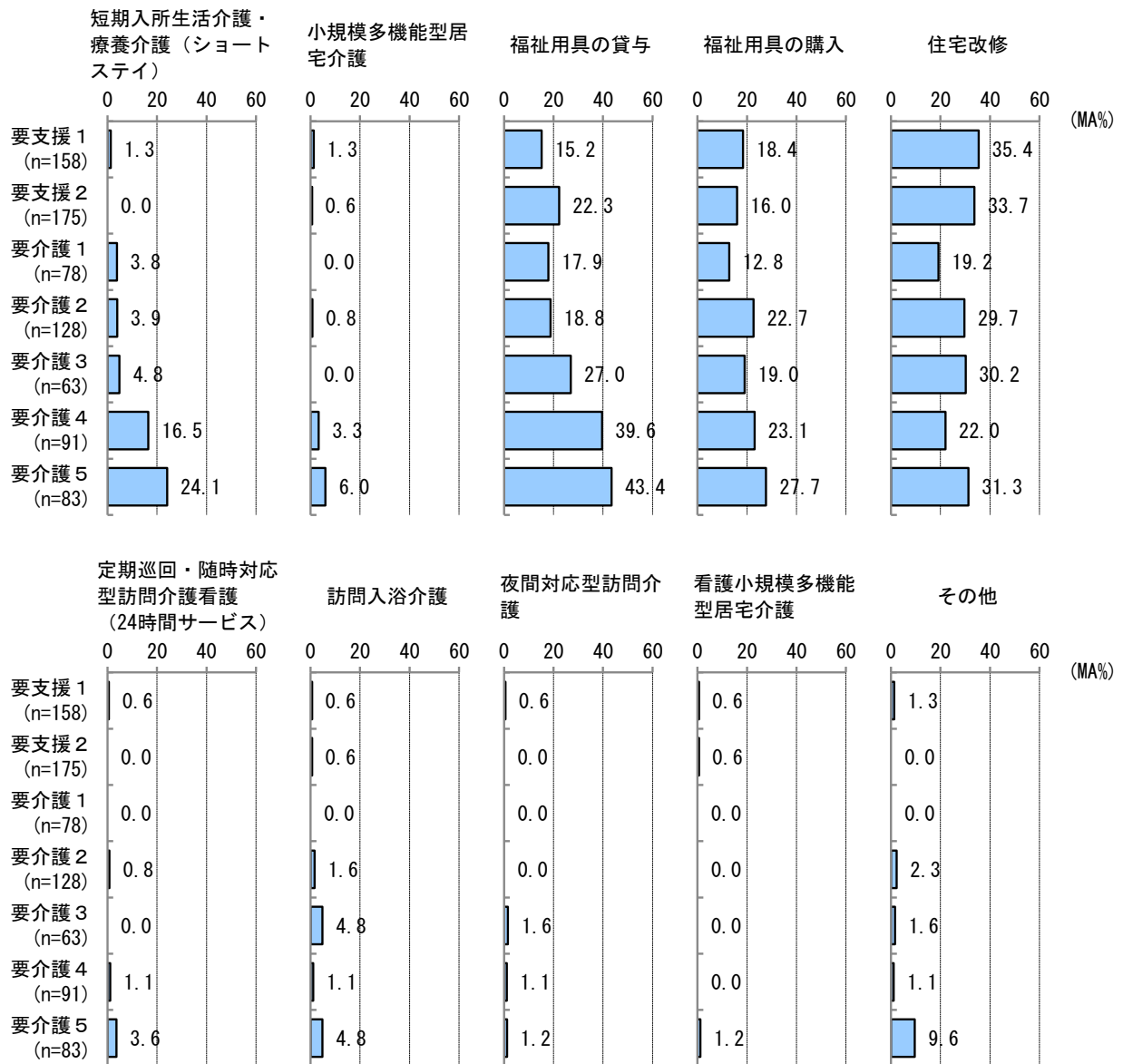
要介護度別でみると、要支援１・２は「住宅改修」が最も多く、要介護１～５は「通所介護（デイサービス）」が最も多くなっている。（図10-1-a）

【図10-1-a 以前利用していた介護保険サービス（要介護度別）①】



【介護保険サービス未利用者調査】

【図10-1-a 以前利用していた介護保険サービス（要介護度別）②】



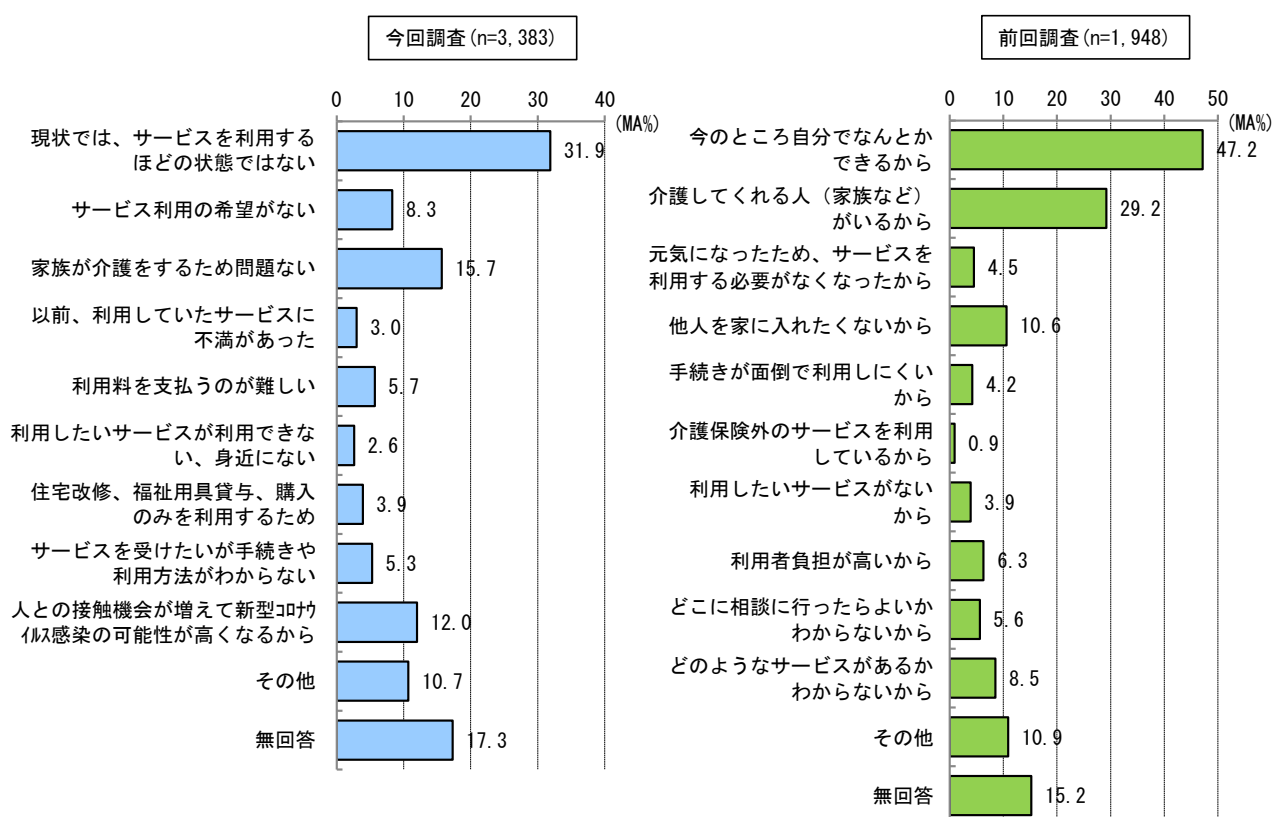
問11 介護保険サービスを利用していない理由

あなたが介護保険サービスを、現在利用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

介護サービスを現在利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が31.9%で最も多く、次いで「家族が介護をするため問題ない」が15.7%、「人との接触機会が増えて新型コロナウイルス感染の可能性があるから」が12.0%となっている。

前回調査とは選択肢が異なるので比較はできないが、前回調査では、「今のところ自分でなんとかできるから」の割合が47.2%で最も高くなっていた。（図11）

【図11 介護保険サービスを利用していない理由（経年比較）】

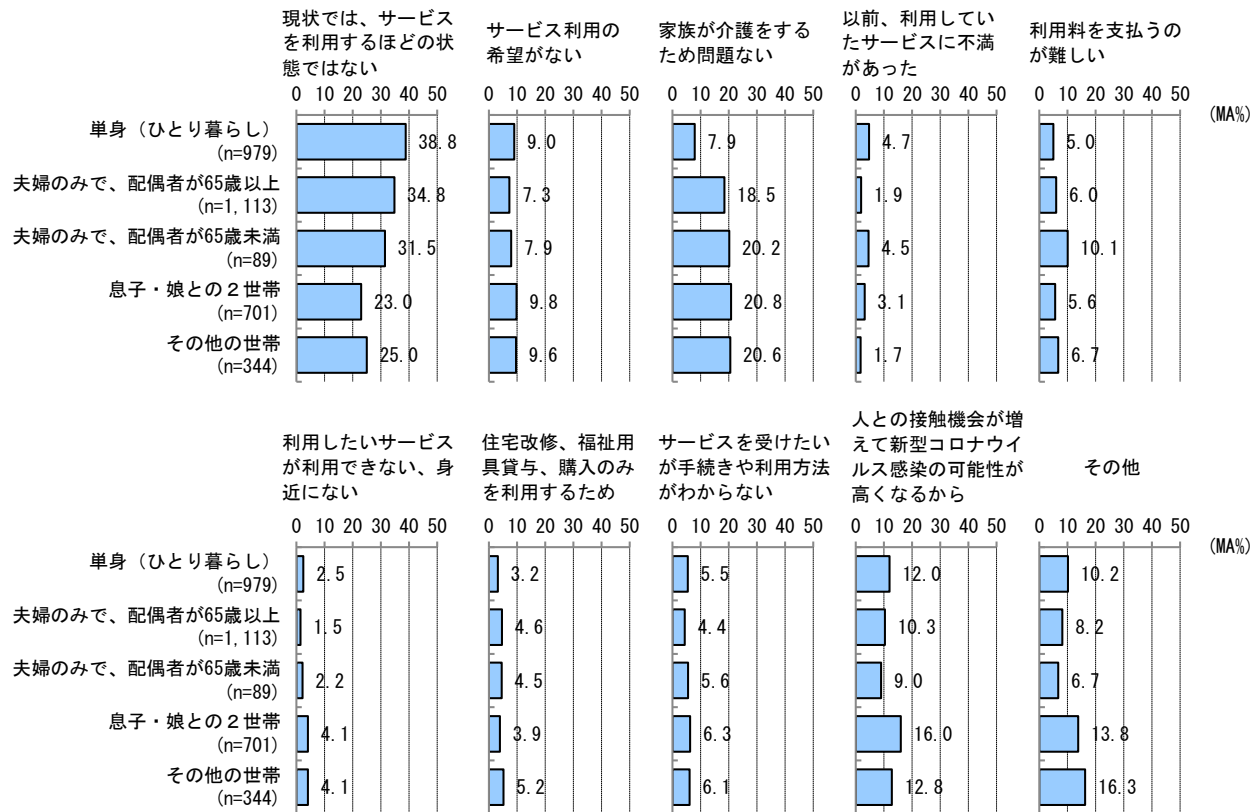


※今回調査では選択肢をほとんど変更している。

【介護保険サービス未利用者調査】

世帯状況別でみると、いずれの世帯も「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多く、特に単身（ひとり暮らし）世帯は38.8%と最も高い割合になっている。（図11-a）

【図11-a 介護保険サービスを利用していない理由（世帯状況別）】

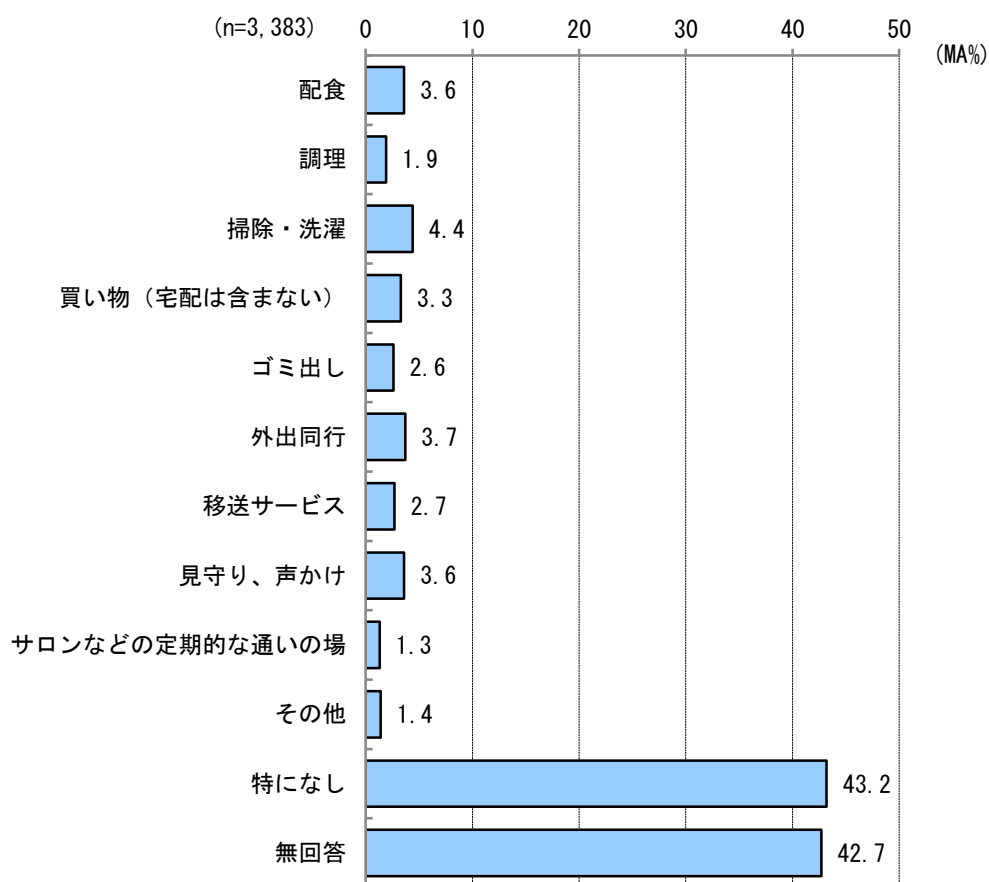


問12 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(〇はいくつでも)

現在利用している、介護サービス以外の支援・サービスについては、「特になし」が43.2%で最も多く、利用している支援・サービスでは「掃除・洗濯」が4.4%で最も多く、次いで「外出同行」が3.7%、「配食」、「見守り、声かけ」がそれぞれ3.6%となっている。(図12)

【図12 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス】

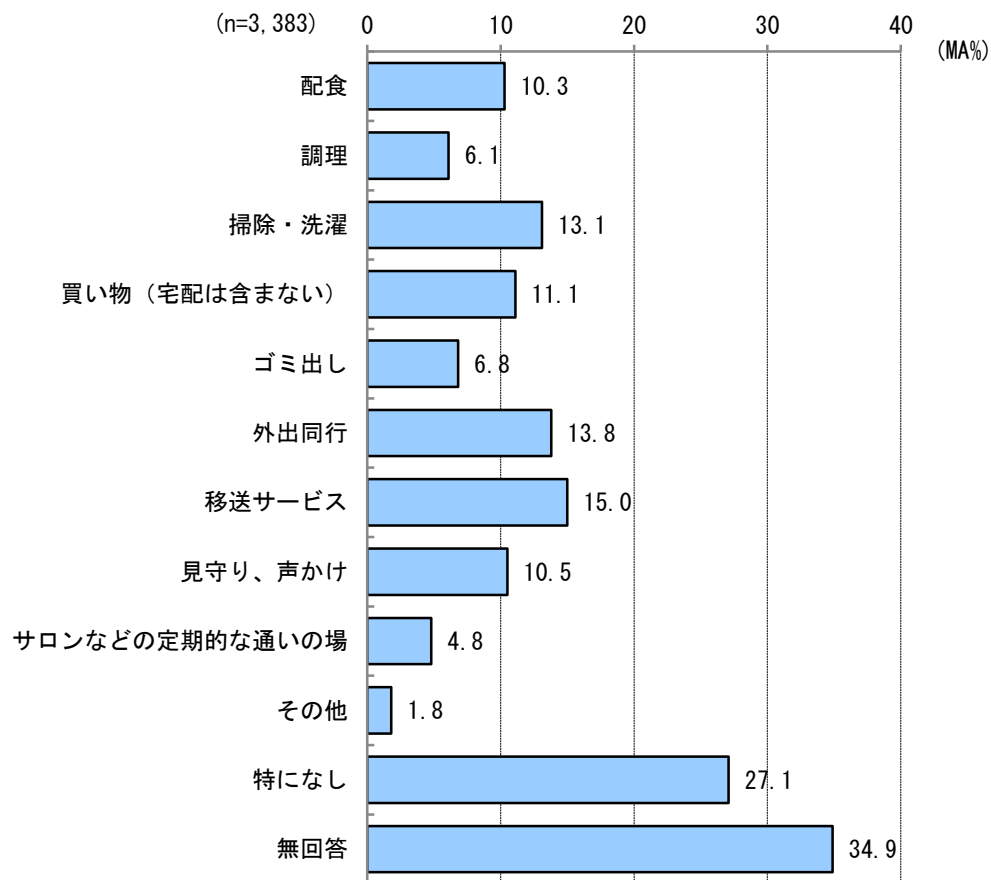


問13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

今後の在宅生活継続に必要な支援・サービスについては、「特になし」が27.1%で最も多いが、必要な支援・サービスでは「移送サービス」が15.0%で最も多く、次いで「外出同行」が13.8%、「掃除・洗濯」が13.1%となっている。（図13）

【図13 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス】



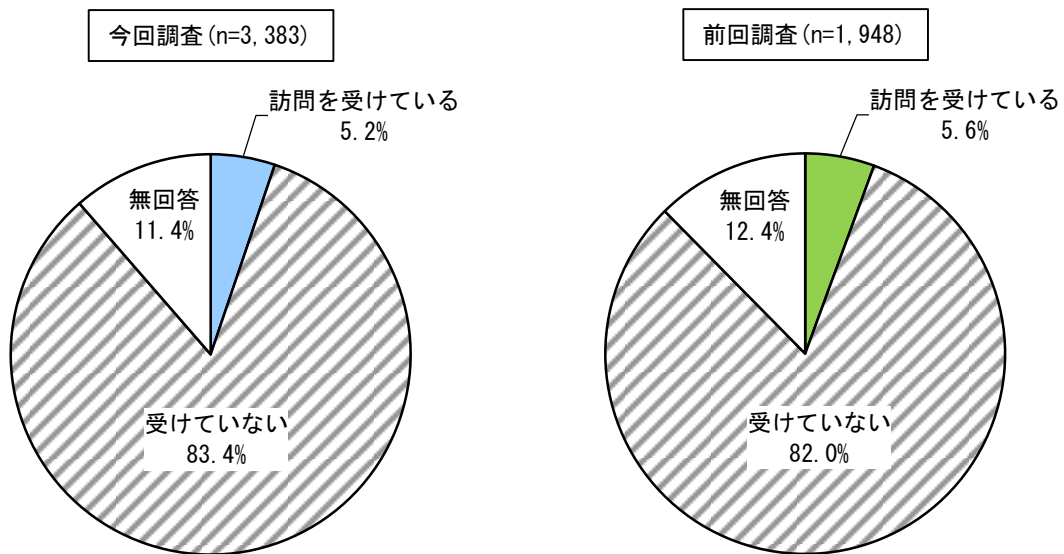
問14 医療従事者などの訪問有無

あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。（○はひとつ）

現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「訪問を受けている」が5.2%、「受けていない」が83.4%となっている。

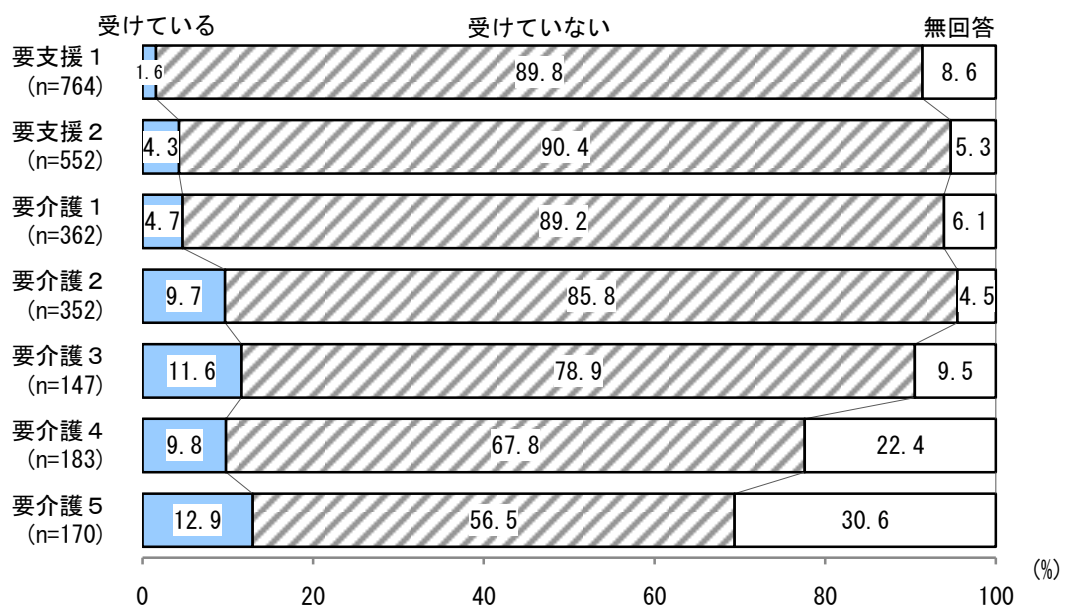
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。（図14）

【図14 医療従事者などの訪問有無（経年比較）】



要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「受けていない」が過半数を占めているが、重度になるほど「訪問を受けている」の割合が高くなる傾向がみられる。（図14-a）

【図14-a 医療従事者などの訪問有無（要介護度別）】



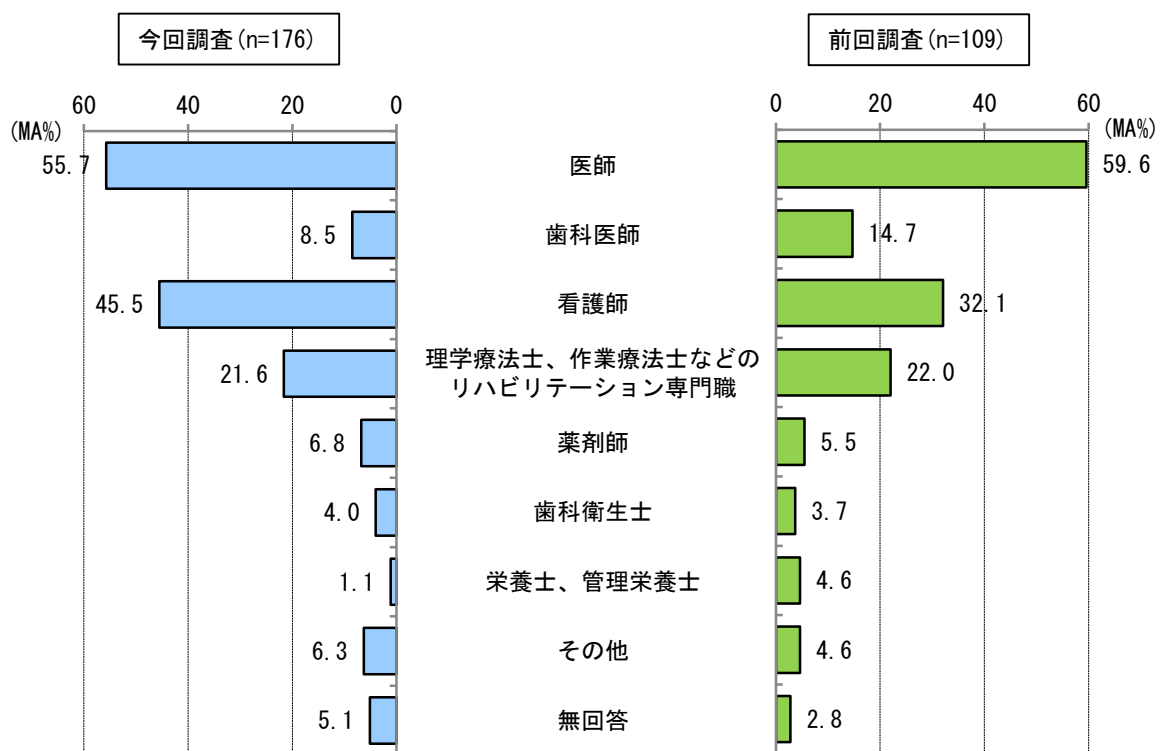
問14-1 訪問されている医療従事者

問14で「1 はい」と回答された方におうかがいします。
訪問されている方は誰ですか。（〇はいくつでも）

医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「医師」が55.7%で最も多く、次いで「看護師」が45.5%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」が21.6%となっている。

前回調査と比較すると、「看護師」の割合が13.4ポイント高く、「歯科医師」の割合が6.2ポイント低くなっている。（図14-1）

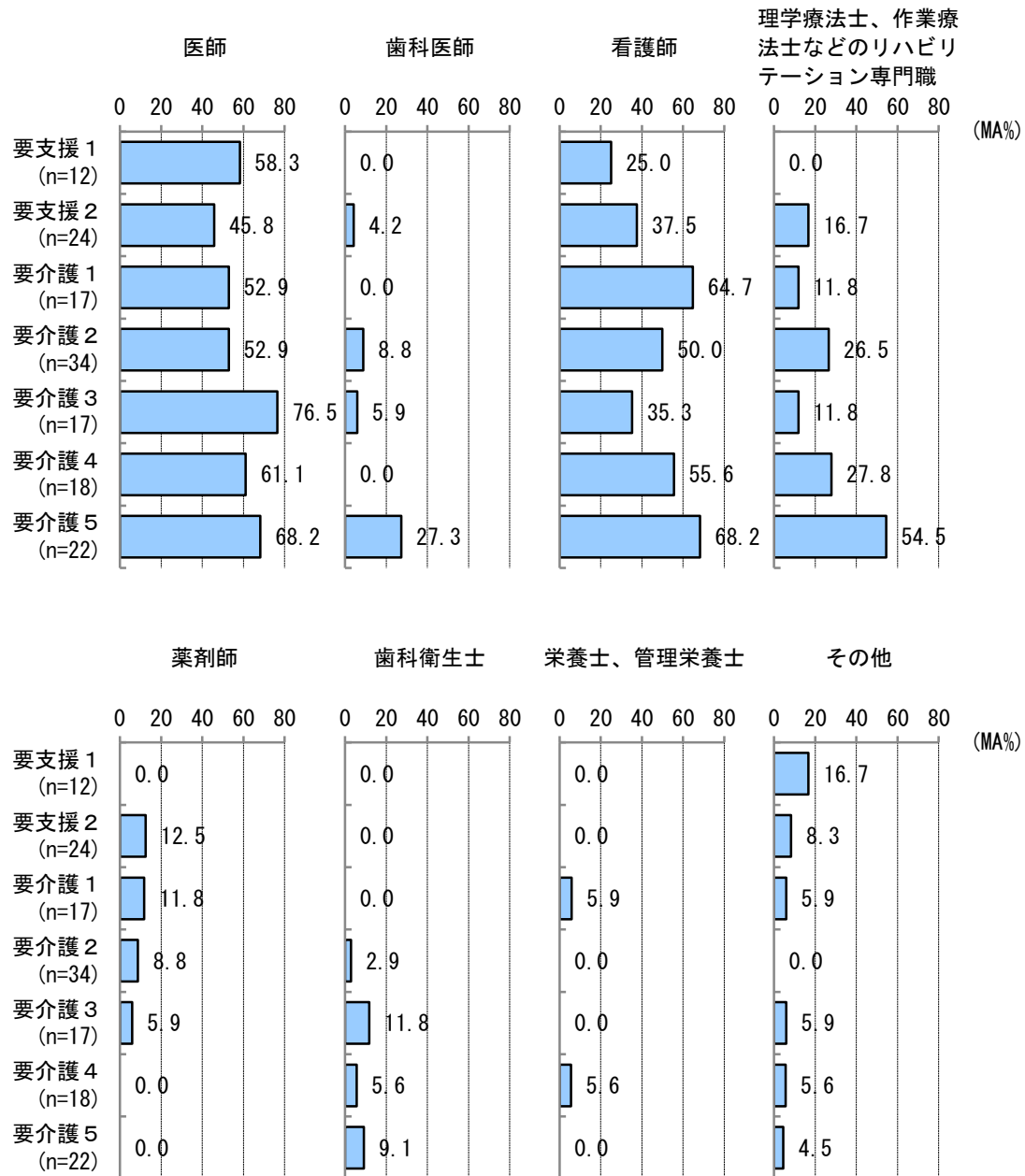
【図14-1 訪問されている医療従事者（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、母数が少ないので一概には言えないが、要介護1は「看護師」が64.7%で最も多くなっている。それ以外の要介護度では「医師」が最も多くなっている。また、要介護5は同率で「看護師」も最も多い。また要介護5は「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」も5割以上となっている。（図14-1-a）

【図14-1-a 訪問されている医療従事者（要介護度別）】



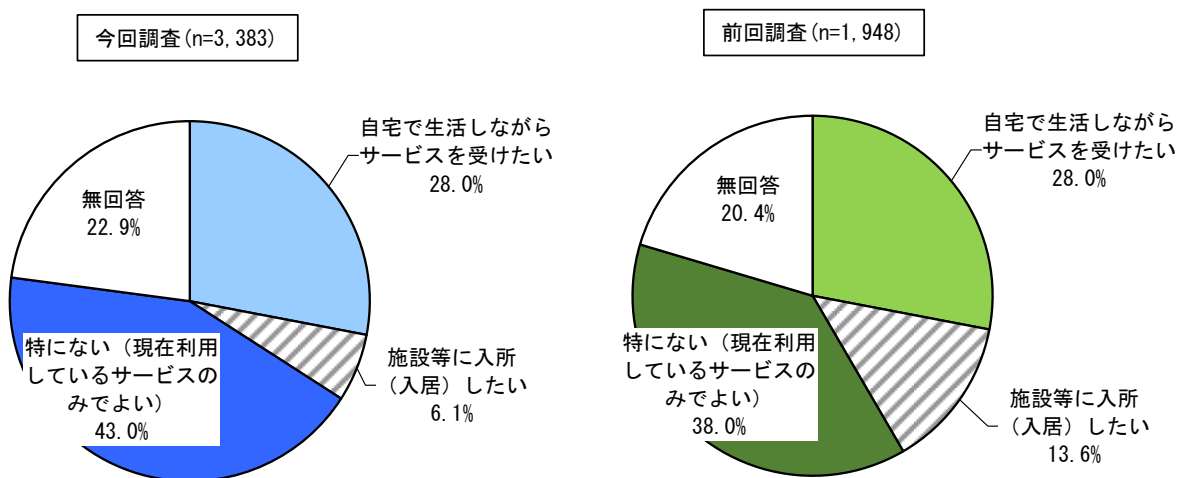
問15 介護保険サービスの利用意向

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについてお答えください。(○はひとつ)

今後、利用したい介護保険サービスについては、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が43.0%で最も多く、次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が28.0%、「施設等に入所（入居）したい」が6.1%となっている。

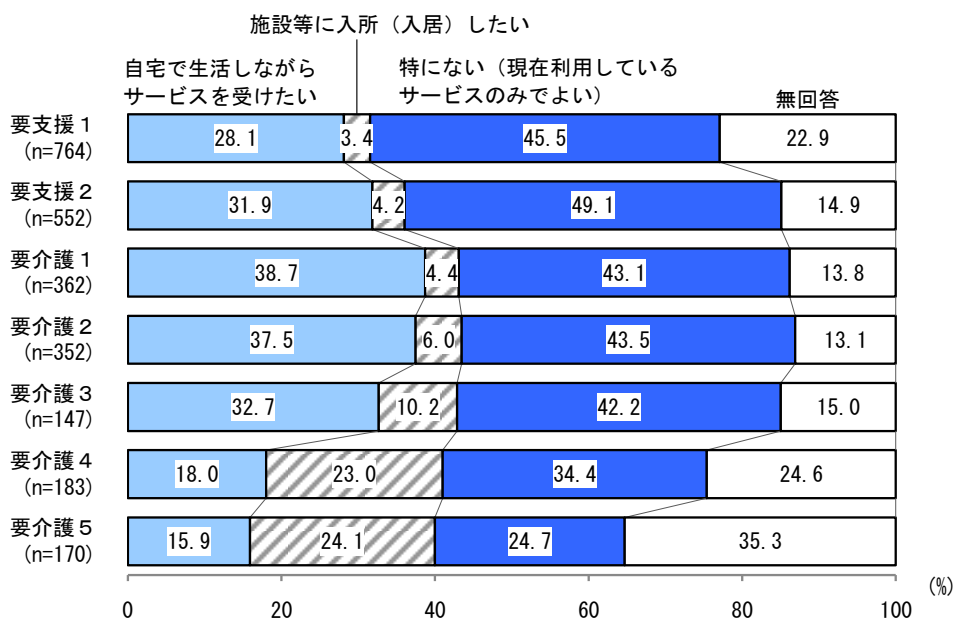
前回調査と比較すると、「施設等に入所（入居）したい」の割合が7.5ポイント低くなっている。(図15)

【図15 介護保険サービスの利用意向（経年比較）】



要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が最も多い。一方、「施設等に入所（入居）したい」の割合は重度になるほど高く、要介護5が24.1%で最も高くなっている。(図15-a)

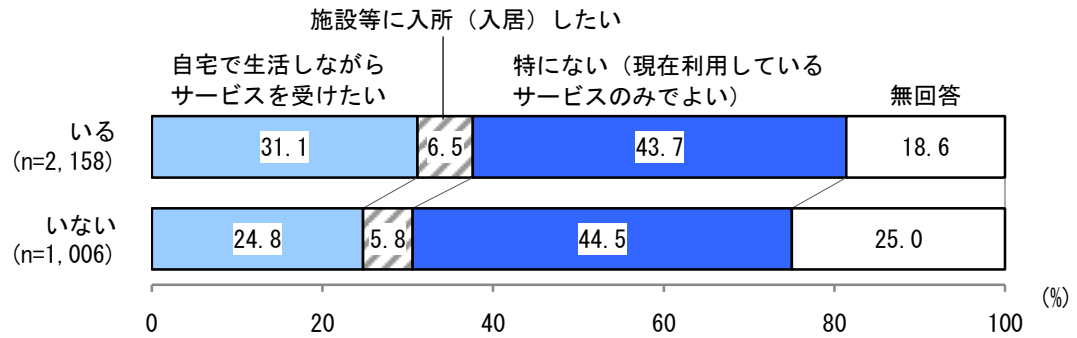
【図15-a 介護保険サービスの利用意向（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

介護者の有無別でみると、介護者がいる、いないにかかわらず「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が4割台で最も多い。「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合は介護者がいる人のほうが高くなっている。（図15-b）

【図15-b 介護保険サービスの利用意向（介護者の有無別）】



問15-1 利用したい居宅サービス

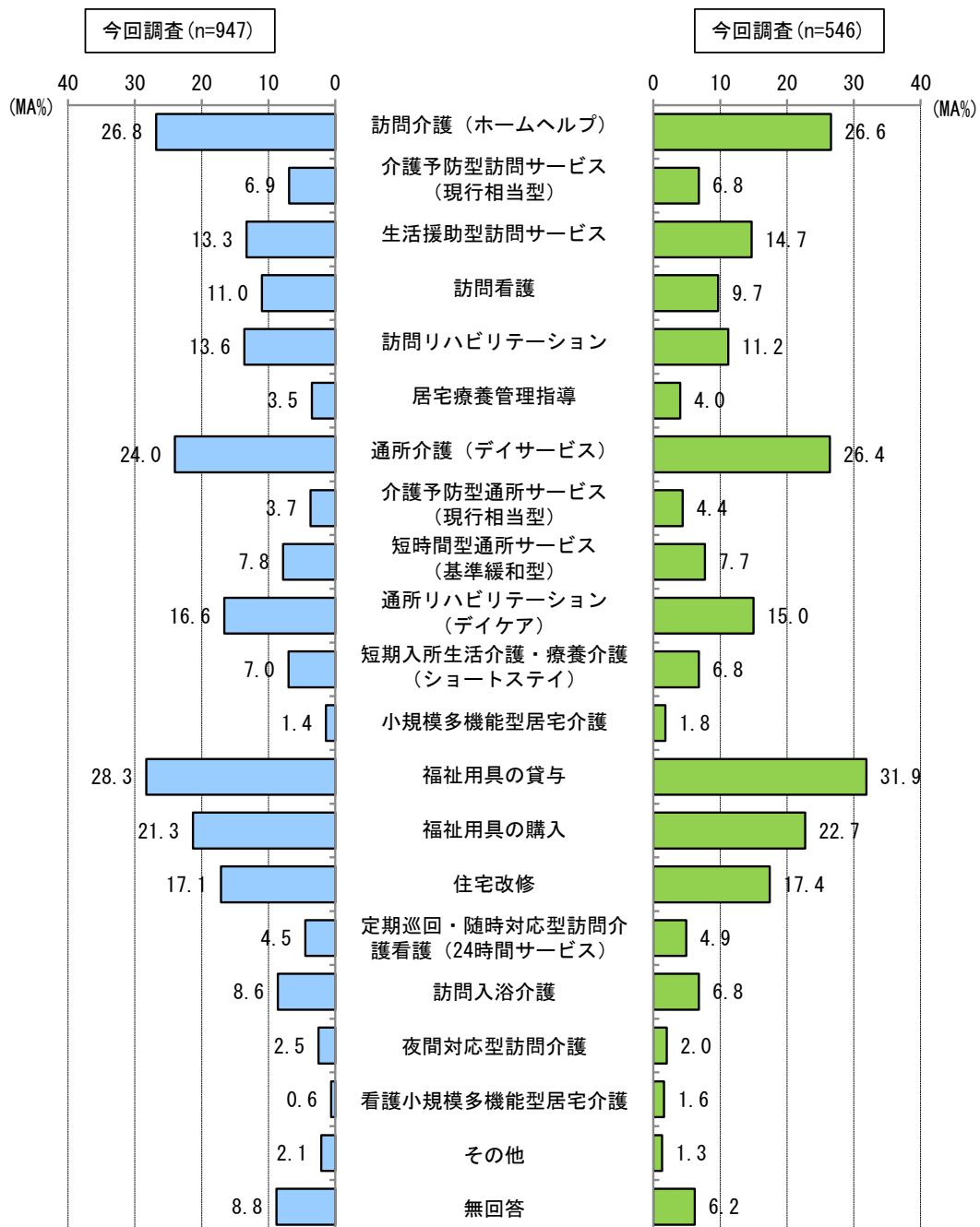
この質問は、問15で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、今後、利用したい居宅サービスをたずねると、「福祉用具の貸与」が28.3%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が26.8%、「通所介護（デイサービス）」が24.0%となっている。

前回調査と比較すると、「福祉用具の貸与」の割合が3.6ポイント低くなっている。(図15-1)

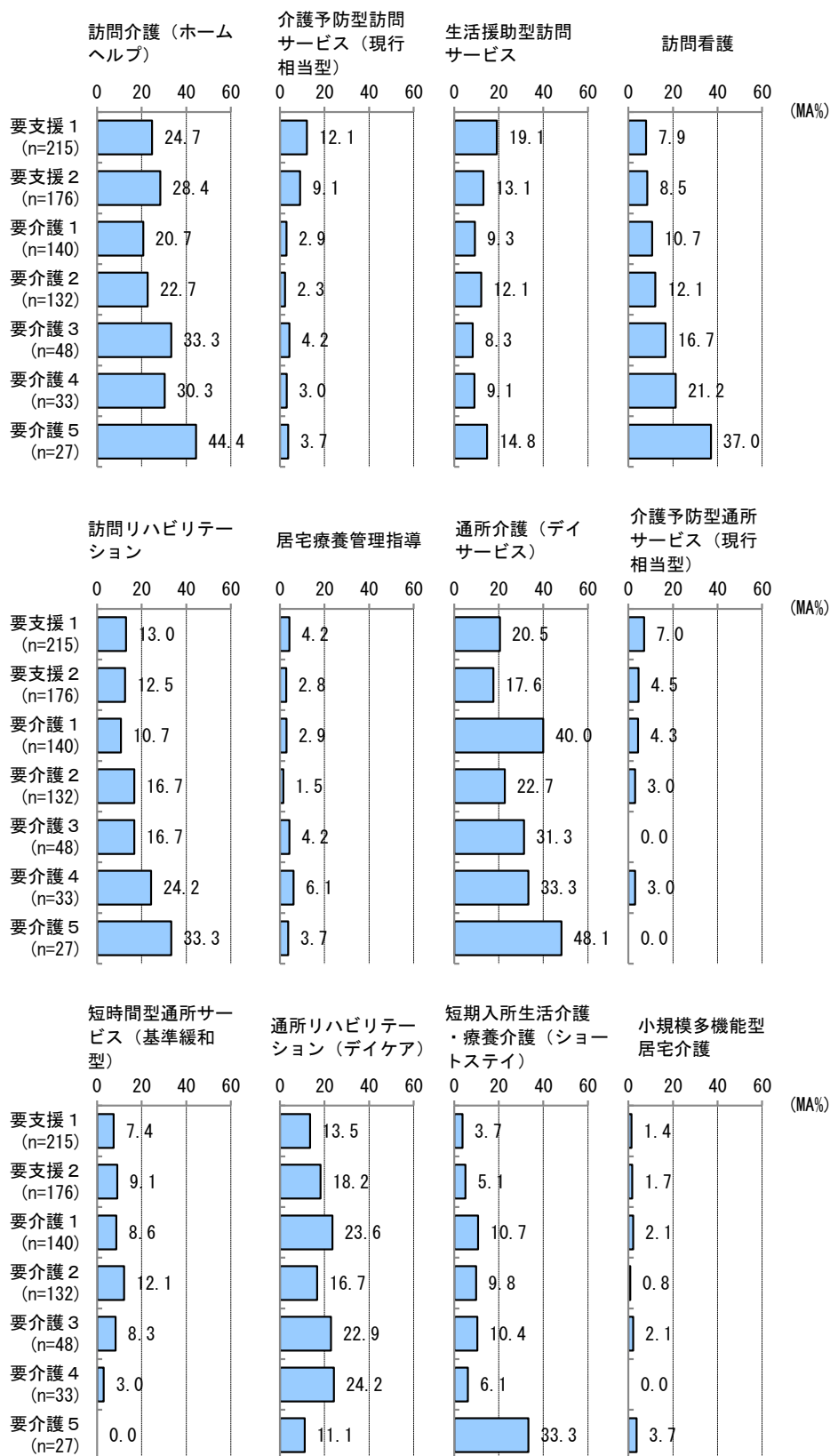
【図15-1 利用したい居宅サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

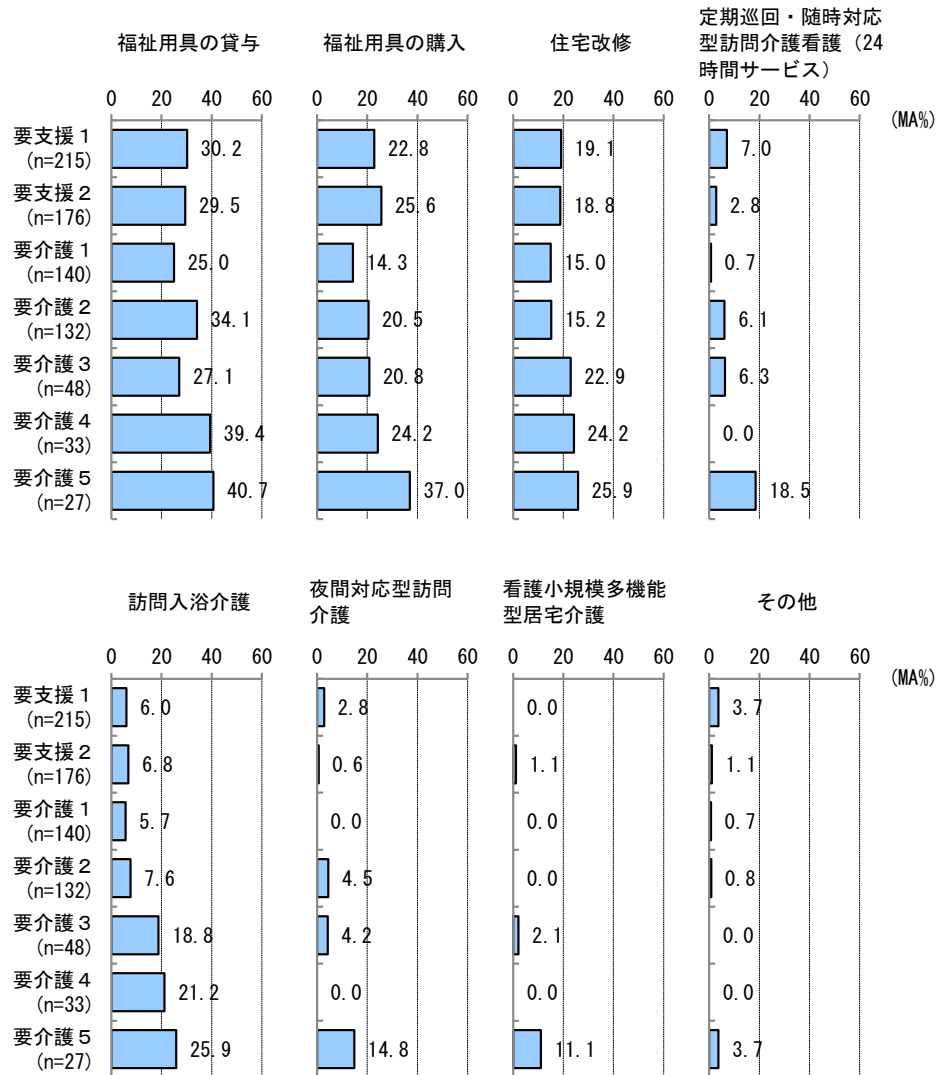
要介護度別でみると、要支援１・２、要介護２・４では「福祉用具の貸与」が最も多いが、要介護１・５では「通所介護（デイサービス）」、要介護３では「訪問介護（ホームヘルプ）」が最も多くなっている。また、要介護５では「訪問看護」や「訪問リハビリテーション」、「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」、「福祉用具の購入」も３割を超えている。（図15-1-a）

【図15-1-a 利用したい居宅サービス（要介護度別）①】



【介護保険サービス未利用者調査】

【図15-1-a 利用したい居宅サービス（要介護度別）②】



問15-2 利用したい施設サービス

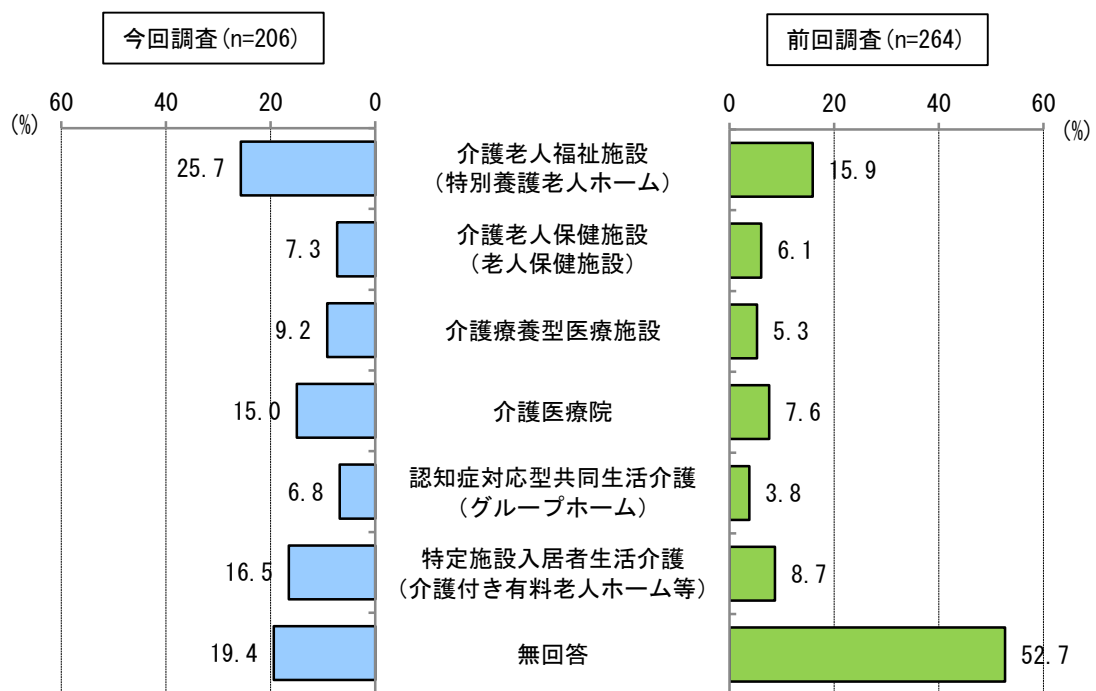
問15-2、問15-3は、問15で「2 施設等に入所(入居)したい」と回答された方のみお答えください。

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

施設等に入所(入居)したいと回答した人に、今後、利用したい施設サービスをたずねると、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が25.7%で最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)」が16.5%、「介護医療院」が15.0%となっている。

前回調査と比較すると、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」の割合が9.8ポイント、「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)」の割合が7.8ポイント、「介護医療院」の割合が7.4ポイントそれぞれ高くなっている。(図15-2)

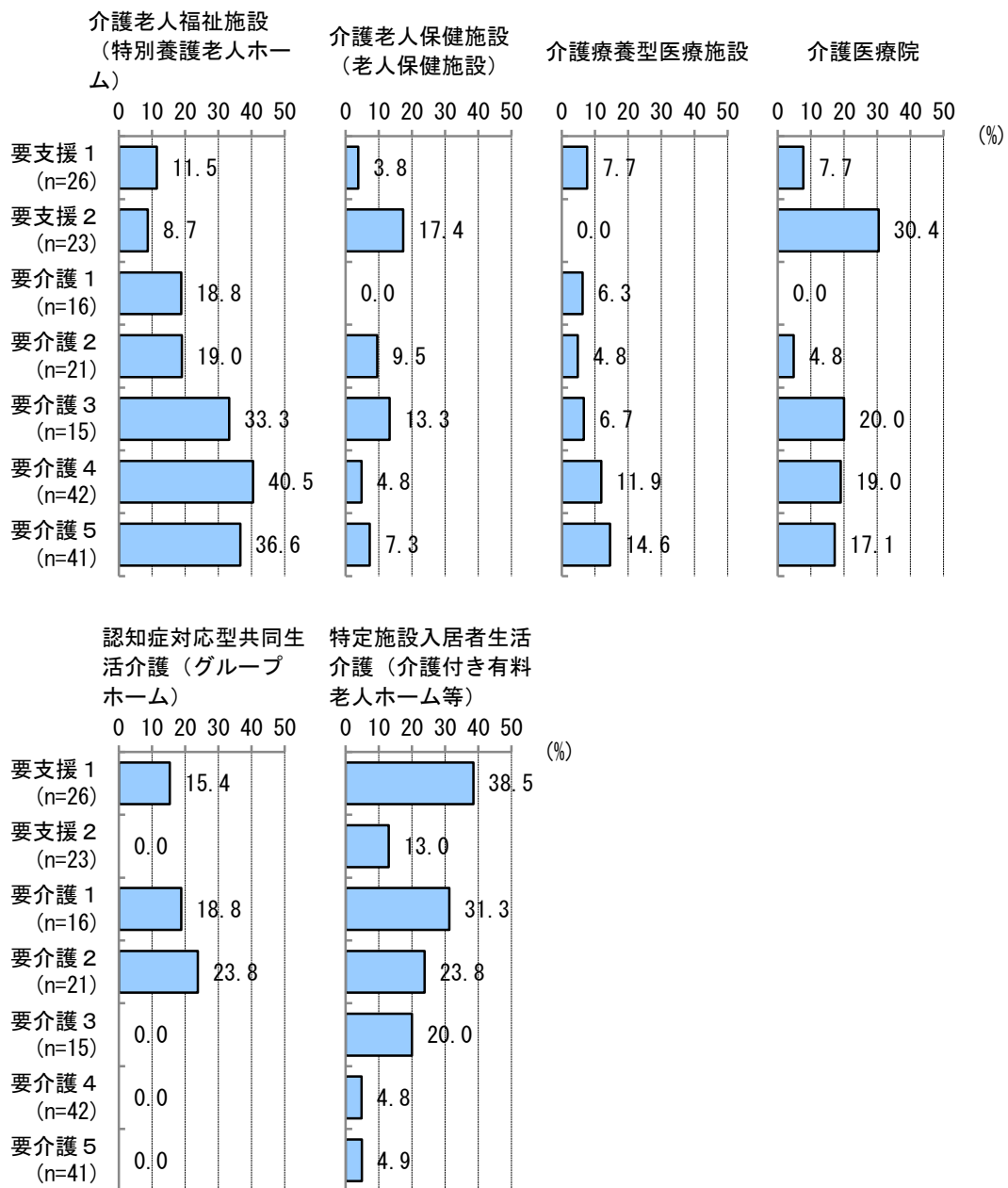
【図15-2 利用したい施設サービス(経年比較)】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、母数が少ないので一概には言えないが、要支援Ⅰと要介護Ⅰは「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」の割合が高く、要介護Ⅲ～Ⅴは「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が高い傾向にある。また、要支援Ⅱは「介護医療院」、要介護Ⅱでは「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」と「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」の割合が同率で高くなっている。（図15-2-a）

【図15-2-a 利用したい施設サービス（要介護度別）】



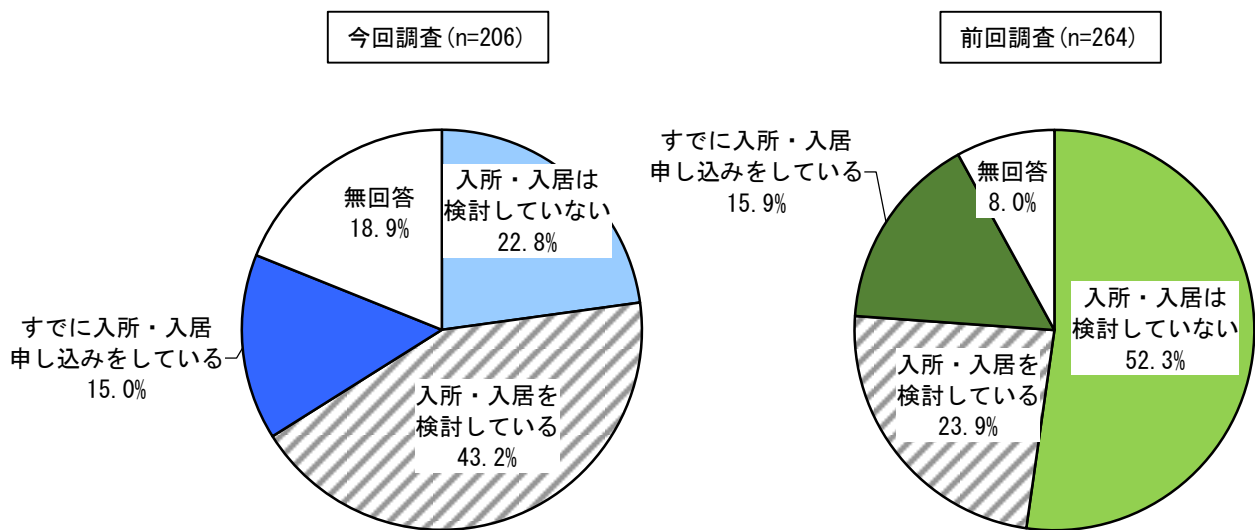
問15-3 施設等の入所（入居）の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてご回答ください。（○はひとつ）

施設等に入所（入居）したいと回答した人に、現時点での検討状況をたずねると、「入所・入居を検討している」が43.2%で最も多く、次いで「入所・入居は検討していない」が22.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が15.0%となっている。

前回調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」の割合が29.5ポイント低く、「入所・入居を検討している」の割合が19.3ポイント高くなっている。（図15-3）

【図15-3 施設等の入所（入居）の検討状況（経年比較）】



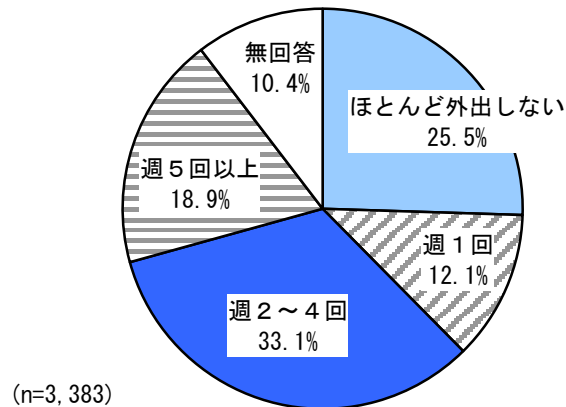
(5) 外出の状況

問16 外出頻度

週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

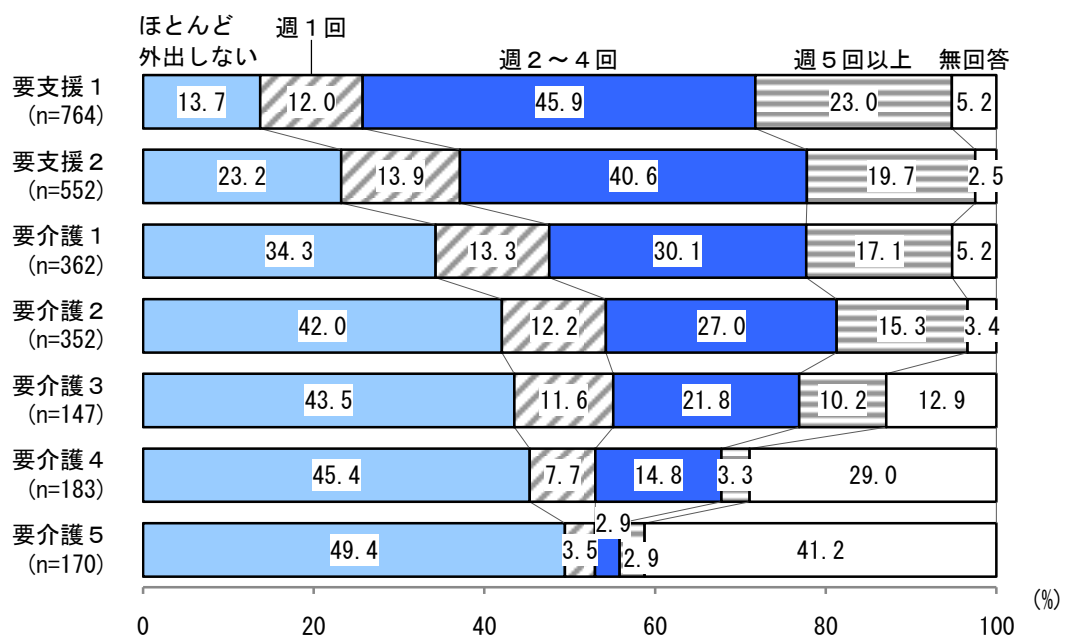
外出頻度については、「週2～4回」が33.1%で最も多く、次いで「ほとんど外出しない」が25.5%、「週5回以上」が18.9%となっている。(図16)

【図16 外出頻度】



要介護度別でみると、「ほとんど外出しない」の割合は重度になるほど高くなり、要介護5で49.4%と最も高くなっている。(図16-a)

【図16-a 外出頻度 (要介護度別)】

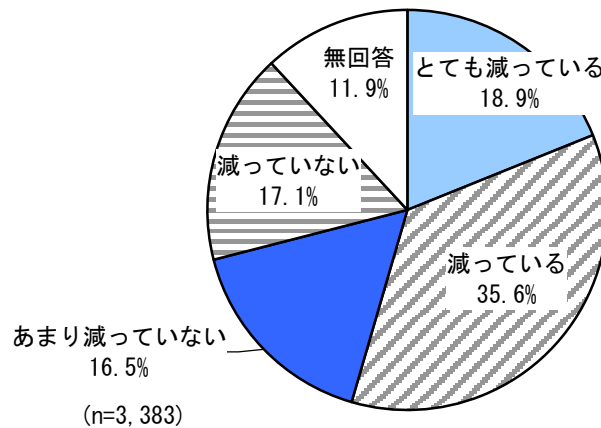


問17 昨年と比べた外出の回数

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

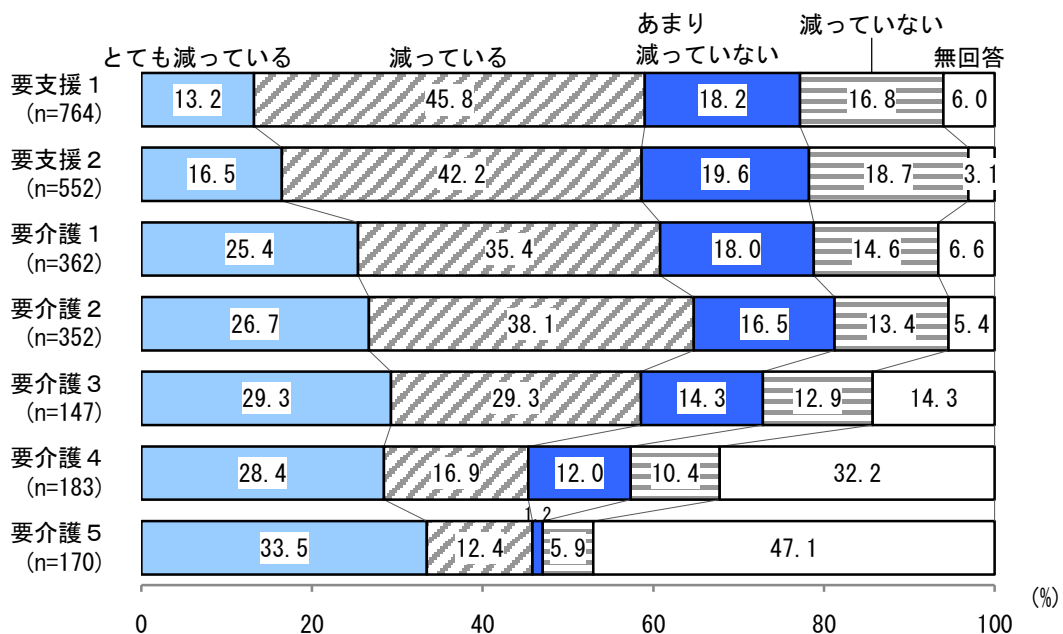
昨年と比べた外出の回数については、「減っている」が35.6%で最も多く、次いで「とても減っている」が18.9%で、両者をあわせた『減っている』割合は54.5%となっている。(図17)

【図17 昨年と比べた外出の回数】



要介護度別でみると、要支援1・2、要介護1・2では「減っている」が最も多く、『減っている』割合は6割前後を占めている。(図17-a)

【図17-a 昨年と比べた外出の回数（要介護度別）】

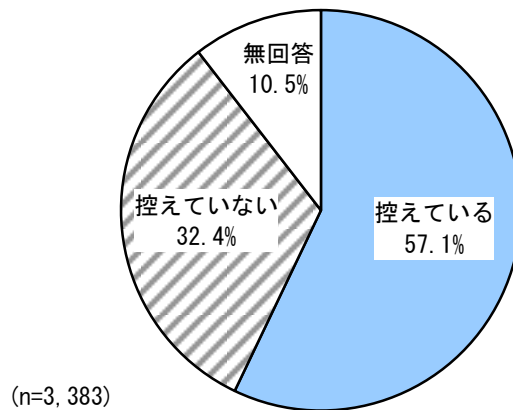


問18 外出を控えること

外出を控えていますか。(〇はひとつ)

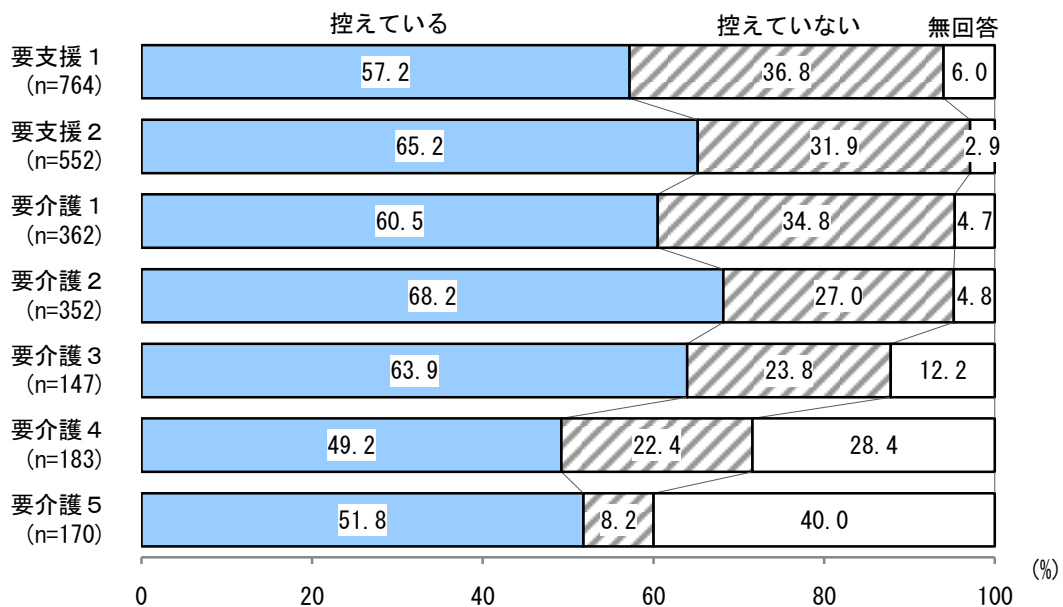
外出を控えているかについては、「控えている」が57.1%で、「控えていない」は32.4%となっている。(図18)

【図18 外出を控えること】



要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「控えていない」割合より「控えている」割合のほうが多く、「控えている」の割合は要支援2、要介護1～3で6割台を占めている。(図18-a)

【図18-a 外出を控えること（要介護度別）】



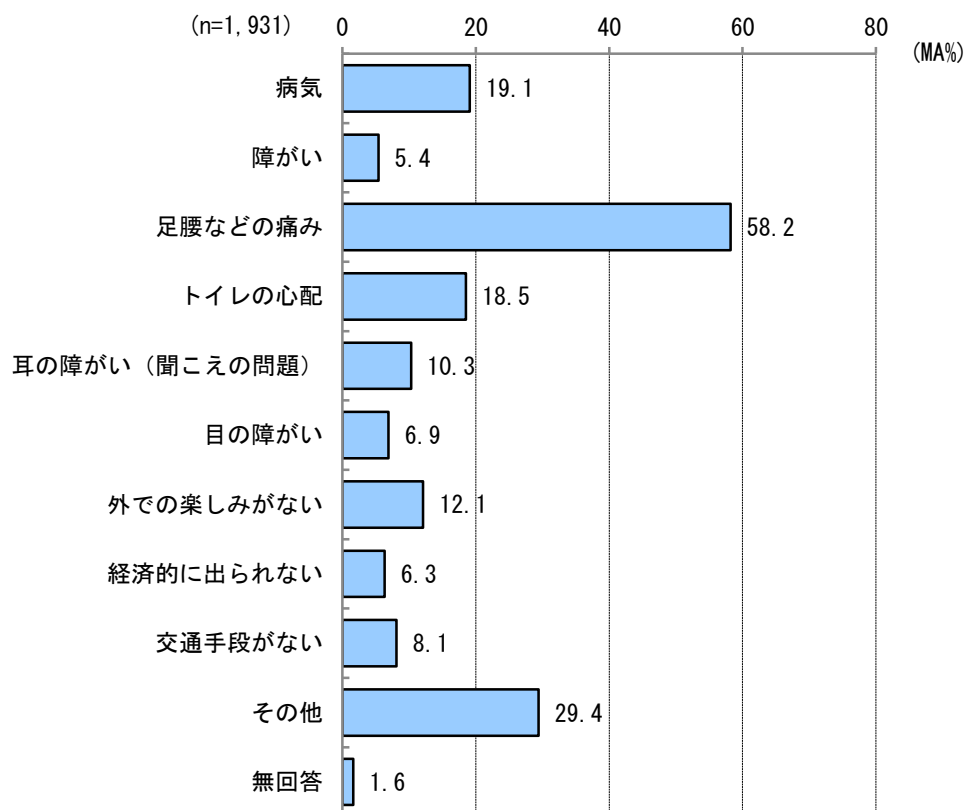
問18-1 外出を控えている理由

問18で「1 はい」（外出を控えている）と回答された方におうかがいします。
外出を控えている理由は、次のどれですか。（〇はいくつでも）

外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねると、「足腰などの痛み」が58.2%で最も多く、次いで「病気」が19.1%、「トイレの心配」が18.5%となっている。

「その他」（29.4%）では、新型コロナウイルス感染症に関する理由より“感染予防のため”や“感染が怖いから”などが多く、他にも“足腰の弱り”や“歩行困難”などの理由が挙げられている。（図18-1）

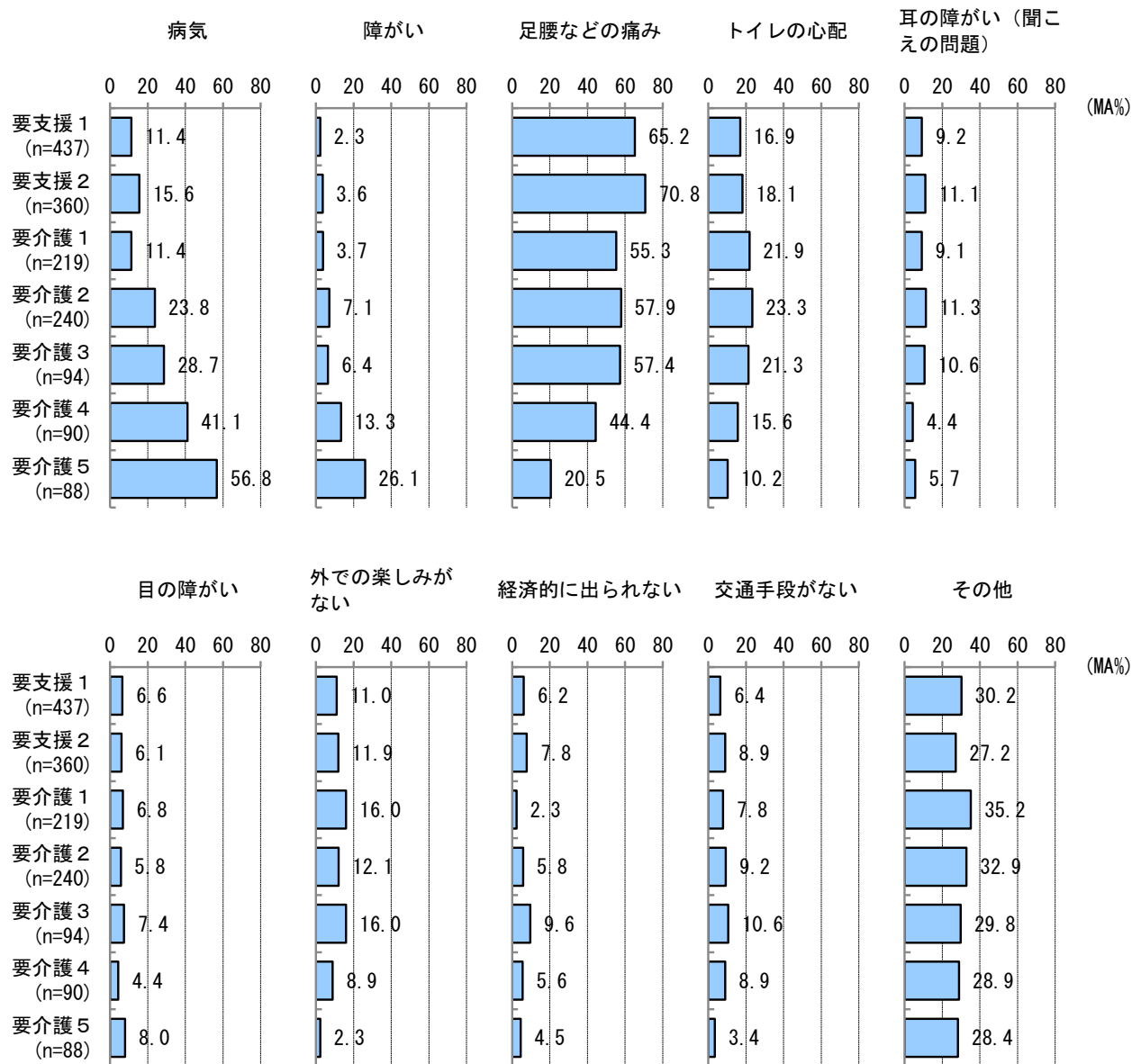
【図18-1 外出を控えている理由】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、要介護5は「病気」が56.8%で最も多い。それ以外の要介護度では「足腰などの痛み」が最も多く、要支援2が70.8%で最も高い割合となっている。（図18-1-a）

【図18-1-a 外出を控えている理由（要介護度別）】



（６）介護予防・重度化防止の取り組み

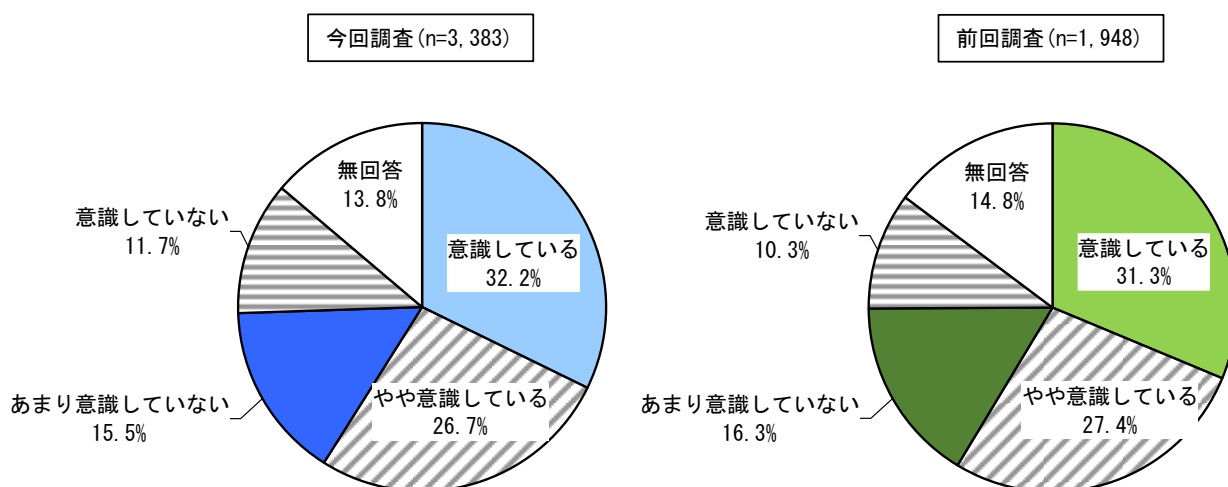
問19 介護予防に対する意識の程度

あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。（○はひとつ）

介護予防に対する意識の程度については、「意識している」が32.2%で最も多く、次いで「やや意識している」が26.7%で、両者をあわせると58.9%の人が介護予防に対して意識している。

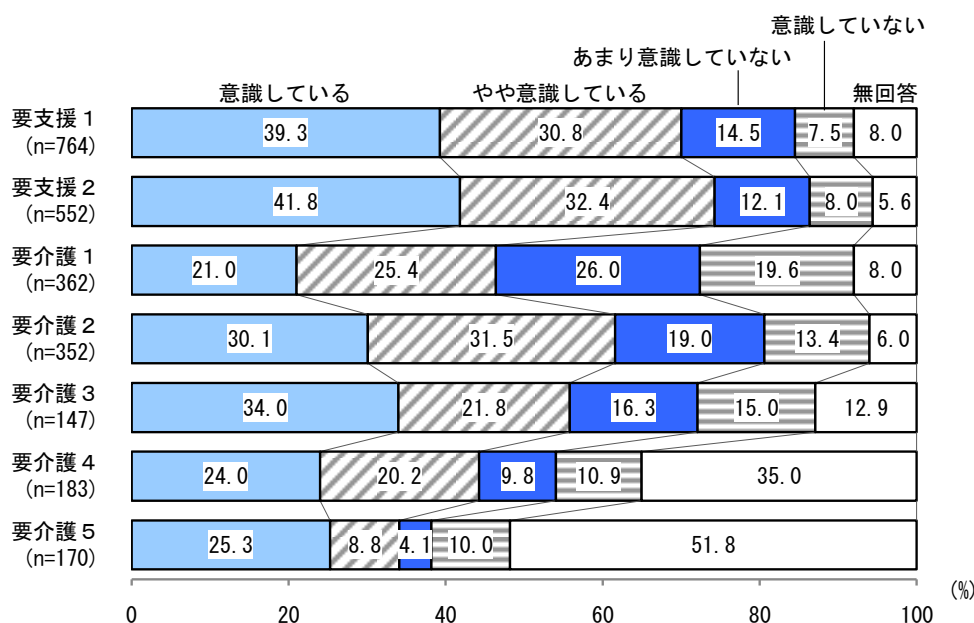
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。（図19）

【図19 介護予防に対する意識の程度（経年比較）】



要介護度別でみると、要支援１・２、要介護３～５では「意識している」の割合が高く、介護予防に対して意識をしている割合は、要支援１・２と要介護２・３は５～７割台を占めているが、要介護１・４・５では３～４割台と低くなっている。（図19-a）

【図19-a 介護予防に対する意識の程度（要介護度別）】



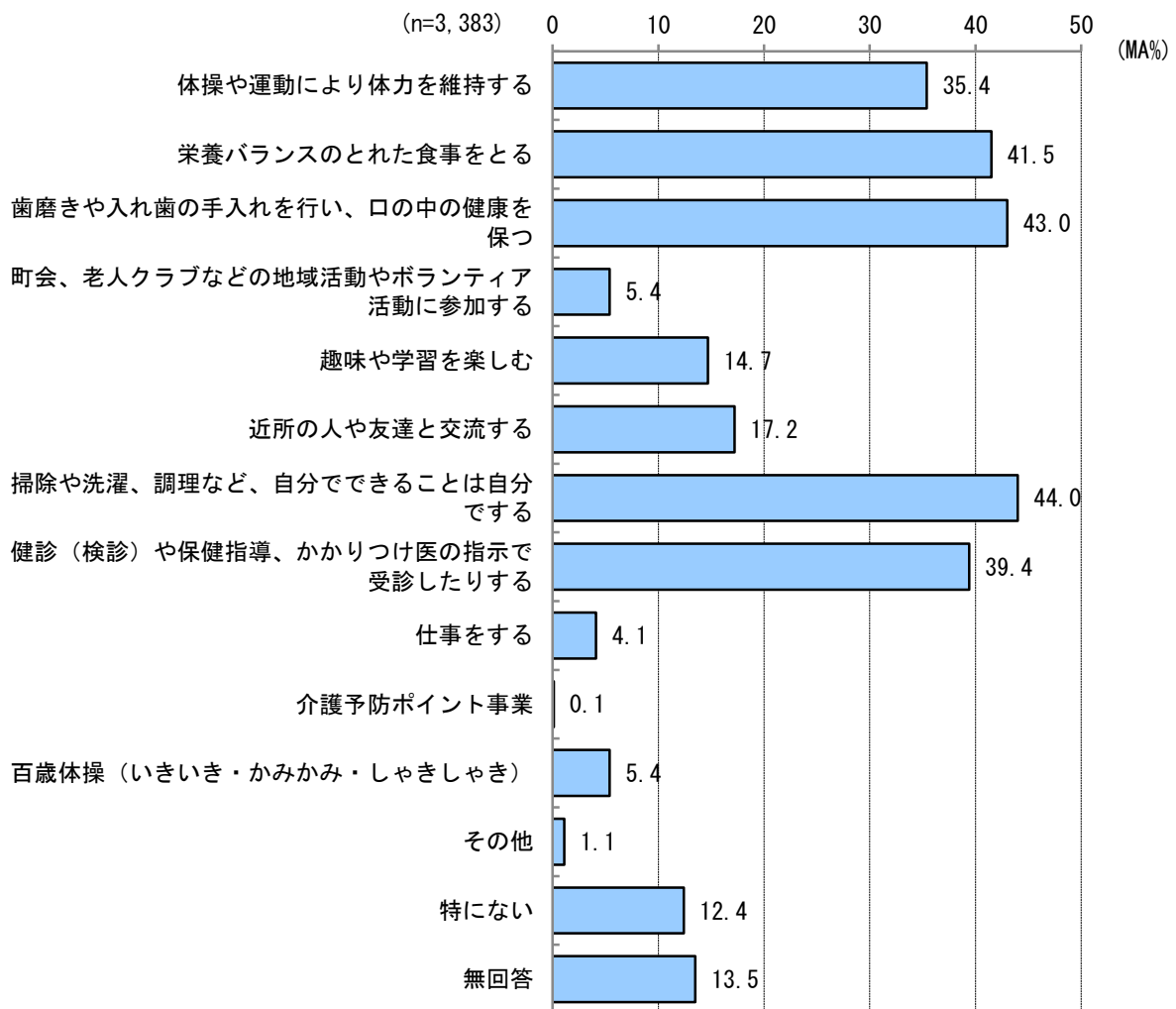
問20 介護予防の取り組み状況

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、今後取り組んでみたいことに○をつけてください。（○はいくつでも）

① 取り組んでいること

介護予防として取り組んでいることについては、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が44.0%で最も多く、次いで「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が43.0%、「栄養バランスのとれた食事をとる」が41.5%となっている。（図20①）

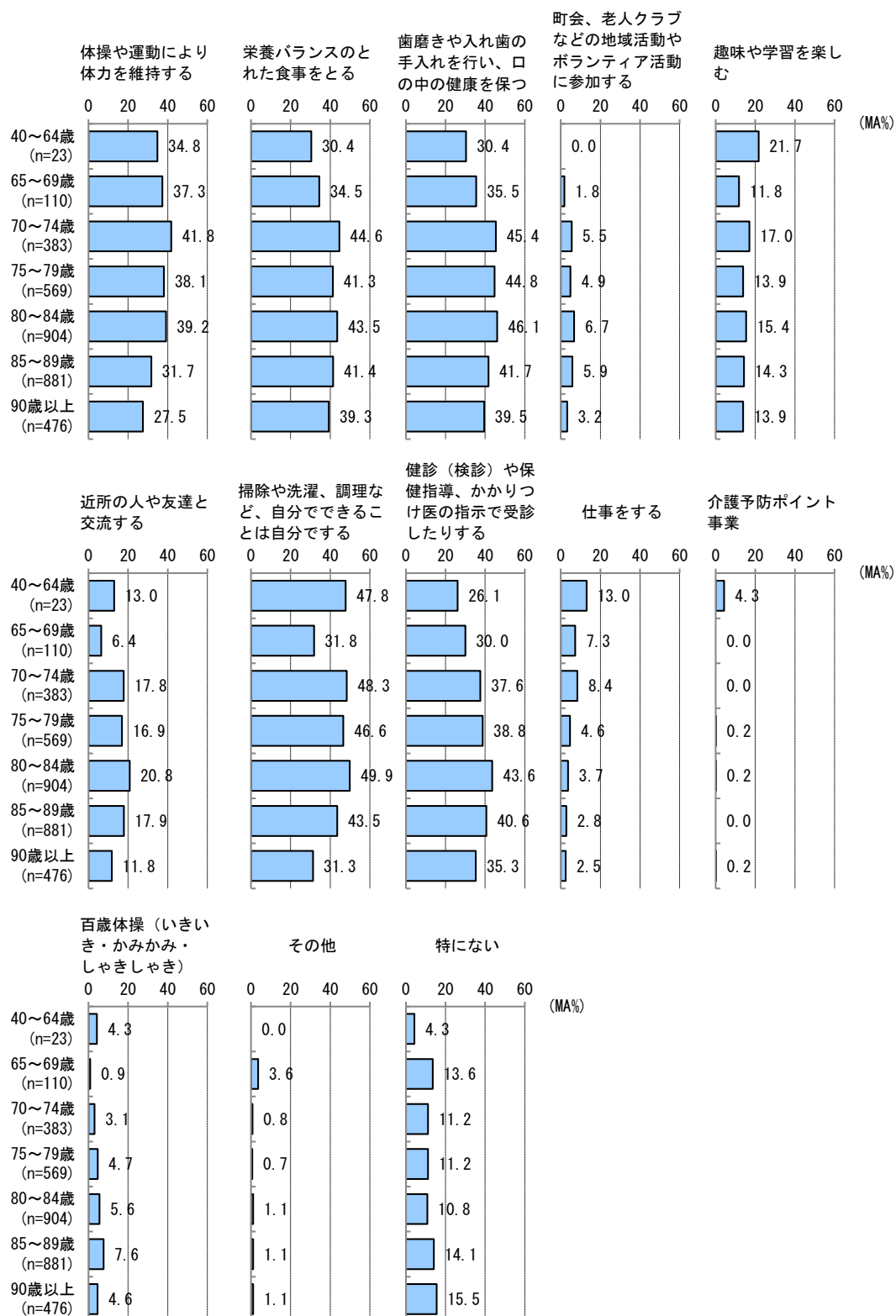
【図20① 介護予防の取り組み状況 ①取り組んでいること】



【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別でみると、40～64歳、70～89歳の年代では「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が最も多くなっている。65～69歳では「体操や運動により体力を維持する」、90歳以上では「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が最も多くなっている。（図20①-a）

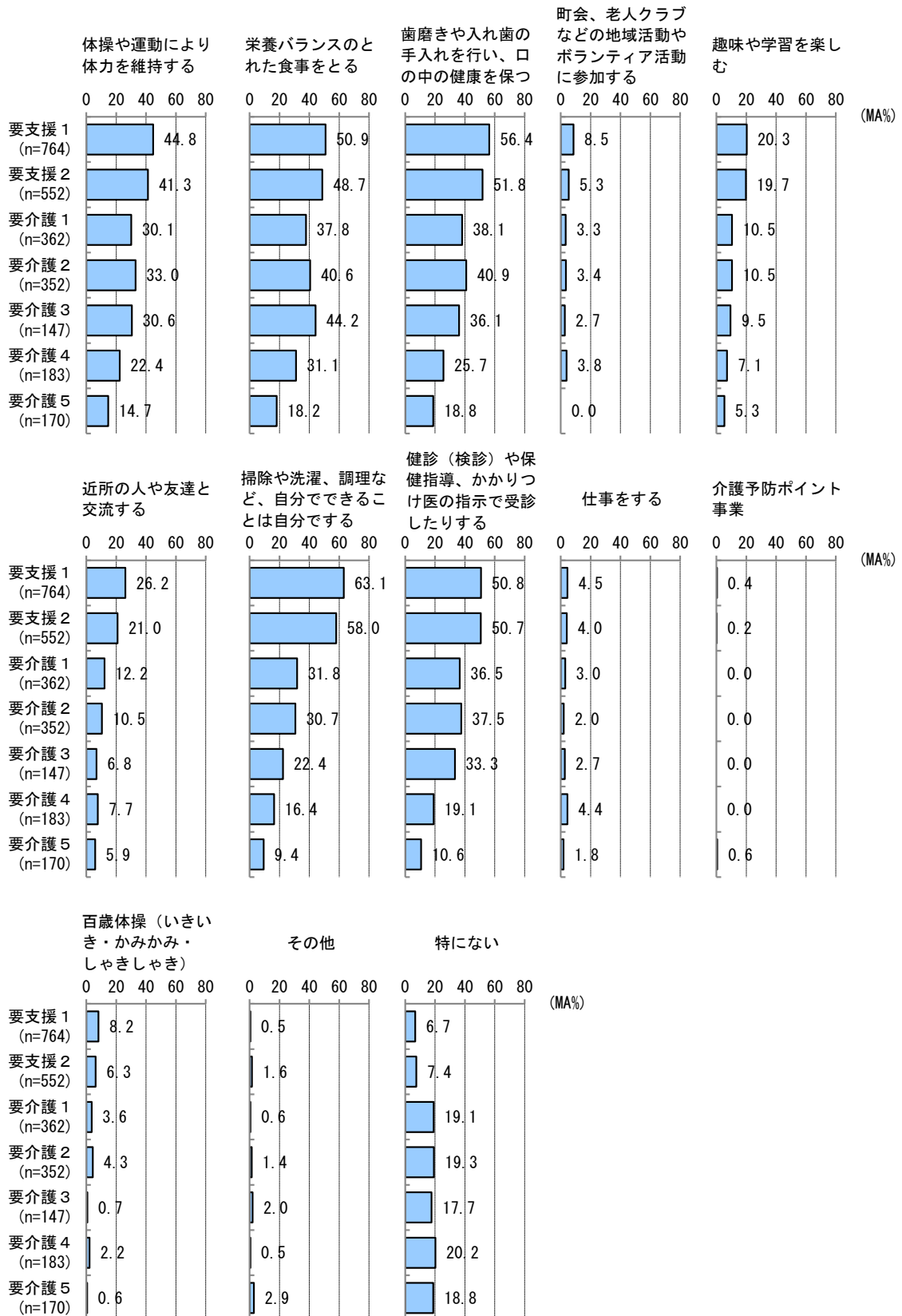
【図20①-a 介護予防に対する意識の程度（本人の年齢別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、いずれの項目も概ね重度になるほど割合が低くなっている。（図20①-b）

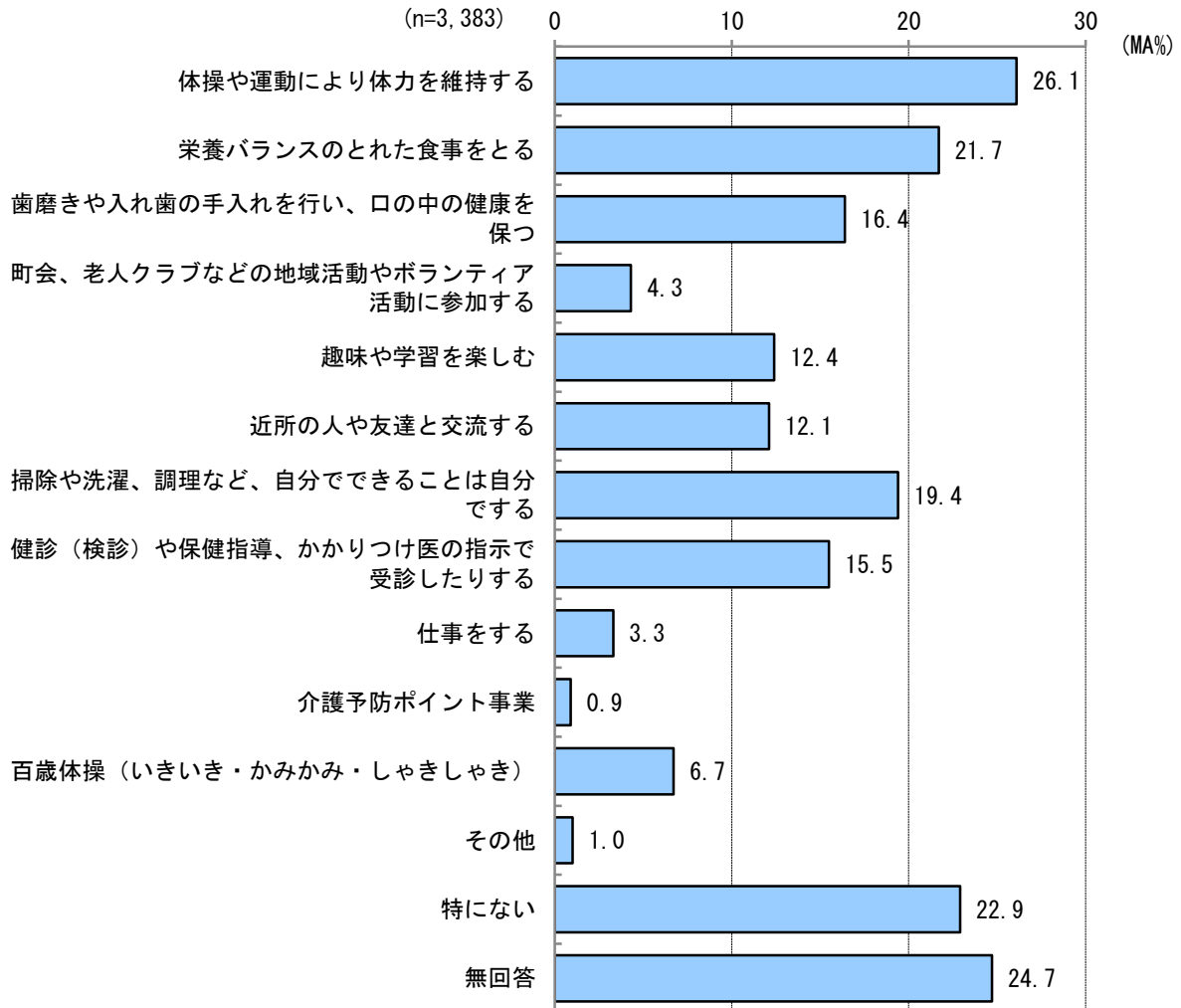
【図20①-b 介護予防の取り組み状況 ①取り組んでいること（要介護度別）】



② 取り組んでみたいこと

介護予防として取り組んでみたいことについては、「体操や運動により体力を維持する」が26.1%で最も多く、次いで「栄養バランスのとれた食事をする」が21.7%、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が19.4%となっている。(図20②)

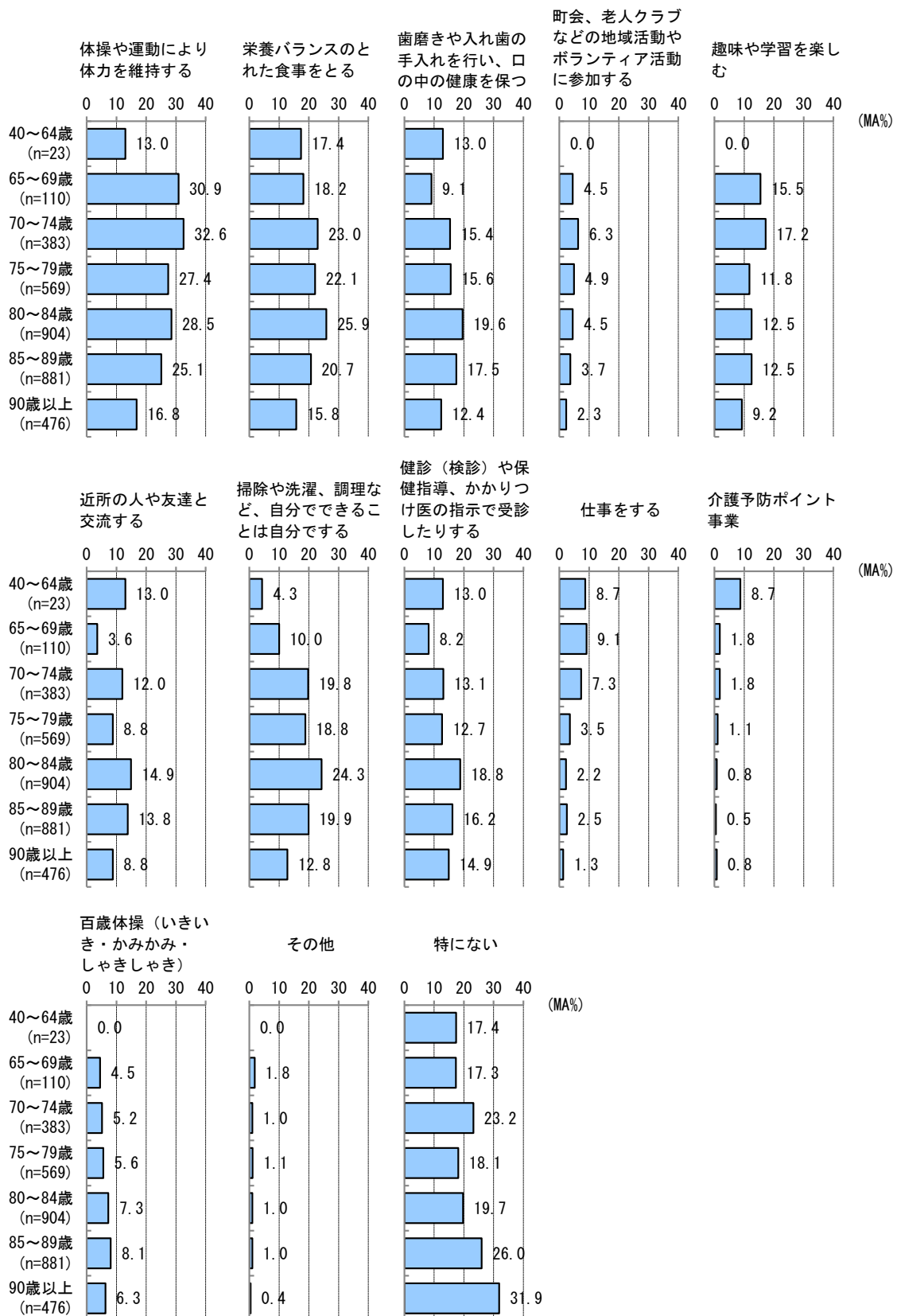
【図20② 介護予防の取り組み状況 ②取り組んでみたいこと】



【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別でみると、65歳以上の年代では「体操や運動により体力を維持する」が最も多く、40～64歳では「栄養バランスのとれた食事をする」が最も多くなっている。（図20②-a）

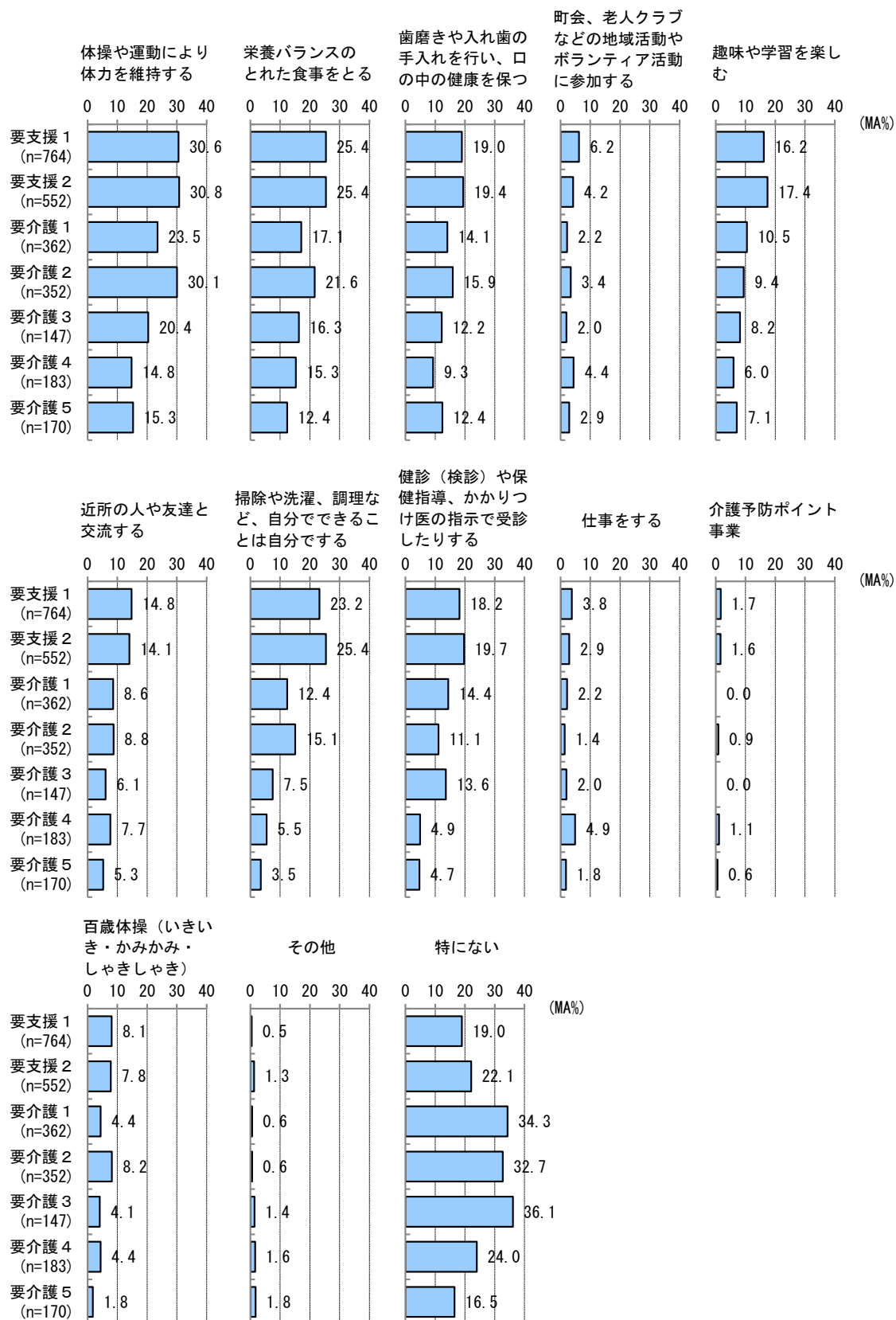
【図20②-a 介護予防の取り組み状況 ②取り組んでみたいこと（本人の年齢別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、要介護4では「栄養バランスのとれた食事をとる」が最も多く、それ以外の要介護度では「体操や運動により体力を維持する」が最も多くなっている。一方、「特にない」は要介護1～3で3割台と高くなっている。（図20②-b）

【図20②-b 介護予防の取り組み状況 ②取り組んでみたいこと（要介護度別）】



問20-1 介護予防の取り組みに意向がない理由

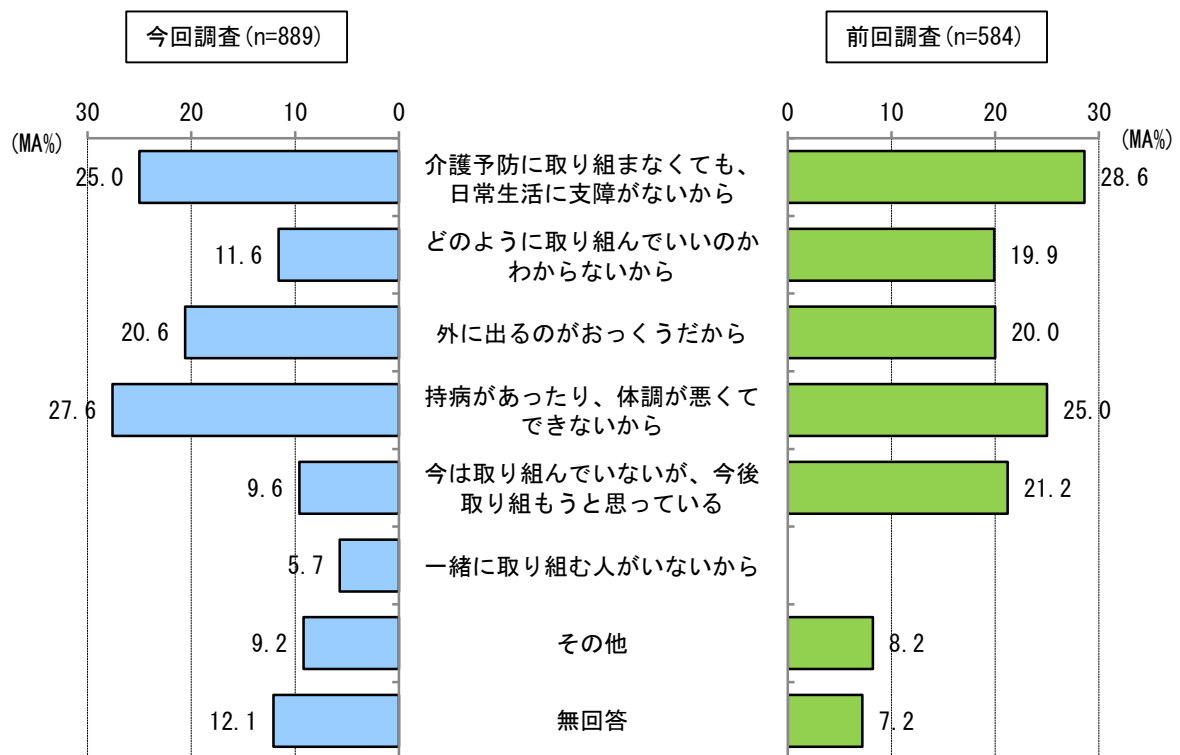
問20の①または②で「13 特になし」と回答された方におうかがいします。

あなたが、介護予防について、取り組んでいない、取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

介護予防に、取り組んでいない、または取り組んでみたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が27.6%で最も多く、次いで「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が25.0%、「外に出るのがおっくうだから」が20.6%となっている。

前回調査と比較すると、「今は取り組んでいないが、今後取り組もうと思っている」の割合が11.6ポイント低くなっている。（図20-1）

【図20-1 介護予防の取り組みに意向がない理由】

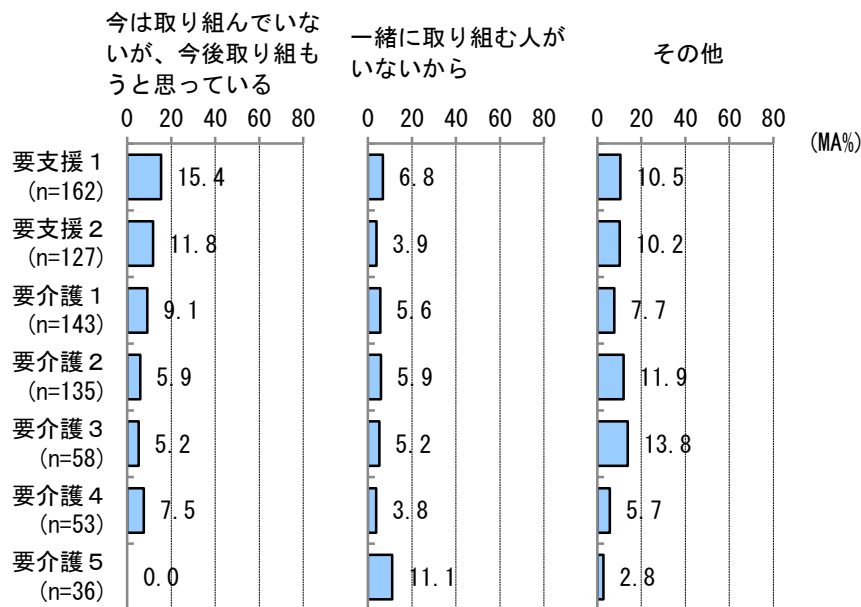
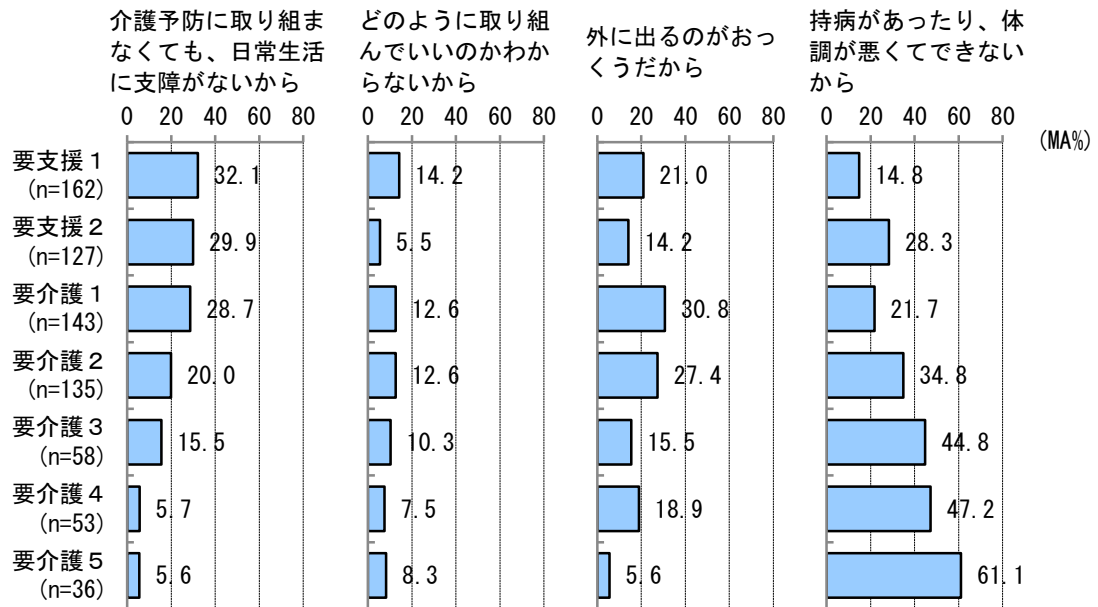


※「一緒に取り組む人がいないから」は、今回調査の新規項目である。

【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、要支援１・２では「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が最も多いが、要介護１では「外に出るのがおっくうだから」が最も多い。要介護２～５では「持病があったり、体調が悪くてできないから」が最も多く、重度になるほど高くなっている。（図20-1-a）

【図20-1-a 介護予防の取り組みに意向がない理由（要介護度別）】



(7) 健康状態

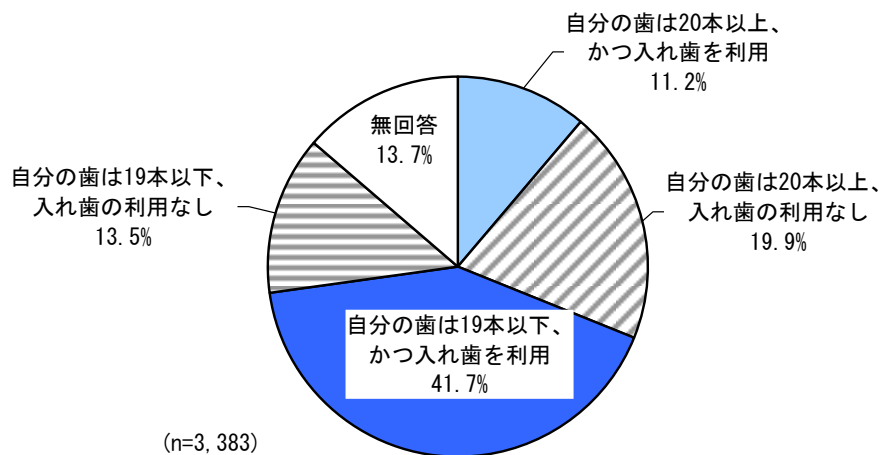
問21 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○はひとつ)

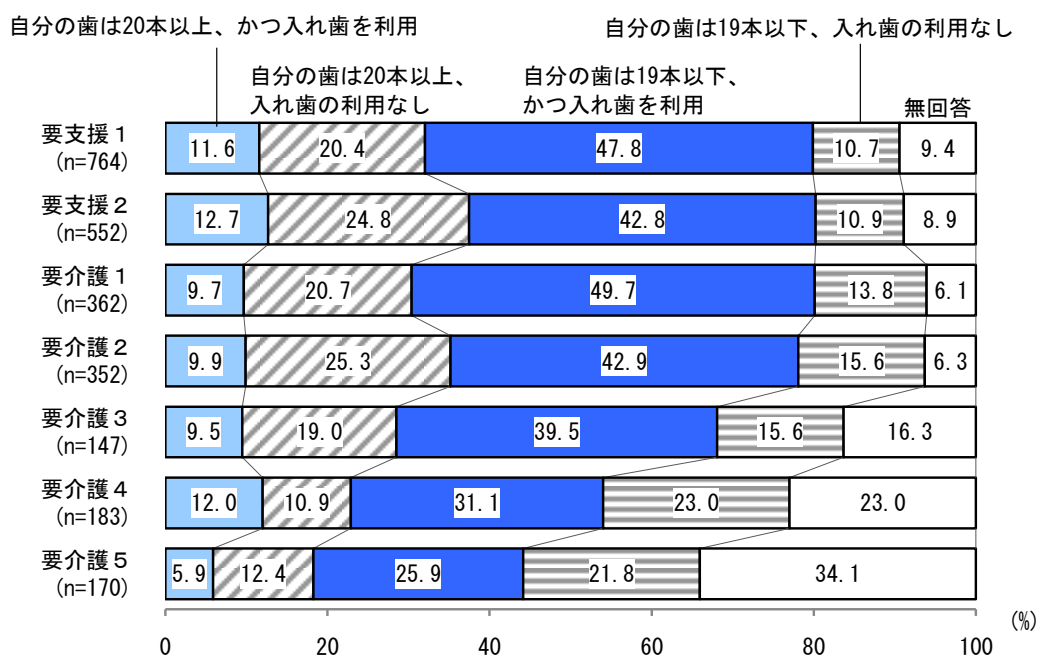
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.7%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が19.9%で、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(11.2%)と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(13.5%)を合わせた『入れ歯を利用』の割合は52.9%となっている。(図21)

【図21 歯の数と入れ歯の利用状況】



要介護度別でみると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」は要支援2で、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は要介護2で最も高くなっている。(図21-a)

【図21-a 歯の数と入れ歯の利用状況 (要介護度別)】

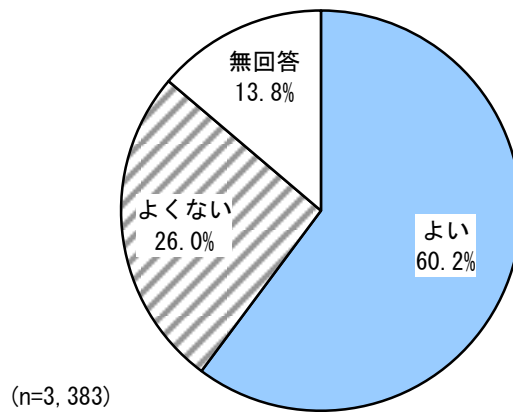


問21-1 かみ合わせ

かみ合わせはよいですか。(○はひとつ)

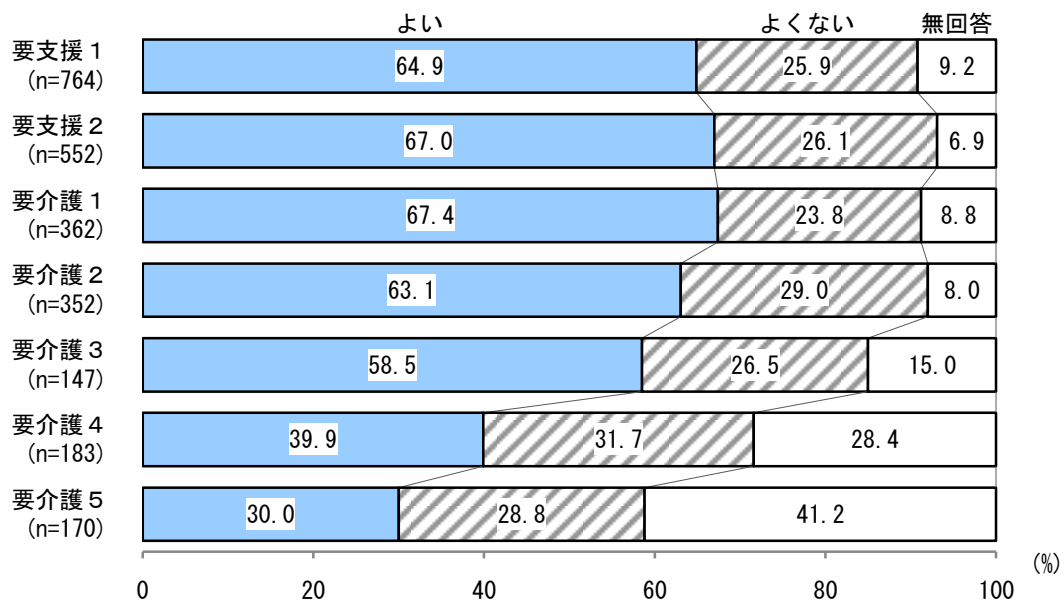
かみ合わせはよいかについては、「よい」が60.2%、「よくない」が26.0%となっている。
(図21-1)

【図21-1 かみ合わせ】



要介護度別でみると、「よい」の割合は要介護1が67.4%で最も高く、要介護2以降、重度になるほど低くなっている。(図21-1-a)

【図21-1-a かみ合わせ (要介護度別)】

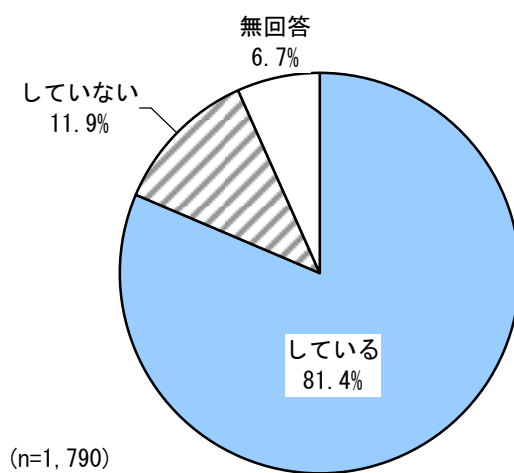


問21-2 入れ歯の手入れ

問21で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方におうかがいします。
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○はひとつ)

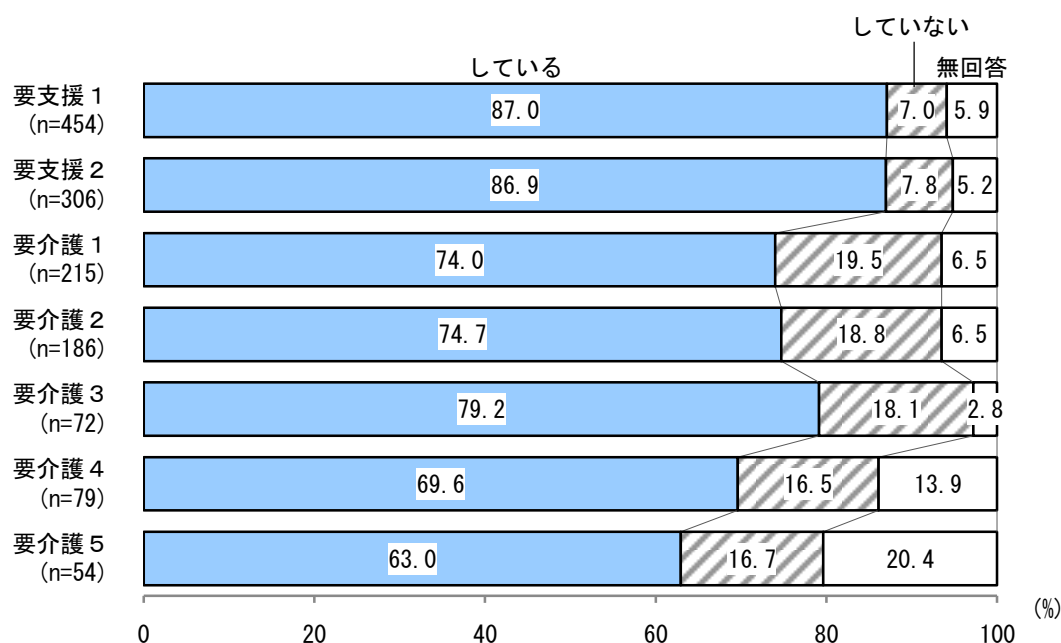
入れ歯を利用していると回答した人に、入れ歯の手入れをしているかについてたずねると、「している」が81.4%で、「していない」が11.9%となっている。(図21-2)

【図21-2 入れ歯の手入れ】



要介護度別でみると、「している」は要支援1・2で8割台を占めており、要介護5が63.0%で最も低くなっている。(図21-2-a)

【図21-2-a 入れ歯の手入れ（要介護度別）】

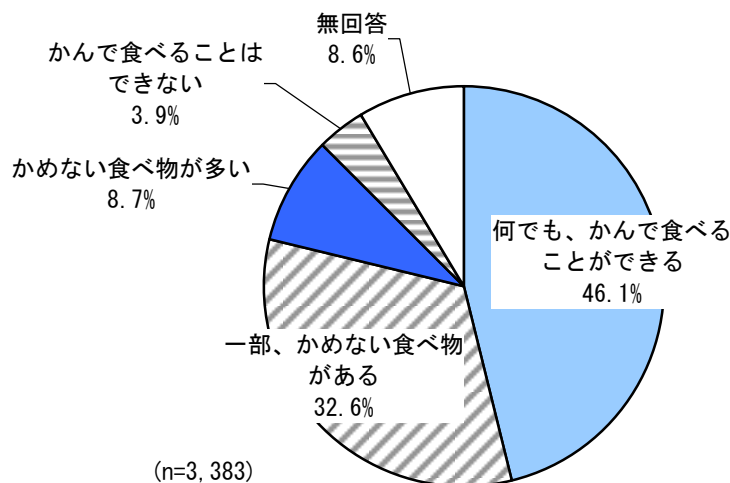


問22 かねで食べることの可否

あなたがかねで食べる時の状態は、次のどれにあてはまりますか。(〇はひとつ)

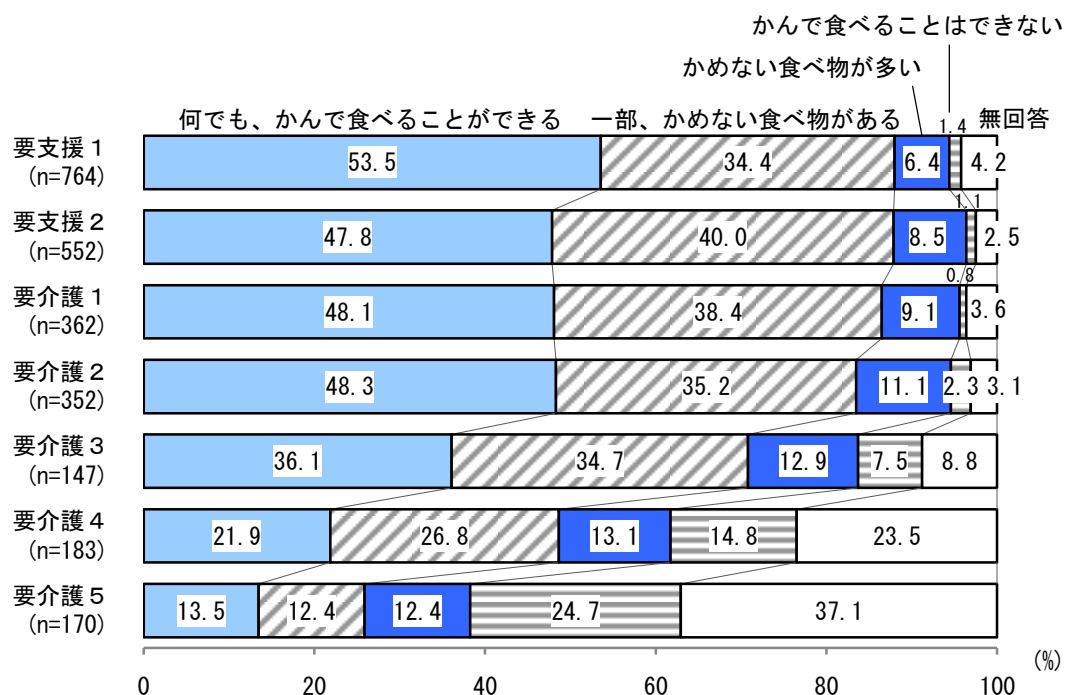
かねで食べる時の状態については、「何でも、かねで食べることができる」が46.1%で最も多く、次いで「一部、かめない食べ物がある」が32.6%、「かめない食べ物が多い」が8.7%、となっている。(図22)

【図22 かねで食べることの可否】



要介護度別でみると、要支援1・2、要介護1～3では「何でも、かねで食べることができる」が最も多くなっているが、要介護4は「一部、かめない食べ物がある」、要介護5は「かねで食べることはできない」が最も多くなっている。(図22-a)

【図22-a かねで食べることの可否（要介護度別）】

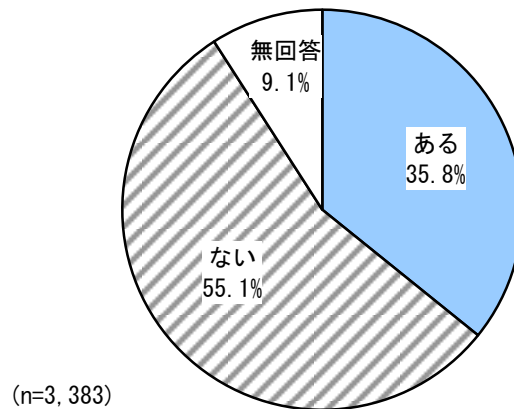


問23 お茶や汁物でむせること

お茶や汁物等でむせることはありますか。(○はひとつ)

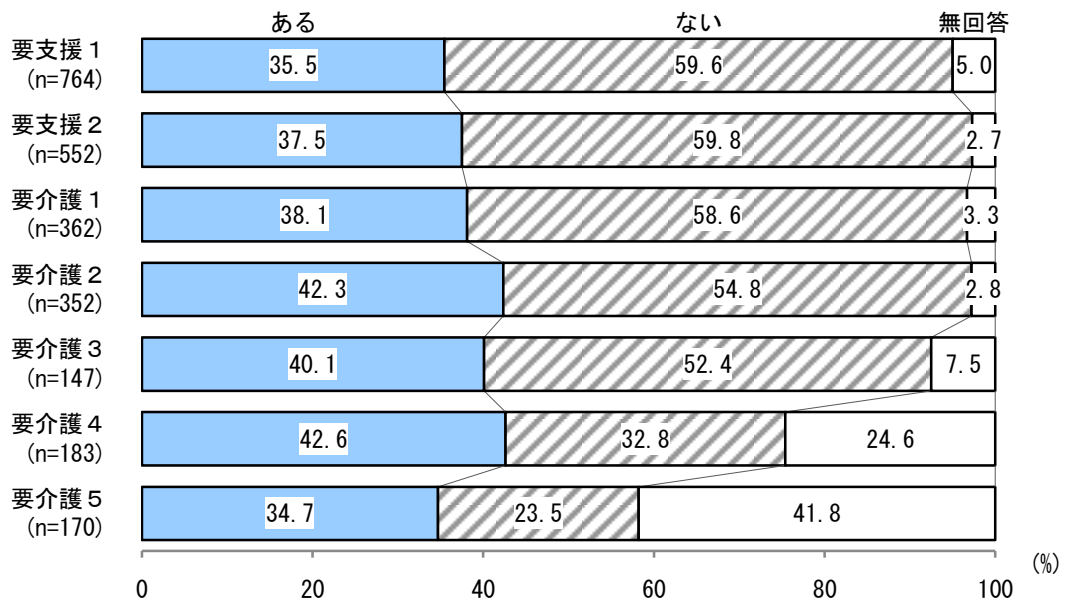
お茶や汁物等でむせることは、「ある」が35.8%、「ない」が55.1%となっている。(図23)

【図23 お茶や汁物でむせること】



要介護度別でみると、要支援1・2、要介護1～3では「ない」のほうが多くなっているが、要介護4・5では「ある」のほうが多くなっている。(図23-a)

【図23-a お茶や汁物でむせること（要介護度別）】

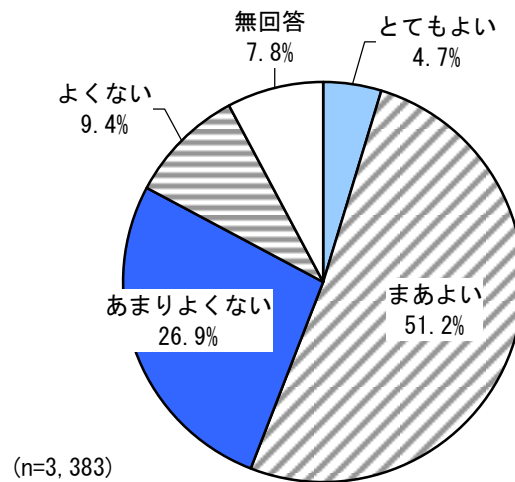


問24 健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○はひとつ）

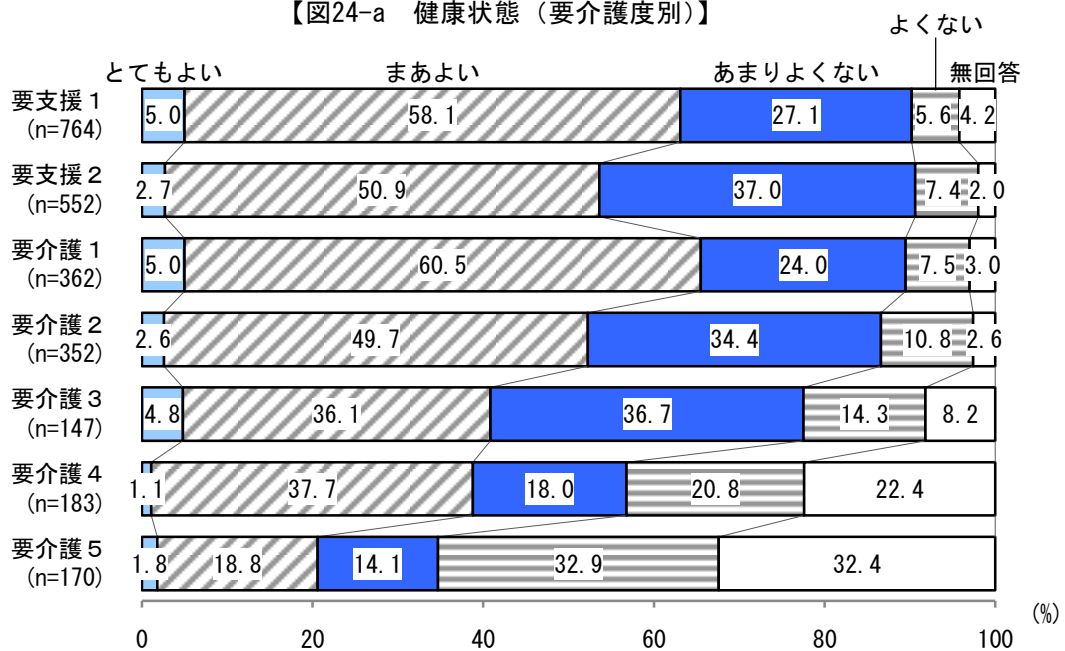
現在の健康状態は、「まあよい」が51.2%で最も多く、次いで「あまりよくない」が26.9%、「よくない」が9.4%となっており、「とてもよい」（4.7%）と「まあよい」をあわせた『よい』割合は55.9%となっている。（図24）

【図24 健康状態】



要介護度別でみると、『よい』割合は要介護1が65.5%で最も高く、次いで要支援1が63.1%となっている。介護度が高くなるほど概ね『よい』割合が低くなる傾向が見られる。（図24-a）

【図24-a 健康状態（要介護度別）】



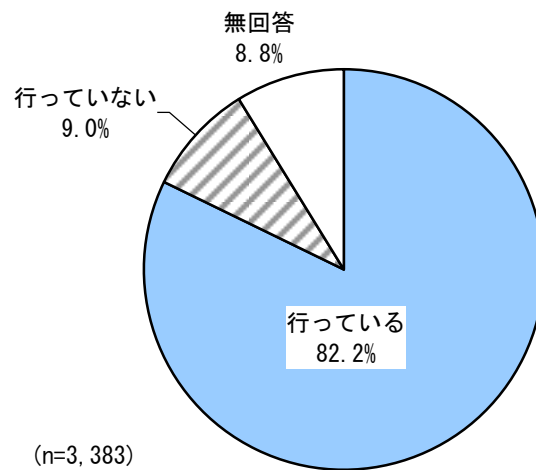
（８）新型コロナウイルス感染症対策

問25 新型コロナウイルス感染症対策の実施

新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を行っていますか。（○はひとつ）

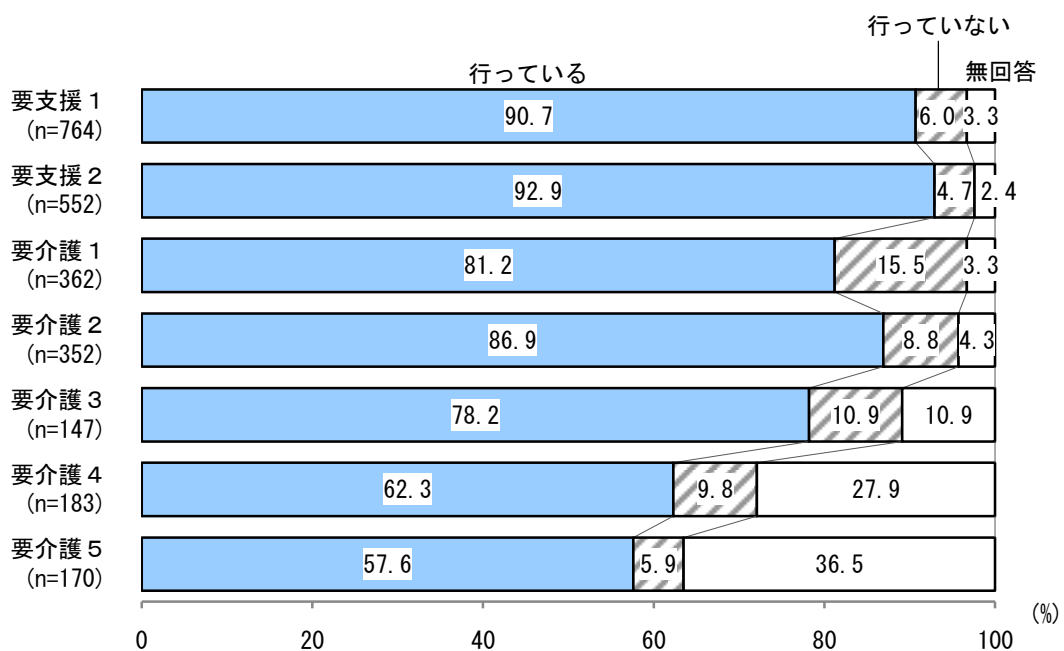
新型コロナウイルス感染症に対する感染対策は、「行っている」が82.2%、「行っていない」が9.0%となっている。（図25）

【図25 新型コロナウイルス感染症対策の実施】



要介護度別でみると、「行っている」は要支援1・2で9割台と高く、要介護5が57.6%で最も低くなっている。（図25-a）

【図25-a 新型コロナウイルス感染症対策の実施（要介護度別）】

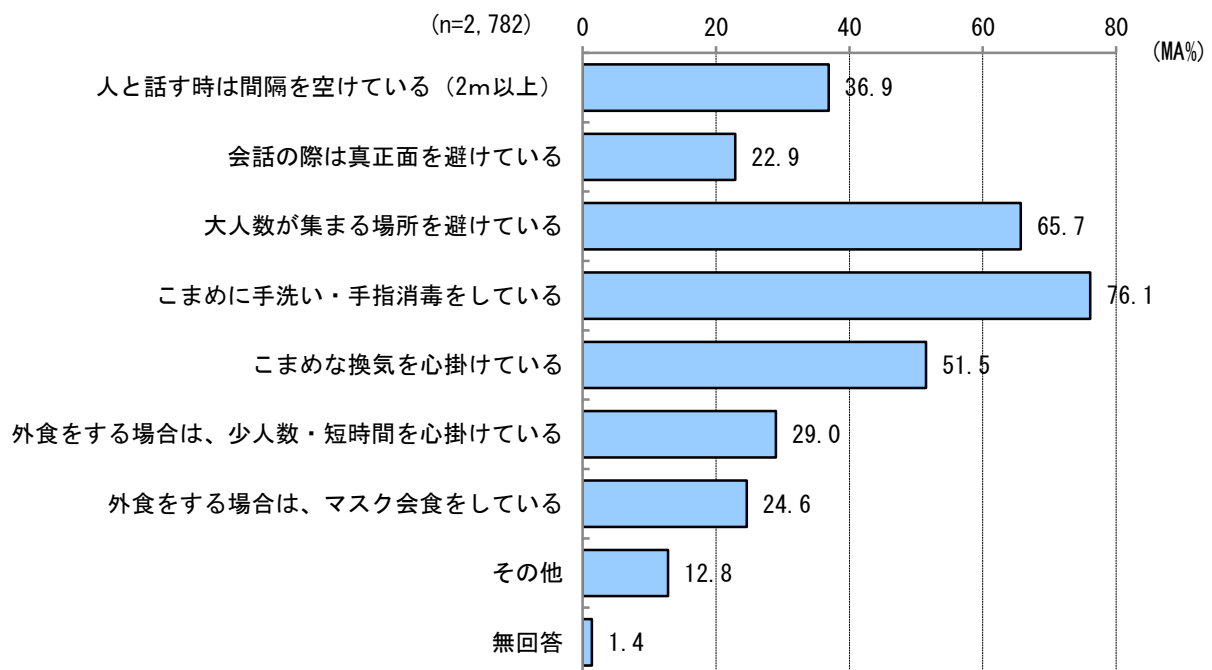


問25-1 行っている感染症対策

問25で「1 行っている」と回答された方におうかがいします。
 あなたが行っている感染対策はどのようなものですか。（〇はいくつでも）

新型コロナウイルス感染症対策を行っていると回答した人に、行っている感染症対策についてたずねると、「こまめに手洗い・手指消毒をしている」が76.1%で最も多く、次いで「大人数が集まる場所を避けている」が65.7%、「こまめな換気を心掛けている」が51.5%となっている。（図25-1）

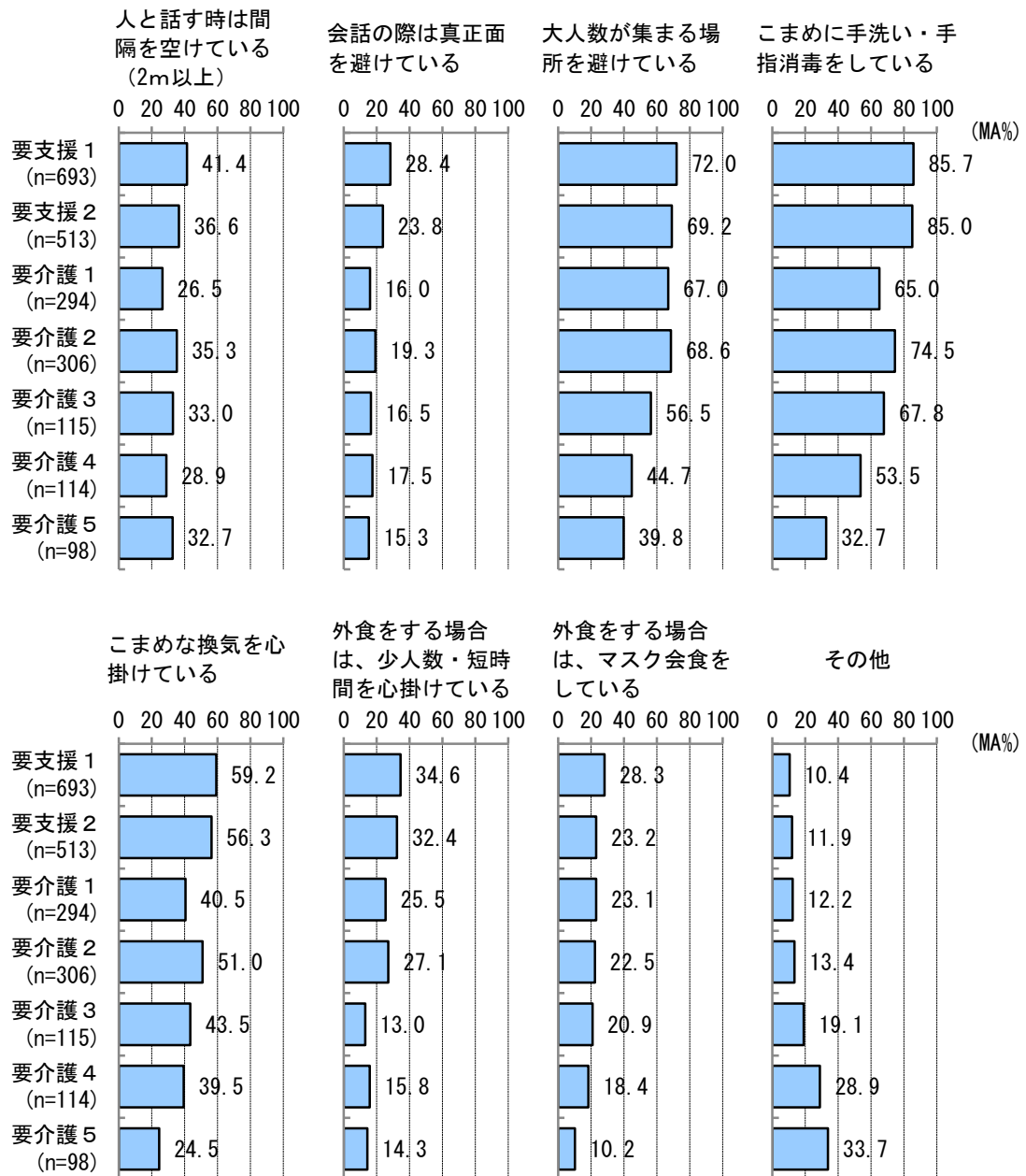
【図25-1 行っている感染症対策】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、いずれの項目も要支援Ⅰで割合が最も高く、概ね重度になるほど割合が低くなる傾向にある。(図25-1-a)

【図25-1-a 行っている感染症対策（要介護度別）】

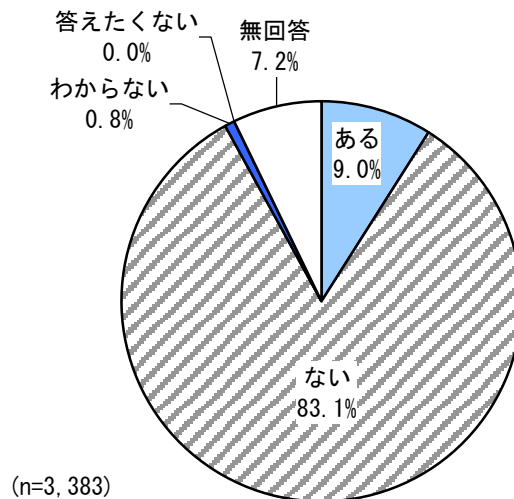


問26 新型コロナウイルス感染症に感染した経験

あなたは、新型コロナウイルス感染症に感染した経験はありますか。
 (本調査は個人を特定するものではありません) (○はひとつ)

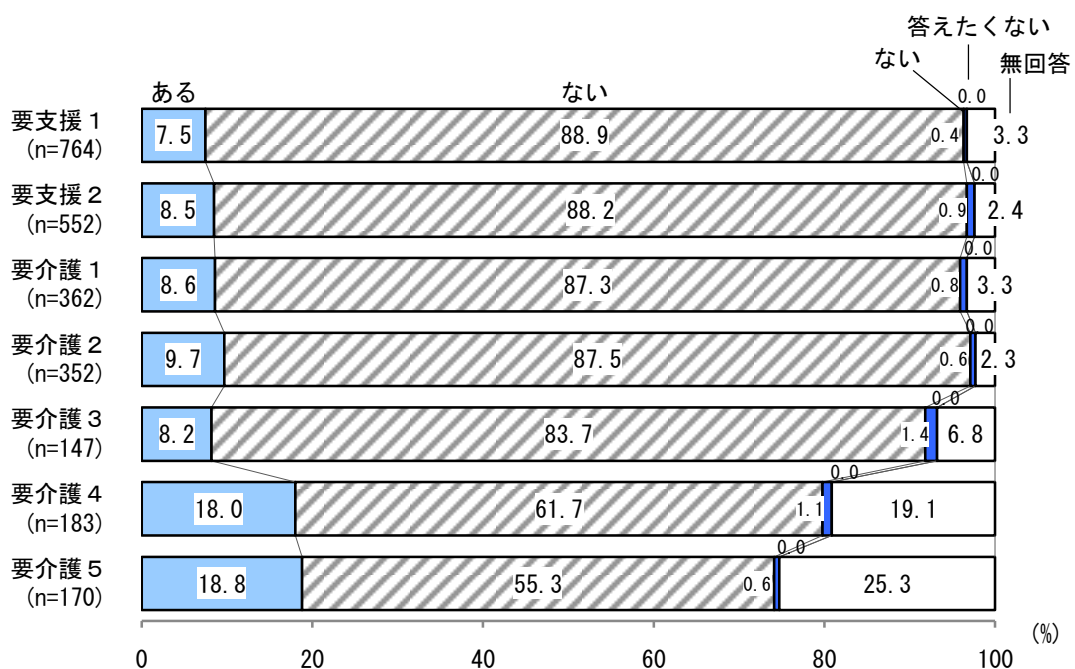
新型コロナウイルス感染症に感染した経験については、「ある」が9.0%、「ない」が83.1%となっている。(図26)

【図26 新型コロナウイルス感染症に感染した経験】



要介護度別でみると、「ある」は要介護5が18.8%で最も高く、次いで要介護4が18.0%となっている。(図26-a)

【図26-a 新型コロナウイルス感染症に感染した経験 (要介護度別)】



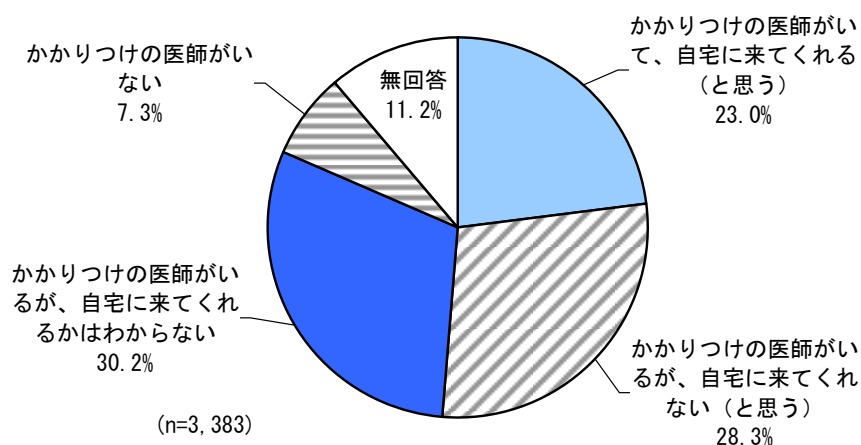
(9) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

問27 かかりつけの医師の訪問診療の有無

かかりつけの医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(〇はひとつ)

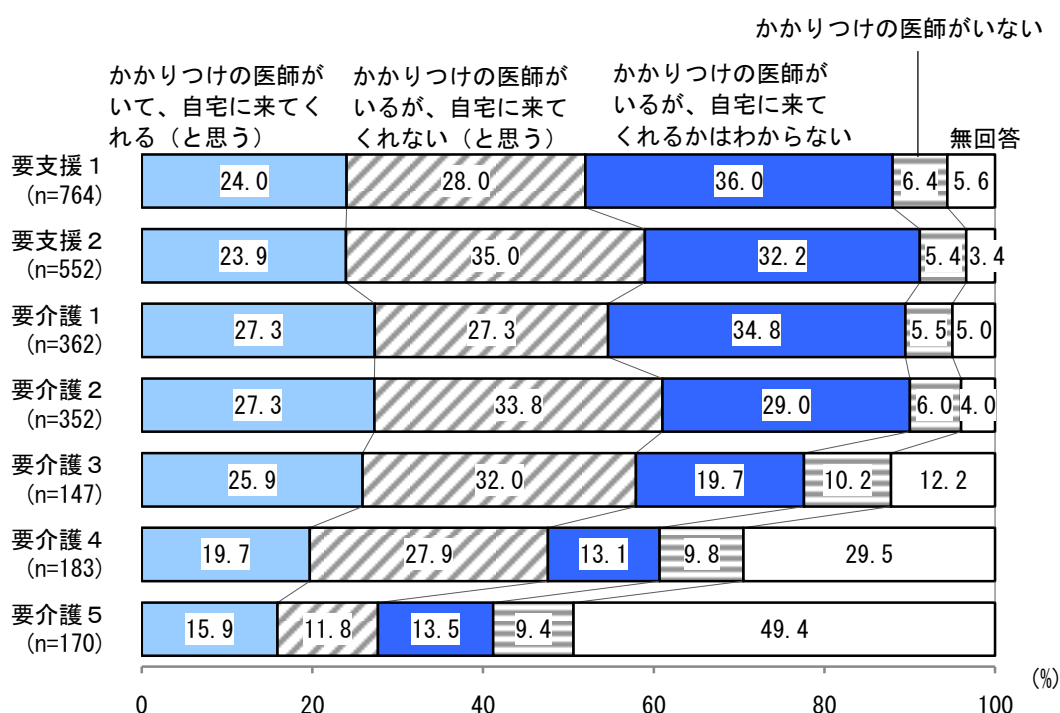
通院できなくなった時のかかりつけの医師の訪問診療については、「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が30.2%で最も多く、次いで「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が28.3%、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」が23.0%となっている。(図27)

【図27 かかりつけの医師の訪問診療の有無】



要介護度別でみると、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」は要介護1・2がともに27.3%で最も高くなっている。(図27-a)

【図27-a かかりつけの医師の訪問診療の有無(要介護度別)】

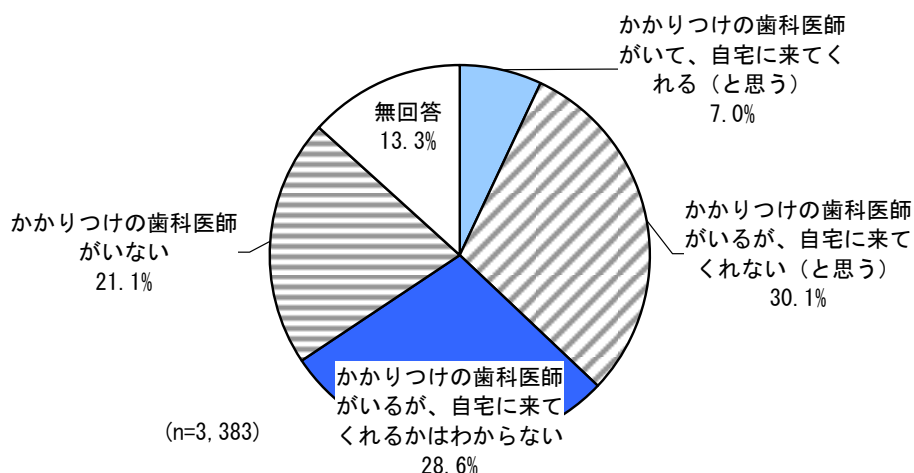


問28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無

かかりつけの歯科医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。
(○はひとつ)

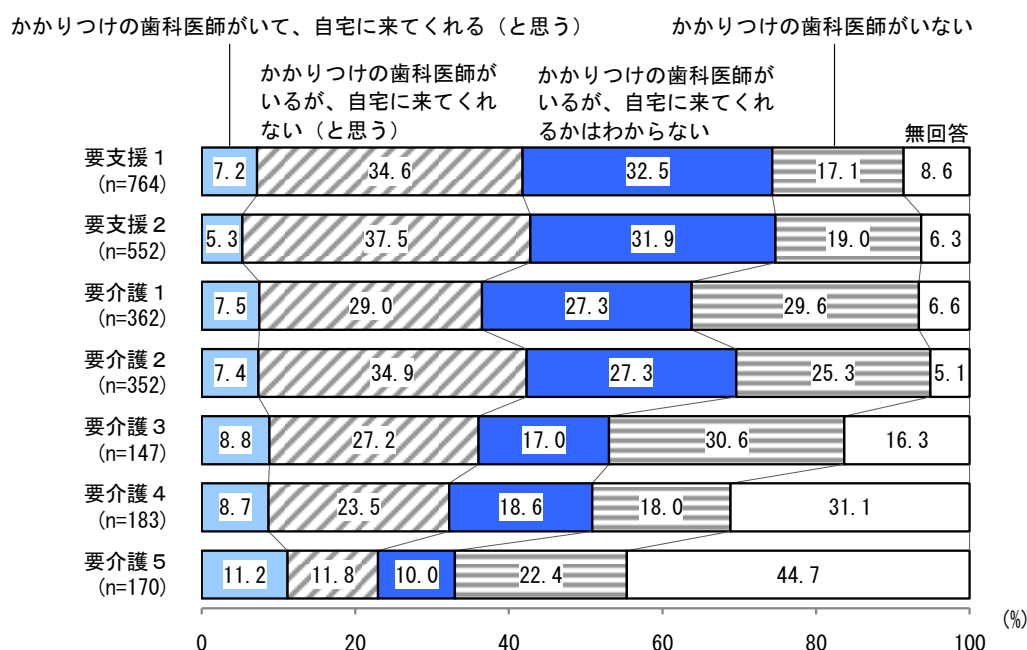
通院できなくなった時のかかりつけの歯科医師の訪問診療については、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない（と思う）」が30.1%で最も多く、次いで「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が28.6%、「かかりつけの歯科医師がいない」が21.1%となっている。（図28）

【図28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無】



要介護度別でみると、「かかりつけの歯科医師がいて、自宅に来てくれる（と思う）」は要介護5が11.2%で最も高くなっている。一方、「かかりつけの歯科医師がいない」は要介護3が30.6%で最も高くなっている。（図28-a）

【図28-a かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無（要介護度別）】

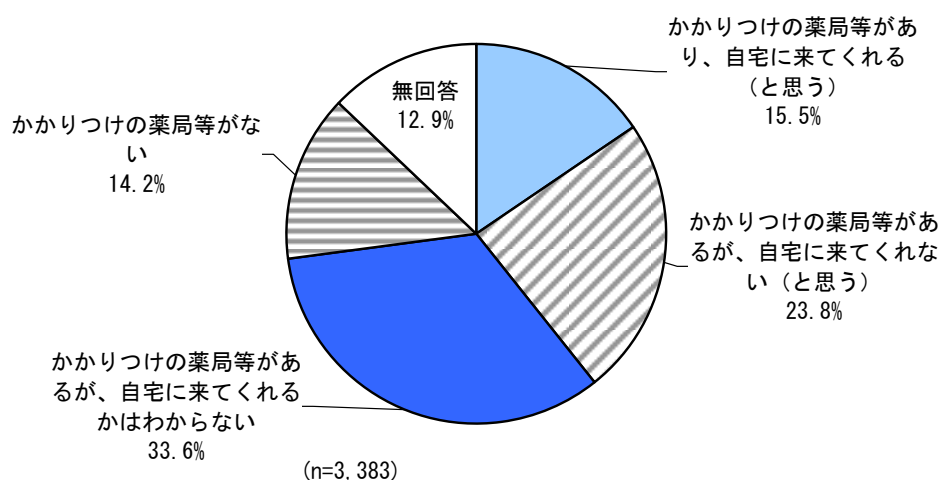


問29 かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無

かかりつけの薬剤師・薬局はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(○はひとつ)

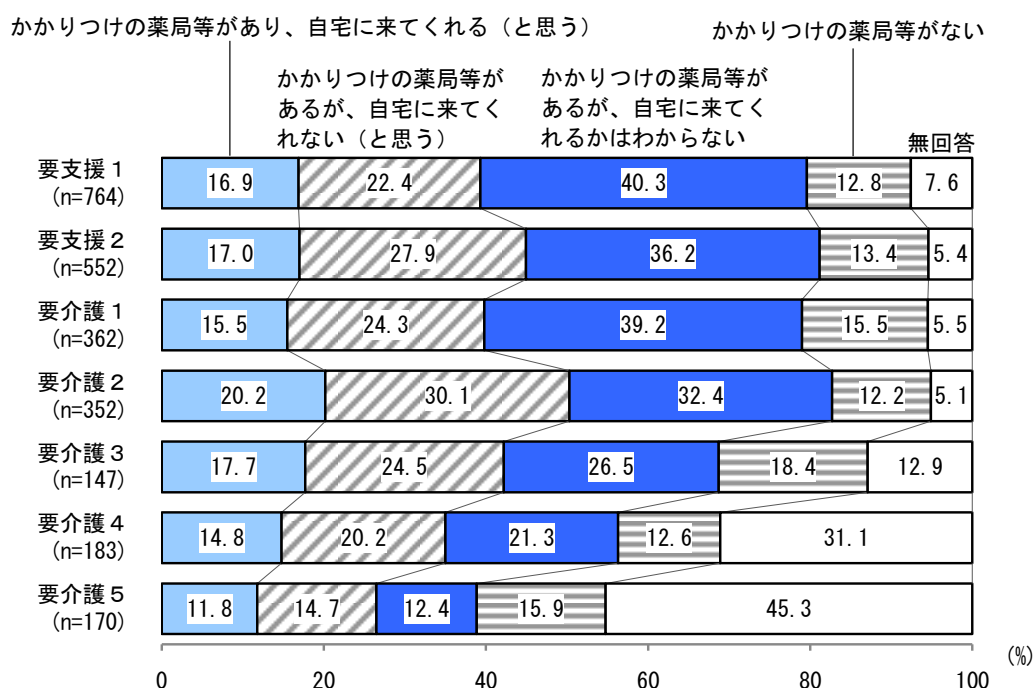
通院できなくなった時のかかりつけの薬剤師・薬局の訪問については、「かかりつけの薬局等があるが、自宅に来てくれるかはわからない」が33.6%で最も多く、次いで「かかりつけの薬局等があるが、自宅に来てくれない(と思う)」が23.8%、「かかりつけの薬局等があり、自宅に来てくれる(と思う)」が15.5%、「かかりつけの薬局等がない」が14.2%となっている。(図29)

【図29 かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無】



要介護度別でみると、「かかりつけの薬局等があり、自宅に来てくれる(と思う)」は要介護2が20.2%で最も高くなっている。(図29-a)

【図29-a かかりつけ薬剤師・薬局の訪問の有無(要介護度別)】



(10) 地域活動

問30 地域の会・グループ等への参加頻度

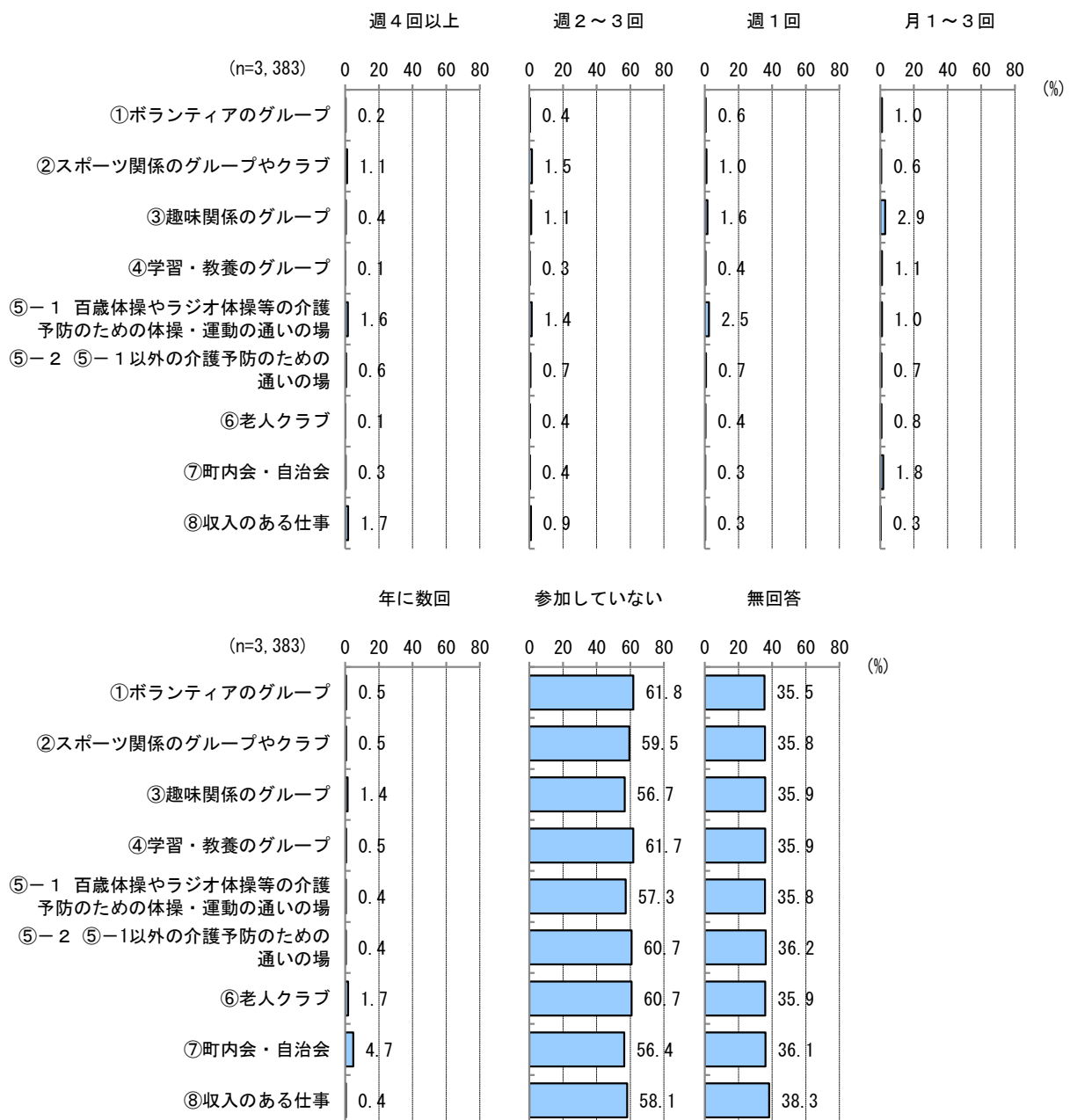
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○はひとつ)

①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)

地域の会・グループ等への参加頻度についてたずねた。

いずれの会・グループ等も「参加していない」が過半数を占めている。参加している会・グループ等は、“③趣味関係のグループ”は「月1～3回」が2.9%で最も多く、“⑤-1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場”は「週1回」が2.5%で最も多くなっている。(図30)

【図30 地域の会・グループ等への参加頻度】

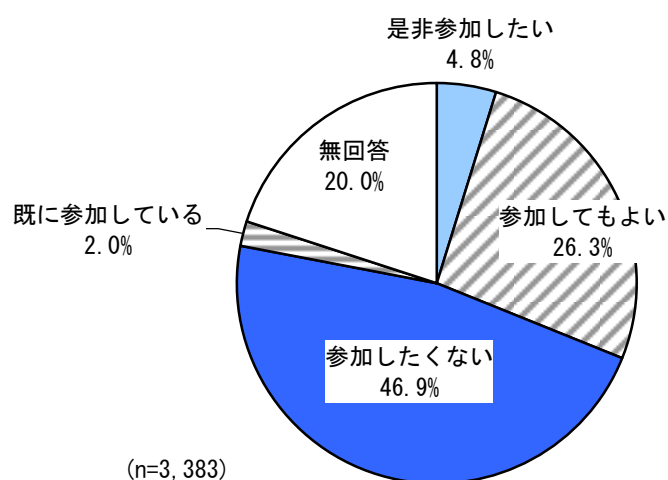


問30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

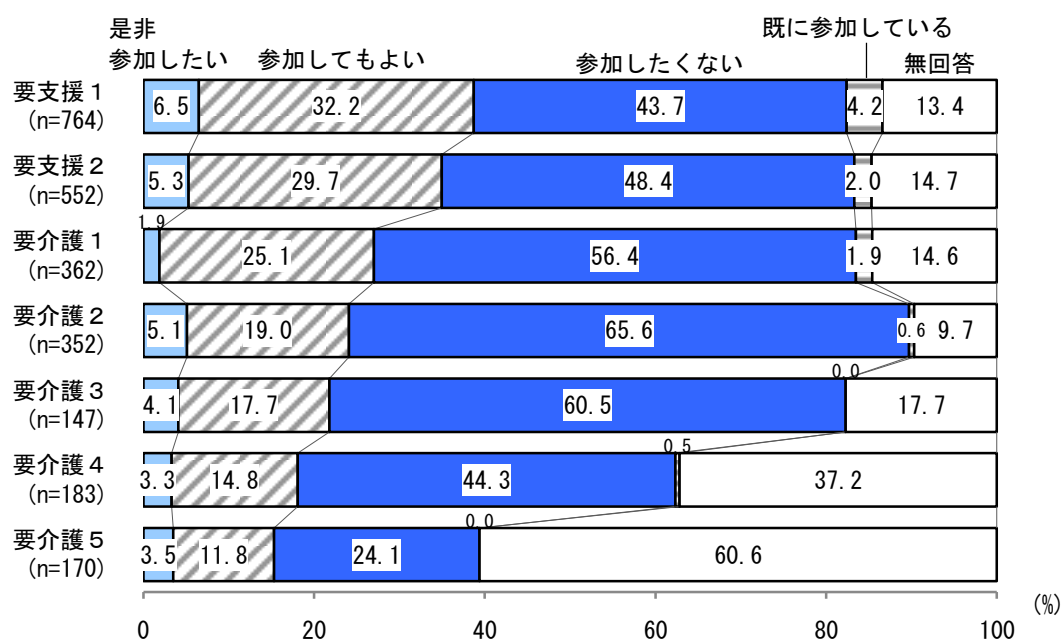
地域づくり活動に参加者としての参加意向については、「参加したくない」が46.9%で最も多く、次いで「参加してもよい」が26.3%、「是非参加したい」が4.8%となっている。(図30-1)

【図30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向】



要介護度別でみると、「参加したくない」は要介護1～3が5～6割を占めて高く、「是非参加したい」、「参加してもよい」は要支援1で最も高くなっている。(図30-1-a)

【図30-1-a 地域づくり活動に参加者としての参加意向（要介護度別）】

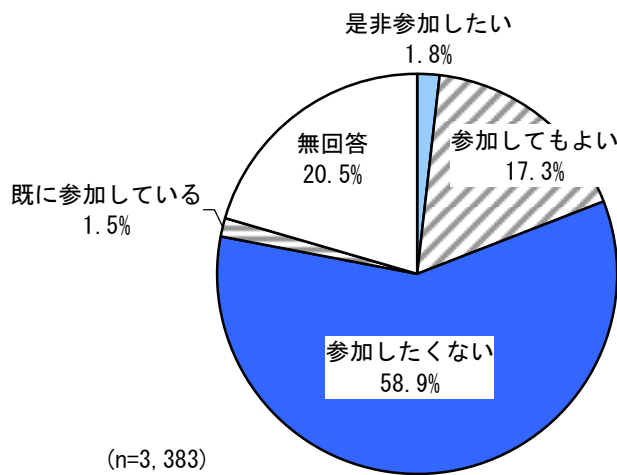


問30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇はひとつ）

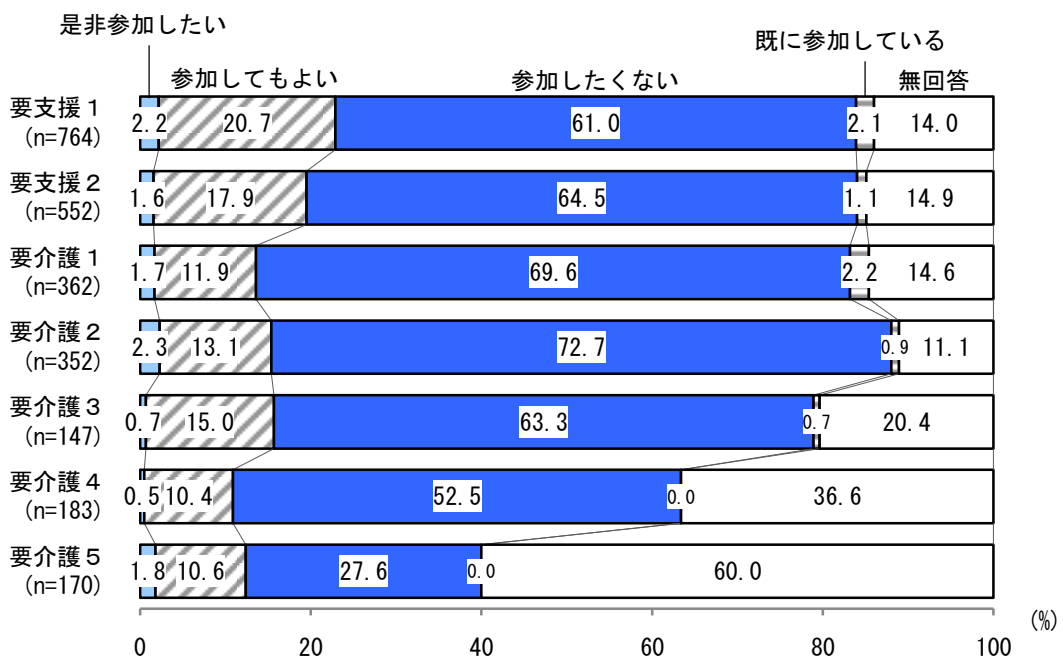
地域づくり活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向については、「参加したくない」が58.9%で最も多く、次いで「参加してもよい」が17.3%となっている。（図30-2）

【図30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向】



要介護度別でみると、「参加したくない」の割合は要介護4までは過半数を占めている。「是非参加したい」、「参加してもよい」はいずれも要支援1で最も高くなっている。（図30-2-a）

【図30-2-a 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（要介護度別）】



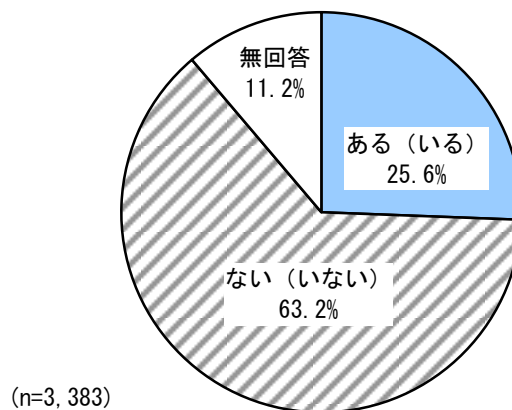
(11) 認知症

問31 認知症状の有無

認知症の症状（物忘れの悪化など認知症の疑いも含む）がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○はひとつ）

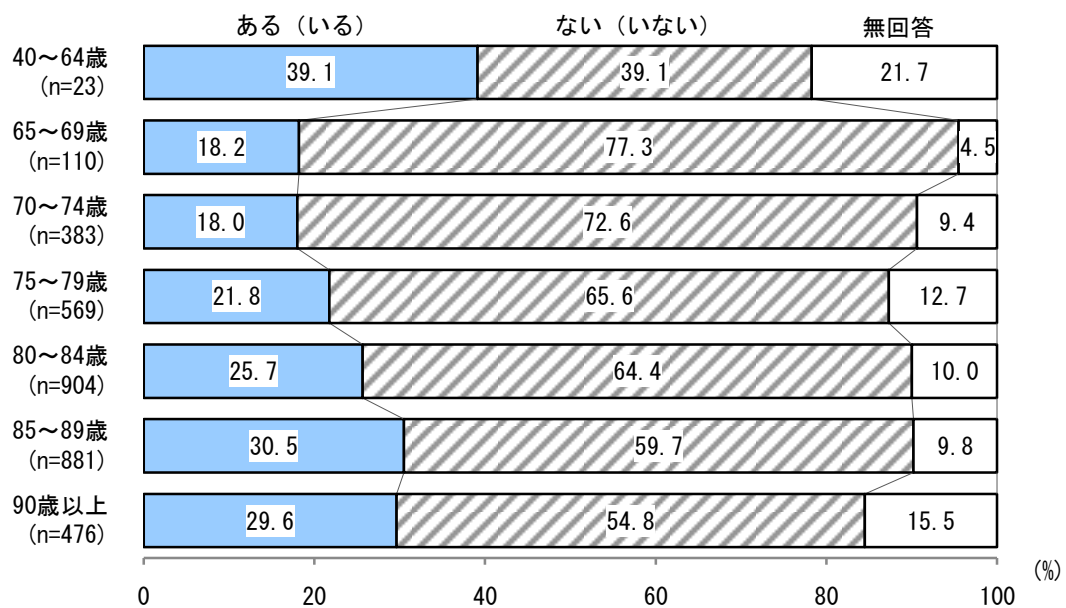
認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人の有無については、「ある（いる）」が25.6%、「ない（いない）」が63.2%となっている。（図31）

【図31 認知症状の有無】



本人の年齢別でみると、「ある（いる）」は40～64歳が39.1%で最も高く、次いで85～89歳が30.5%となっている。（図31-a）

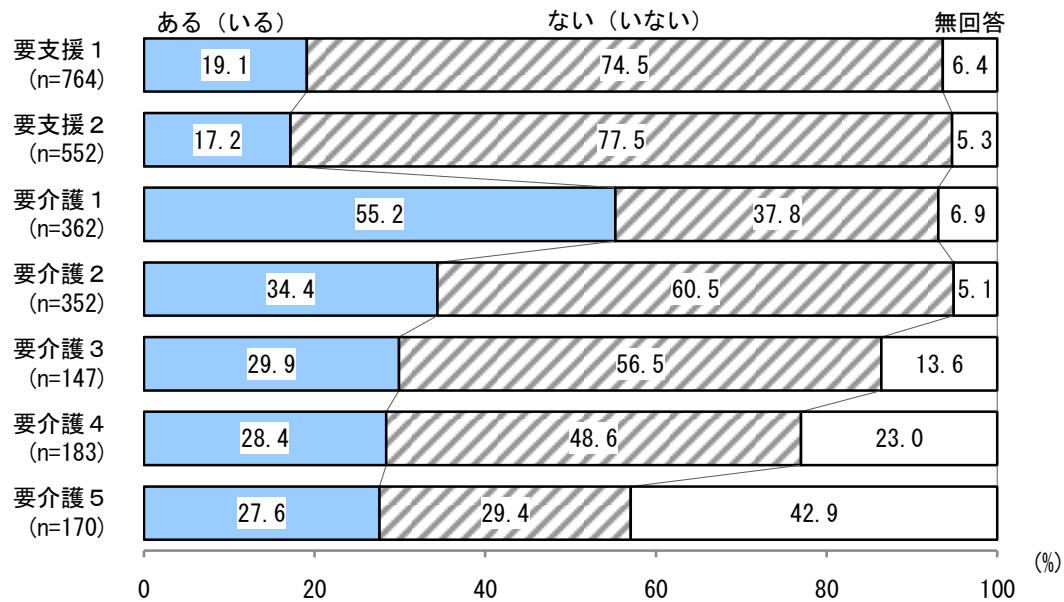
【図31-a 認知症状の有無（本人の年齢別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

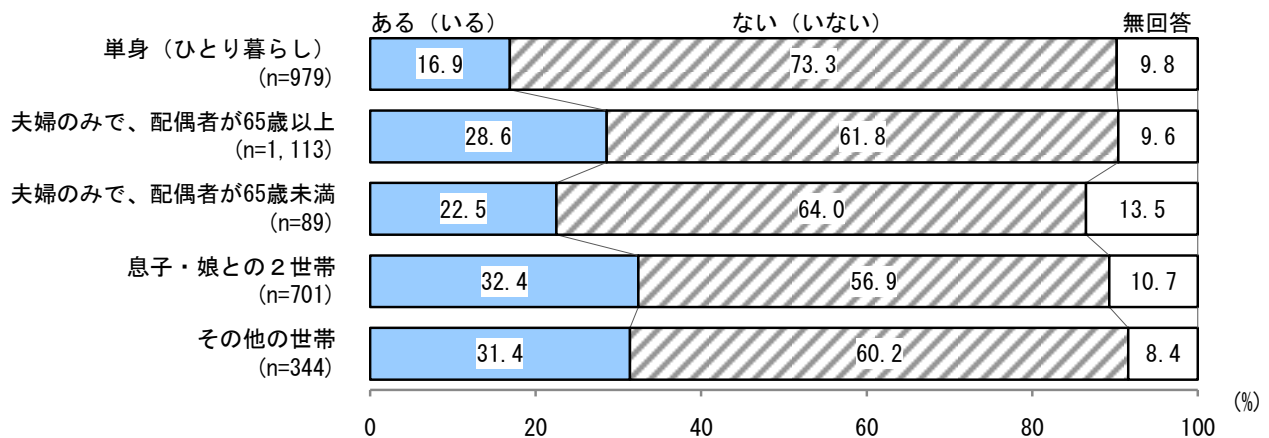
要介護度別でみると、「ある（いる）」の割合は要介護１が55.2%で最も高く、次いで要介護２が34.4%となっている。（図31-b）

【図31-b 認知症状の有無（要介護度別）】



世帯状況別でみると、「ある（いる）」の割合は息子・娘との２世帯が32.4%で最も高く、次いでその他の世帯が31.4%となっている。（図31-c）

【図31-c 認知症状の有無（世帯状況別）】

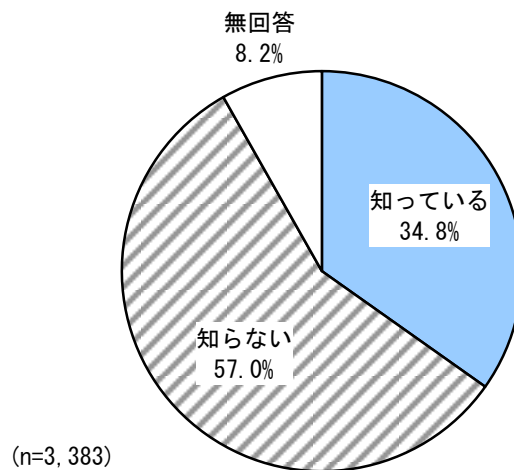


問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○はひとつ）

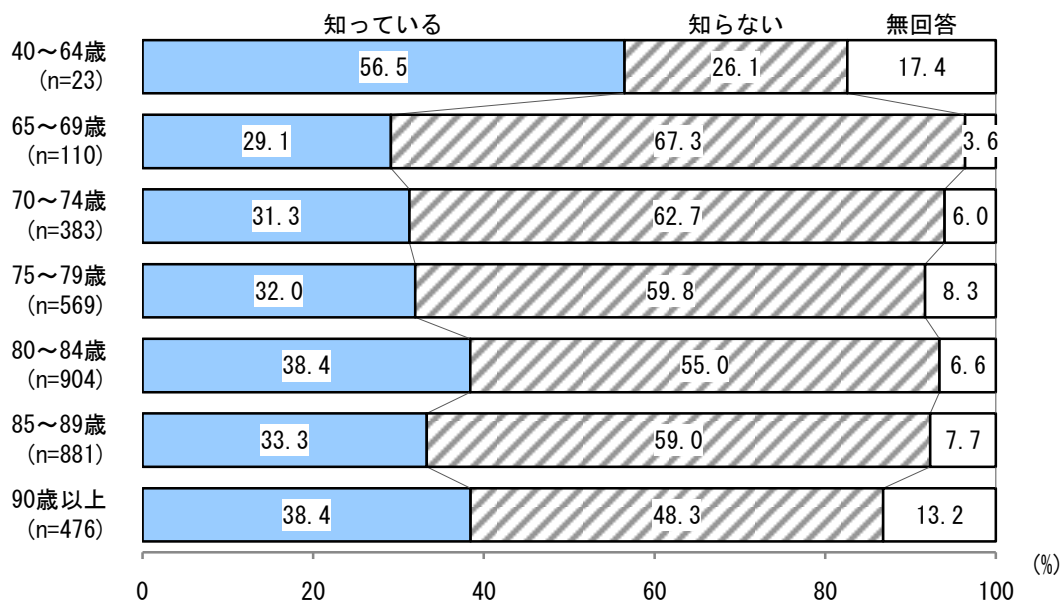
認知症に関する相談窓口の認知度については、「知っている」が34.8%、「知らない」が57.0%となっている。（図31-1）

【図31-1 認知症に関する相談窓口の認知度】



本人の年齢別でみると、「知っている」は40～64歳が56.5%で最も高く、次いで80～84歳、90歳以上がともに38.4%となっている。（図31-1-a）

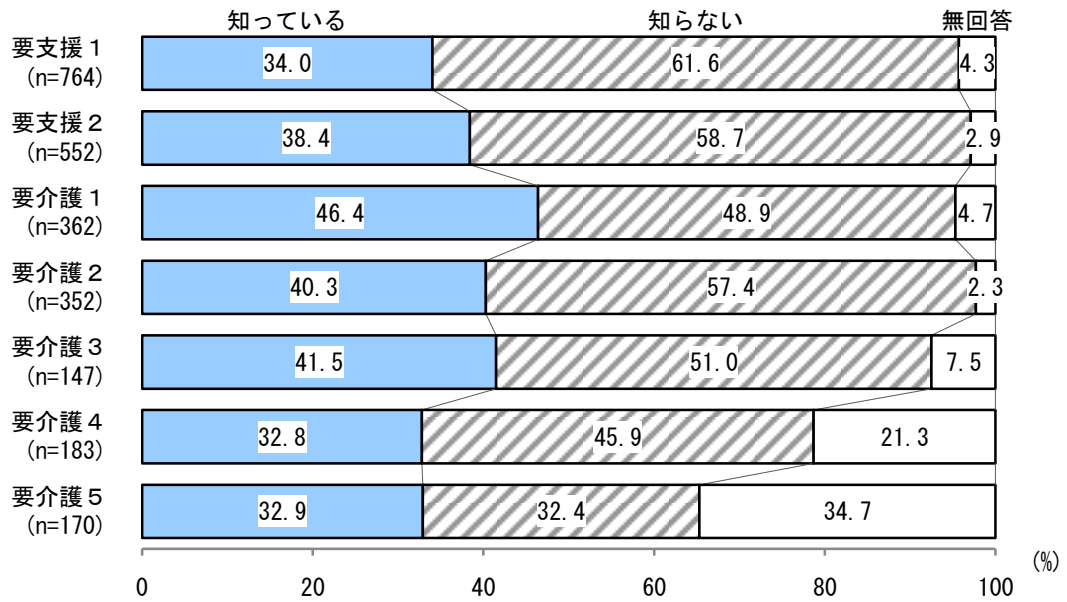
【図31-1-a 認知症に関する相談窓口の認知度（本人の年齢別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、「知っている」は要介護Ⅰが46.4%で最も高く、次いで要介護Ⅲが41.5%、要介護Ⅱが40.3%となっている。(図31-1-b)

【図31-1-b 認知症に関する相談窓口の認知度（要介護度別）】



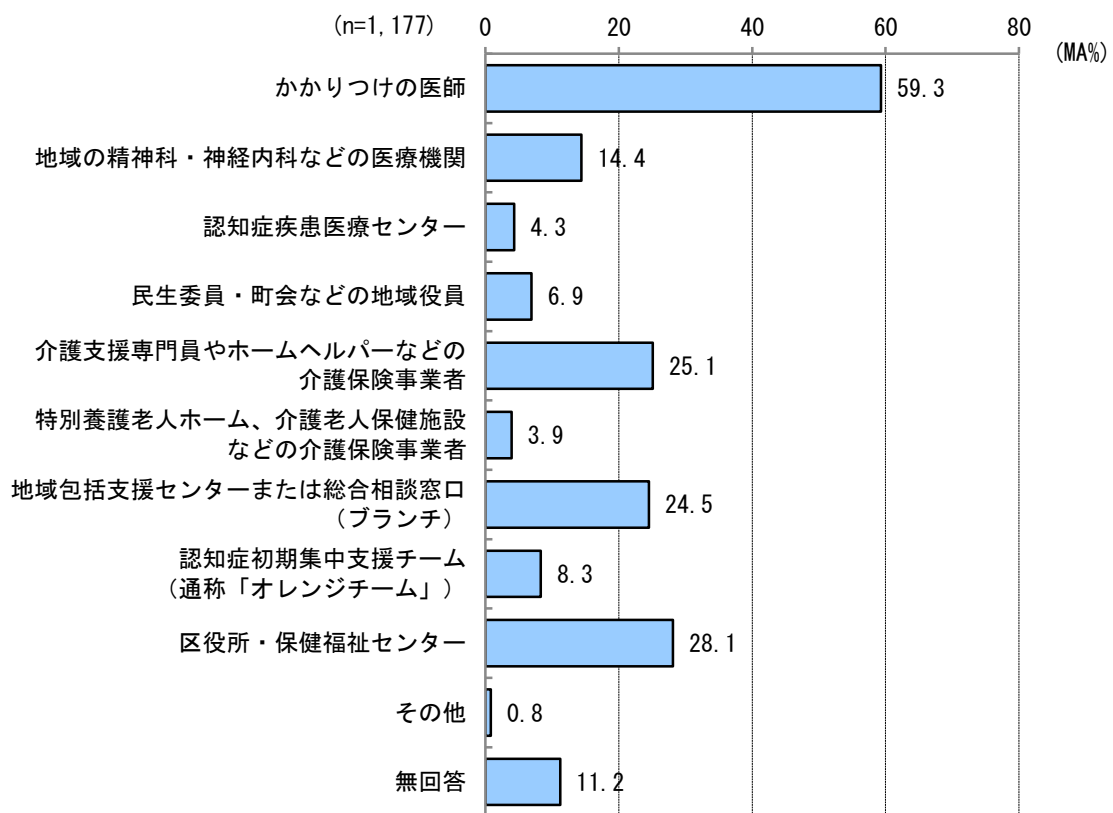
問31-2 知っている認知症に関する相談窓口

問31-1で「1 はい」と回答された方におうかがいします。

あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。(〇はいくつでも)

認知症に関する相談窓口を知っていると回答した人に、知っている相談窓口についてたずねると、「かかりつけの医師」が59.3%で最も多く、次いで「区役所・保健福祉センター」が28.1%、「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が25.1%となっている。
(図31-2)

【図31-2 知っている認知症に関する相談窓口】

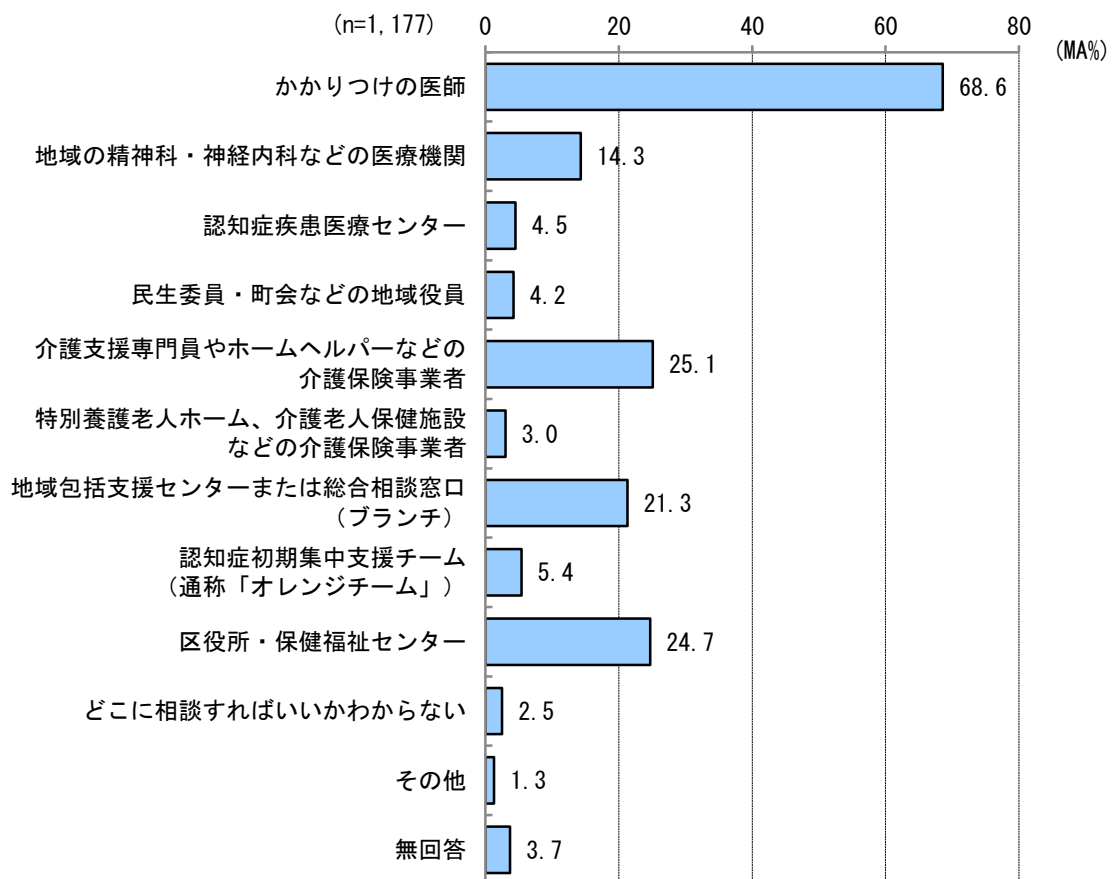


問31-3 認知症についての相談先

あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安に感じるときは、どちらに相談されますか。（○はいくつでも）

認知症についての相談先については、「かかりつけの医師」が68.6%で最も多く、次いで「介護支援専門員やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が25.1%、「区役所・保健福祉センター」が24.7%となっている。（図31-3）

【図31-3 認知症についての相談先】



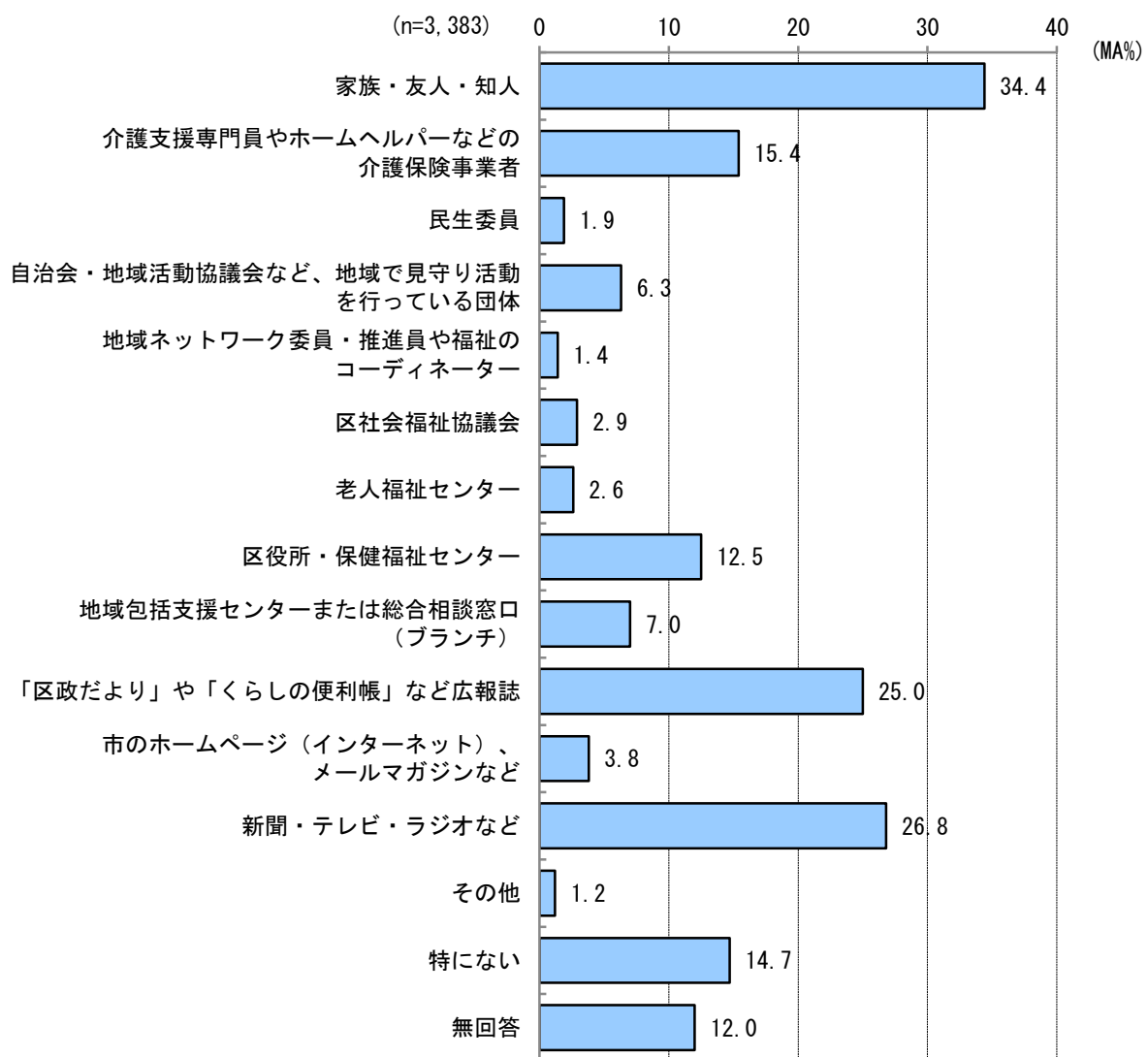
(12) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度

問32 高齢者向けサービスの情報源

あなたは、高齢者向けのお知らせや健康・介護予防に関する情報をどこから得ていますか。
(〇はいくつでも)

高齢者向けサービスの情報源については、「家族・友人・知人」が34.4%で最も多く、次いで「新聞・テレビ・ラジオなど」が26.8%、「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌が25.0%となっている。(図32)

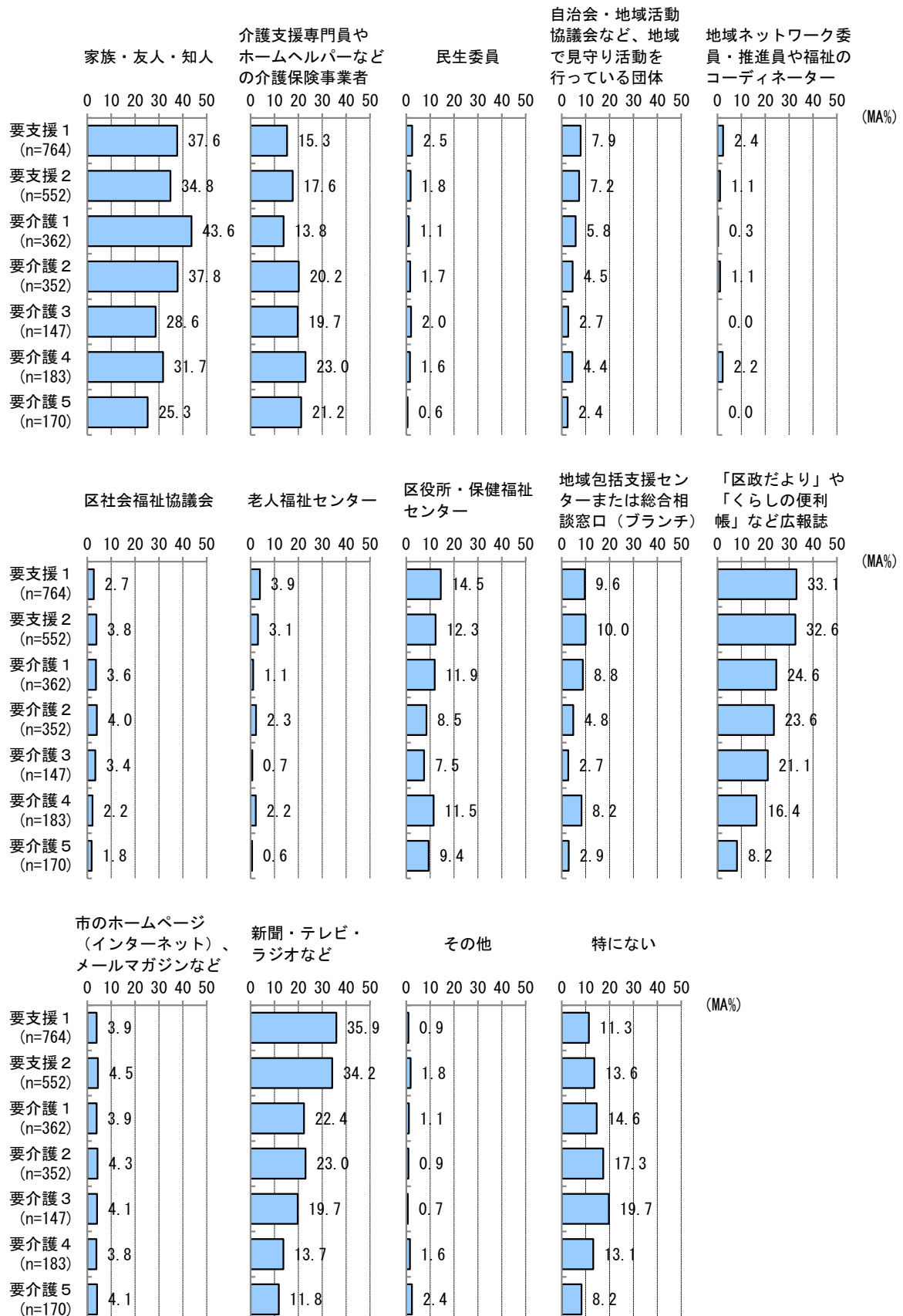
【図32 高齢者向けサービスの情報源】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「家族・友人・知人」が最も多く、特に要介護1が43.6%で最も高い割合となっている。(図32-a)

【図32-a 高齢者向けサービスの情報源（要介護度別）】

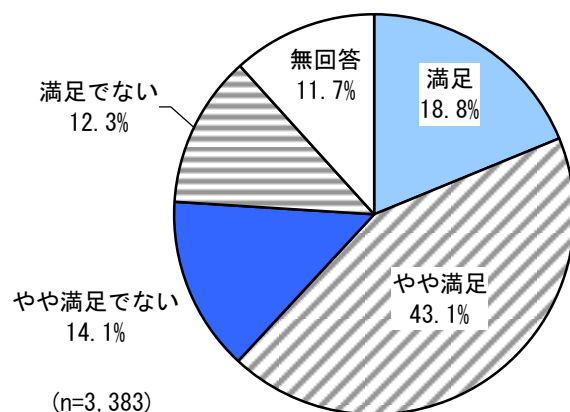


問33 現在の生活の満足度

あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。（○はひとつ）

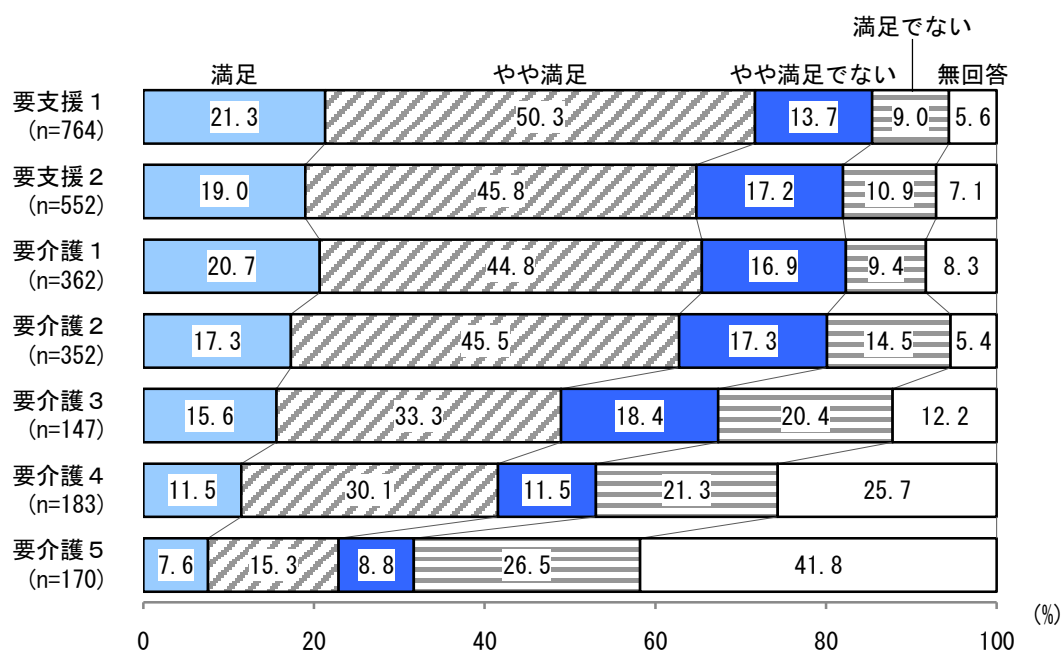
現在の生活の満足度については、「やや満足」が43.1%で最も多く、次いで「満足」が18.8%、「やや満足でない」が14.1%で、『満足』の割合（「満足」と「やや満足」をあわせた割合）は61.9%となっている。（図33）

【図33 現在の生活の満足度】



要介護度別でみると、『満足』の割合は要支援1・2、要介護1・2で過半数を占めており、要支援1が71.6%で最も高く、重度になるほど割合が低くなる傾向にある。（図33-a）

【図33-a 現在の生活の満足度（要介護度別）】



(13) 介護保険制度についての意見・要望等

問34 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）

介護保険制度について、介護保険サービスの利用者として、ご意見・ご要望等がありましたら、次の欄に記入してください。

361人から意見があり、延べ387件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

【主な意見】

《介護保険制度、制度についての要望・不満》（93件）

- ・制度のことはよくわからない。もっとわかりやすく教えてほしい。
- ・手続きを簡素化してほしい。
- ・わかりやすい小冊子等があれば良いと思う。
- ・要介護認定の更新等の申請の所に電話するもまったく通じない。
- ・自分で事業者を選ぶというが、どこがいいのかわからない。
- ・ヘルパーの質を高めてほしい。

《介護保険料、介護保険サービス利用料に関する意見》（83件）

- ・介護保険料や利用料が高い。
- ・介護保険料は支払っているが、利用料が必要であるため、無理して介護を受けないようにしている。

《施設サービス、介護サービスの充実に関する意見》（49件）

- ・制度利用がコロナ中は使用しにくい。車椅子や歩行補助車購入タクシーなどをもっと利用しやすくしてほしい。
- ・通院にかかるのタクシー代を援助してほしい。
- ・買い物支援の時間が短すぎる。
- ・家の掃事等は妻と共同使用の部屋の掃除は不可のため利用できない。

《要介護認定についての要望・不満》（30件）

- ・介護保険認定調査員の方は調査対象者の病気の状態と経過を詳しく勉強してほしい。
- ・申し込んでからの認定が遅い。
- ・要介護認定の問診のしかたが担当者によってかなりちがう。
- ・要介護認定の際、書類が多くて難しい。

《その他の意見》（132件）

- ・ひとり者にとっては、ありがたい制度だと思う。
 - ・相談窓口に行っても、人が多く、相談がしづらい。
 - ・使ったことがないのでわからない。
-

【介護保険サービス未利用者調査】